

北大東村しま・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略

2016年3月 北大東村

- INDEX -

§ 1 人口ビジョン

1. 北大東村人口ビジョンについて
2. 将来人口の推計方法の検討
3. 人口ビジョンの検討
4. 北大東村人口ビジョン

§ 2 総合戦略

はじめに：基盤整備の進展と新たなフロンティアへの挑戦

1. 基本的な考え方
 1. 1 地方創生総合戦略策定の位置づけ
 1. 2 北大東村総合計画2012-21 その他計画を含めた施策体系
 1. 3 3つの施策分野
 1. 4 施策5原則のとらえ方
 1. 5 沖縄県・日本における北大東村の役割
2. 基本目標の設定
 2. 1 計画期間と目標設定の考え方
 2. 2 施策分野ごとの目標と基本的な方向
3. 具体的な施策の展開
 3. 1 しごとづくりのための施策
 3. 2 ひとづくりのための施策
 3. 3 しまづくりのための施策
4. 施策の検証
 4. 1 PDCAサイクルの検証体制の構築
 4. 2 PDCAサイクルの実施と戦略の見直し

おわりに：北大東から始まる地方の構造改革

- 参考資料 -

1. 策定審議委員会（要綱及び委員名簿及び審議の経緯）
2. 数字で見る北大東村
3. アンケート結果
4. しまづくり住民ワークショップ
5. 策定に向けたスケジュール

§ 1
人口ビジョン

- 目次 -

1. 北大東村人口ビジョンについて	1
2. 将来人口の推計方法の検討	2
3. 人口ビジョンの検討	4
3. 1 人口ビジョン検討の条件整理	4
3. 2 人口ビジョン検討	5
4. 北大東村人口ビジョン	6
参考資料：将来人口の比較（①受け身、②受け身＋自然増、③開拓）	7
1) 総人口・男女別人口の推計（H32～H72）	
2) 年齢三分区人口の推計（H32～H72）	
3) 年齢三分区人口構成比の推計（H32～H72）	
4) 年齢階級・男女別人口の推計（H32～H72）	

1. 北大東村人口ビジョンについて

1. 1 北大東村人口ビジョンの位置づけ

北大東村の人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」並びに沖縄県の「沖縄県人口増化計画（改訂版）（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」を勘案し、本村における人口の現状・動向を分析するとともに、人口等に関する村民の意向を把握し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来ビジョンを示すものである。

こうした状況を踏まえ、本村の最上位計画である北大東村総合計画で示された人口フレーム（将来人口）660人（目標年：平成33年）の考え方を踏襲するとともに、まち・ひと・しごと創生の実現のための基本的な指標となることを認識し、中長期の人口ビジョンを設定するものとする。



1. 2 北大東村人口ビジョンの対象期間

人口ビジョンの対象期間は、国の対象期間等を勘案し、平成72年（2060年）とする。基準年については、国勢調査を基本とし、平成22年を基準年とするが、直近の動向把握のため、住民基本台帳等のデータを活用する。

対象期間：平成72年（2060年）

2. 将来人口の推計方法の検討

＜ケースA：国勢調査結果から推計（H22年基準）＞（青線）

ケースAについては平成27（2015）年をピークに著しく人口減少するものと推計されるが、北大東村の場合、季節労働者数の増減が国勢調査結果に大きく影響するため、国勢調査結果からの人口推計（予測）が難しい。（平成27年の国勢調査結果次第で、人口推計結果が大きく異なる可能性が高い。）

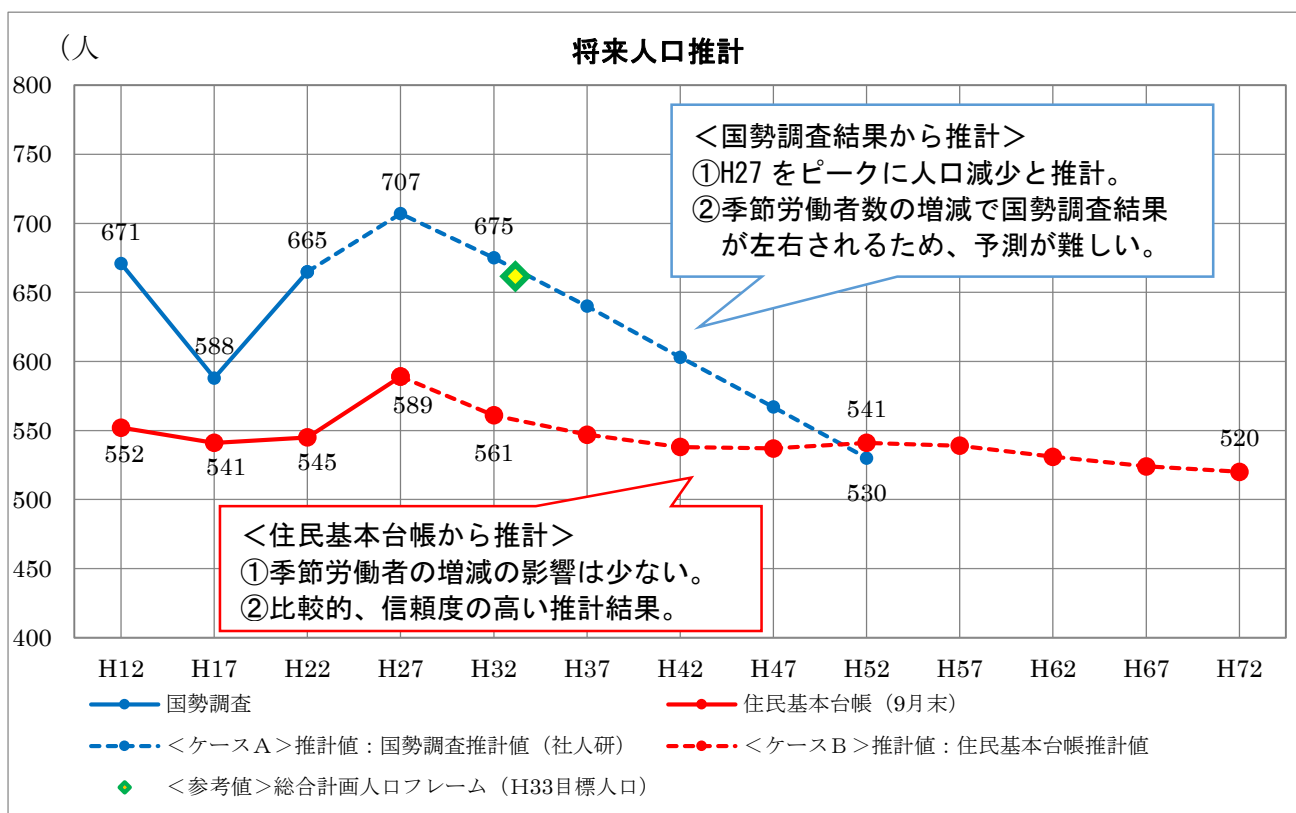
＜ケースB：北大東村住民基本台帳から推計（H27年基準）＞（赤線）

ケースBについては、平成27年をピークに緩やかに減少するものと想定される。

北大東村の場合、季節労働者を除くほとんどの方が住民登録しているものと考えられ、これまでの人口推移を見ても大きな増減が少ないことが、安定した推計結果につながったものと思われる。

また、村に住所を登録したまま村外に進学するケースもあるものの、基本的に人口推計に大きく影響しないものと考えられ、比較的、信頼度の高い推計結果であると思われる。

よって、北大東村人口ビジョンの検討については、住民基本台帳を基本とする。



※北大東村の人口の現状及び推移等については、参考資料：2. 数字で見る北大東村」を参照

住民基本台帳を基本に「北大東村人口ビジョン」を検討する。

(参考資料) ※コホート要因法とは

各コホート（各集団）について、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という2つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である。

5歳階級別人口に生残率、純移動率を用い、5年後の人口を推計する。

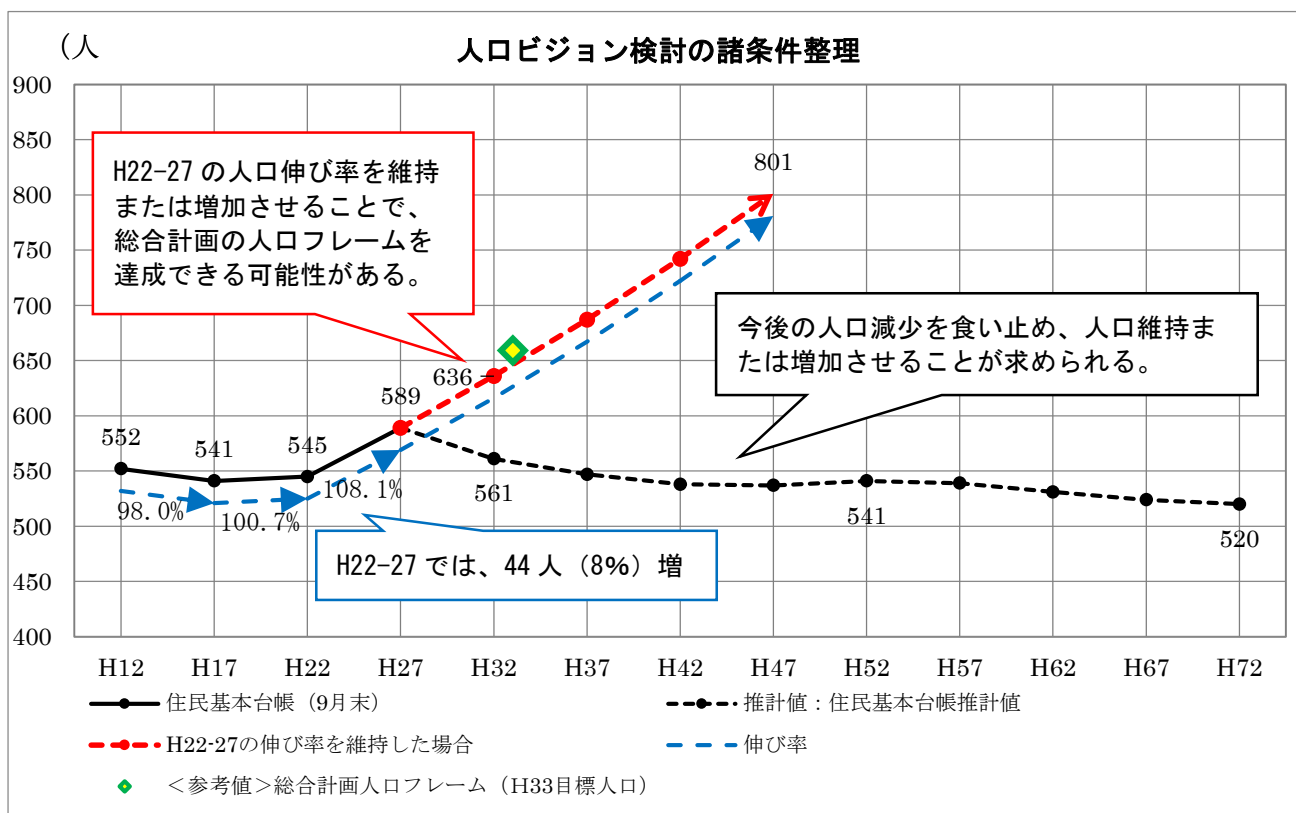
	H27 (2015)			H32 (2020)			H37 (2025)		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
合計	589	325	264	561	306	255	547	302	245
0～4	26	25	20	27	14	13	26	14	12
5～9	28	11	17	42	24	20	32	20	12
10～14	37	18	19	25	10	15	42	25	18
15～19	23	16	7	19	10	9	14	5	9
20～24	16	9	7	15	11	4	12	8	4
25～29	34	20	14	31	16	15	31	21	10
30～34	35	15	20	40	24	16	37	17	20
35～39	23	13	10	39	17	22	51	30	21
40～44	32	19	13	21	12	9	40	18	22
45～49	41	20	21	34	21	13	26	16	10
50～54	59	38	21	43	20	23	34	21	13
55～59	61	36	25	61	42	19	36	19	17
60～64	44	28	16	51					17
65～69	34	25	9	42					26
70～74	24	14	10	25					12
75～79	26	10	16	17					5
80～84	16	6	10	13					5
85～89	6	1	5	7					5
90歳以上	5	1	4	7					7

15～49歳の女性の人口に出生率を乗じて、5年後の出生率を推計。男女比（過去の平均値）で男女別に案分する。

3. 人口ビジョンの検討

3. 1 人口ビジョン検討の条件整理

- 総合計画策定以降（平成 22～27 年）、人口増加が進んでおり、平成 22（2010）年（545 人）から平成 27（2015）年（589 名）では 44 人（8%）増である。
- また、社会増（転入者が転出者を上回ること）が続いており、特に 15-64 歳の生産年齢人口の増加が著しい。その中でも、25-29 歳世代の増加が特に大きい。
- しかし、これまでの人口動態（住民基本台帳）から、コーホート要因法を用いて将来人口を推計すると、平成 32（2020）年以降は人口減少が続き、平成 72（2060）年には 520 人まで減少することが推計される。
- 今後、人口維持・人口増加させるためにも、総合計画の施策を踏まえた新たな取り組みが必要となる。
- 新たな施策において平成 22-27 年の伸び率を維持または増加することができれば、「北大東村総合計画」の人口フレーム（平成 33（2021）年/660 人）を達成、若しくは近づく可能性が十分にある。



3. 2 人口ビジョン検討

- 北大東村の人口ビジョンを4つのシナリオで検討する。
- これらの人口ビジョンは、これまでの人口動態、総合計画の目標人口（平成33年/660人）、総合戦略の施策から検討する。
- 人口ビジョンは住民基本台帳を基本に、コーホート要因法を用いて推計する。

①受け身シナリオ

新たな対策を特に講じず、これまでの人口動態を維持する場合。

※現状の人口動態から推計した推計結果（人口減少）を受け入れる場合。

②受け身+自然増シナリオ

「①受け身シナリオ」に自然増（出生率、健康寿命）に関する対策を行う場合

※以下の条件で将来人口を推計。

1) 全国で最も高い出生率、平均寿命を北大東村で達成

- 出生率：2.81（鹿児島県伊仙町）/平成20～24（2008-2012）年

※沖縄県1.86、北大東村1.83、南大東村2.07/平成20～24年

- 平均寿命：男82.2歳（長野県松川村）、女89.0歳（沖縄県北中城村）/平成22（2010）年

※沖縄県平均寿命：男79.4歳、女87.0歳/平成22年

③維持シナリオ

生活負担の軽減や子育て・出産に関連する施策を打ち出し、人口減少を食い止め600人程度で人口を維持する場合。

※維持シナリオの推計値は目標値として記載する。

④開拓シナリオ

総合計画の人口フレーム（平成33年/660人）を達成するために、自然増・社会増に関する施策、また、生活負担の軽減や子育て・出産に関連する施策を打ち出し、人口増加を目指す場合。

当計画においては、総合計画の目標人口（平成33年/660人）を早期に達成することを目標とする。

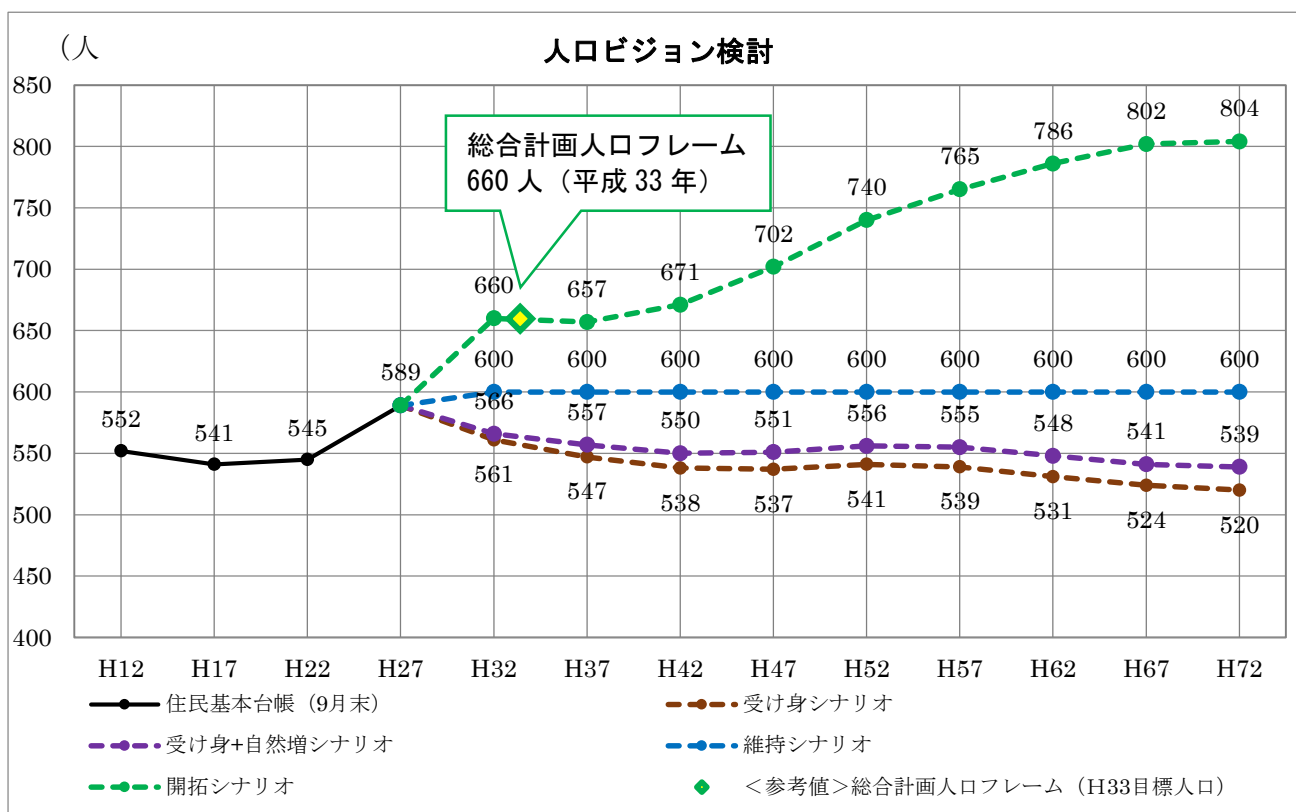
※以下の条件で将来人口を推計。

1) 全国で最も高い出生率、平均寿命を北大東村で達成（②受け身+自然増シナリオ同様）

2) 若い世代を中心に、平成22～27年の社会増を維持若しくは増加に努め、平成32年に660人に達成

3) 平成32年以降、過去（平成22～27）の人口動態（社会増）で推移

この条件を達成することで、平成72年（2060年）には800人まで人口が増加する可能性はあるものと考えられる。



4. 北大東村人口ビジョン

北大東村総合戦略及び人口ビジョンは、北大東村総合計画<後期基本計画>の役割を担う計画として、総合計画の人口フレーム（平成33年/660人）を早期に達成しつつ、さらなる人口増加を目指す。

北大東村総合計画では、雇用拡大や交流人口の増加、特産品の普及などを目指し、将来の人口・世帯数の増加を目標とする「開拓シナリオ」を基本としている。

北大東村人口ビジョンについても、「開拓シナリオ」を基本に、平成72（2060）年は800人程度の人口規模を目指す。

平成72（2060）年 北大東村人口ビジョン

（現在）平成27年：589人 → （目標）平成72年：800人

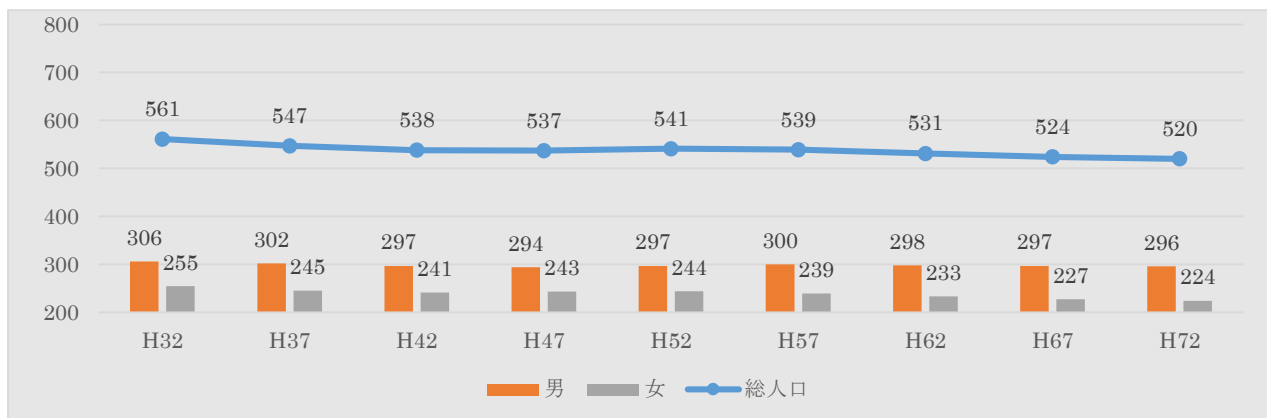
<参考資料> 将来人口の比較 (①受け身、②受け身+自然増、③開拓)

各シナリオの人口動態を把握すべく将来人口を比較する。

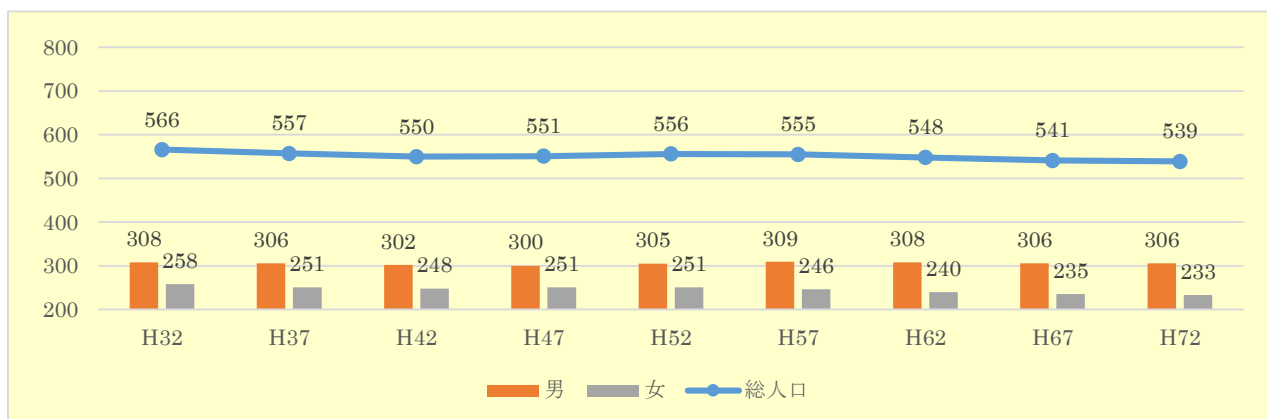
なお、維持シナリオについては、目標値とするため、対象外とする。

1) 総人口・男女別人口の推計 (H32~H72)

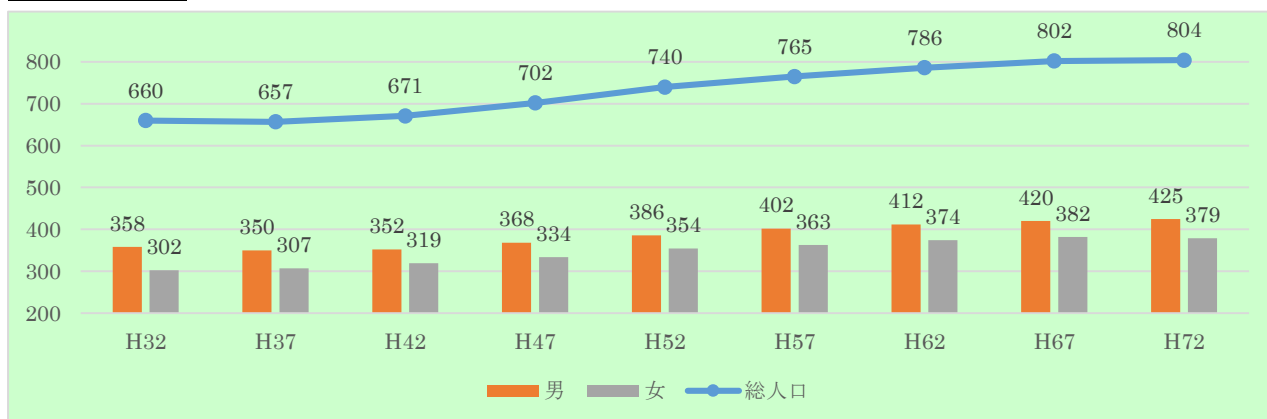
受け身シナリオ



受け身+自然増シナリオ

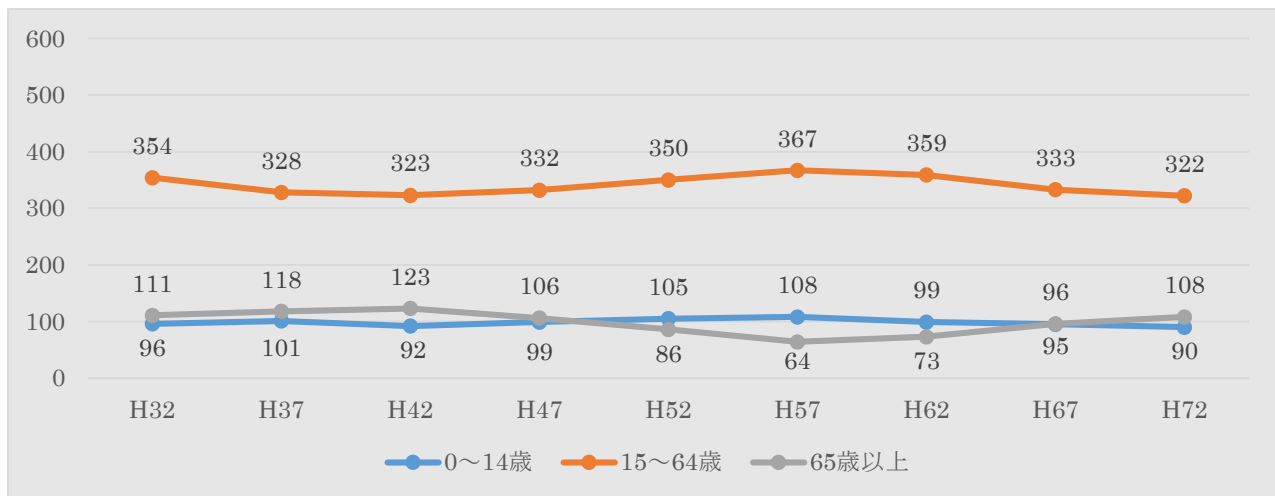


開拓シナリオ

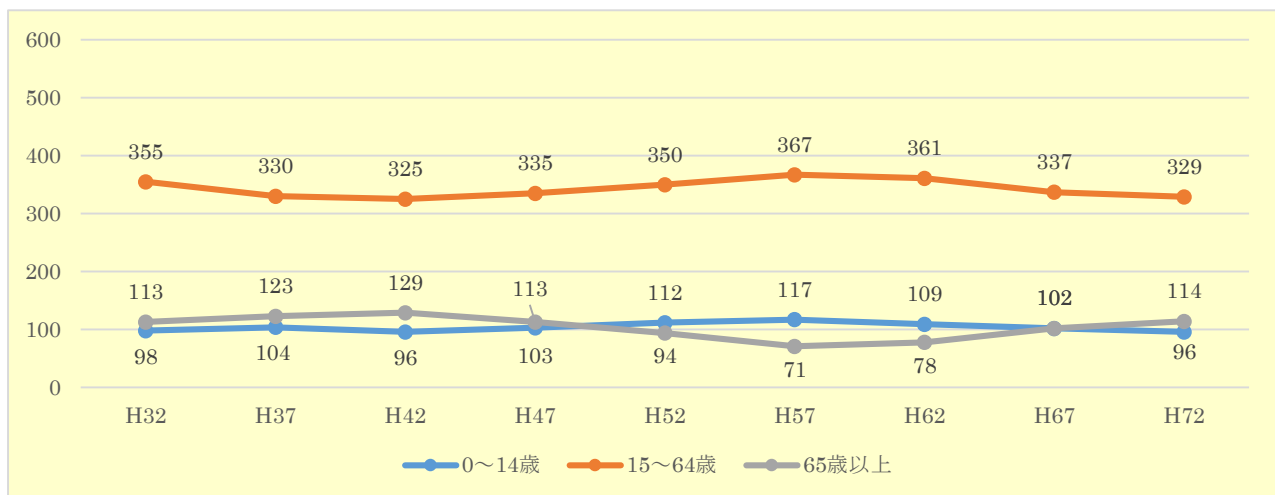


2) 年齢三区分人口の推計 (H32~H72)

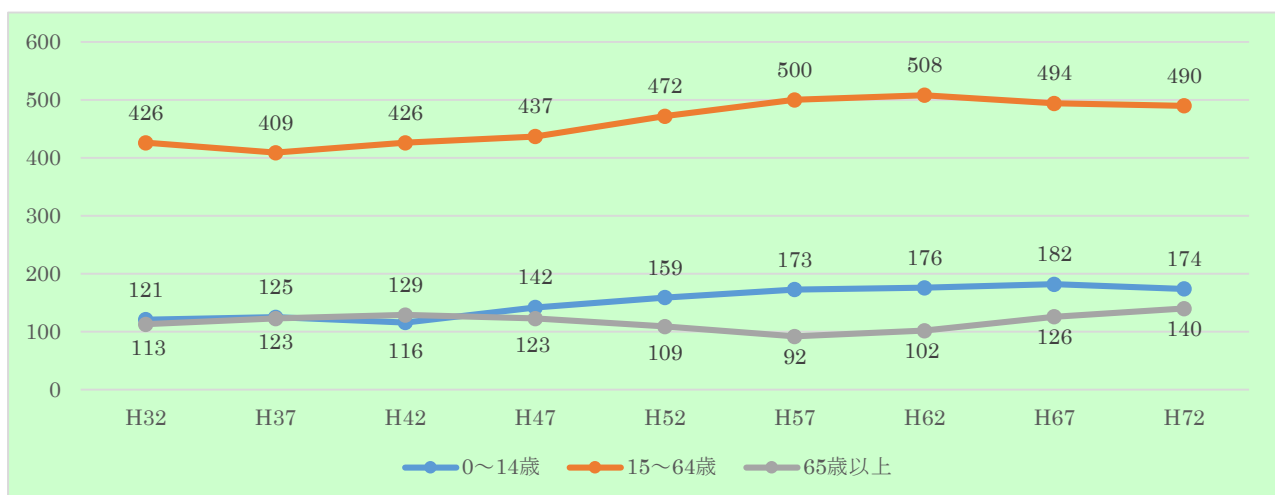
受け身シナリオ



受け身+自然増シナリオ

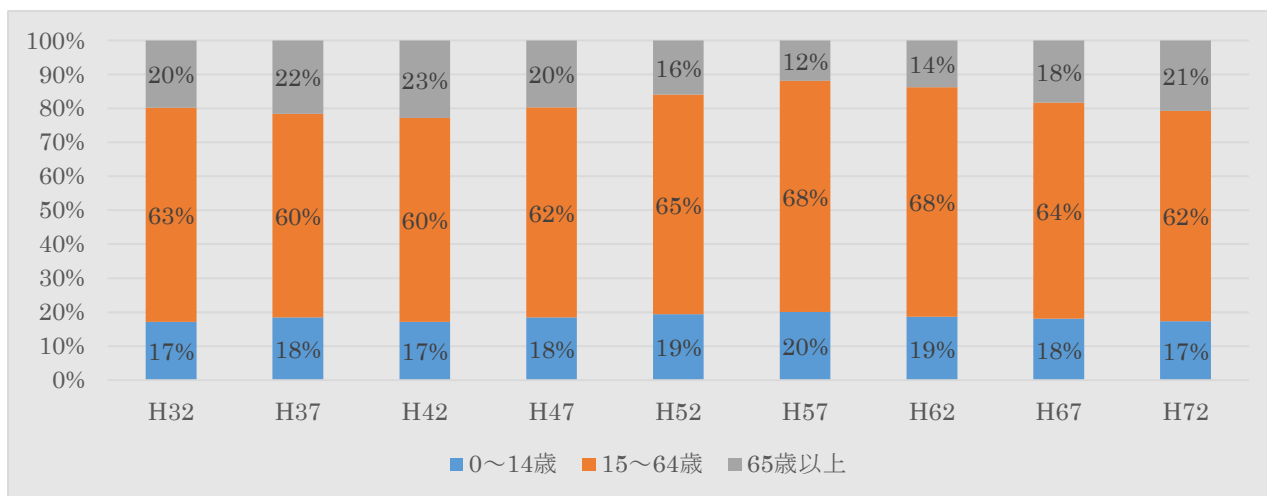


開拓シナリオ

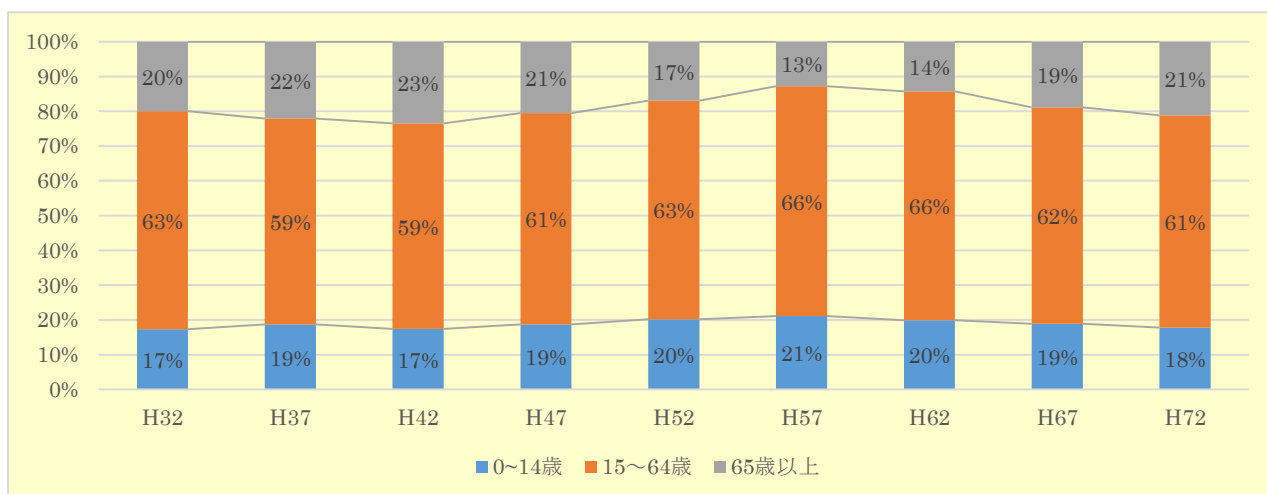


3) 年齢三区分人口構成比の推計 (H32~H72)

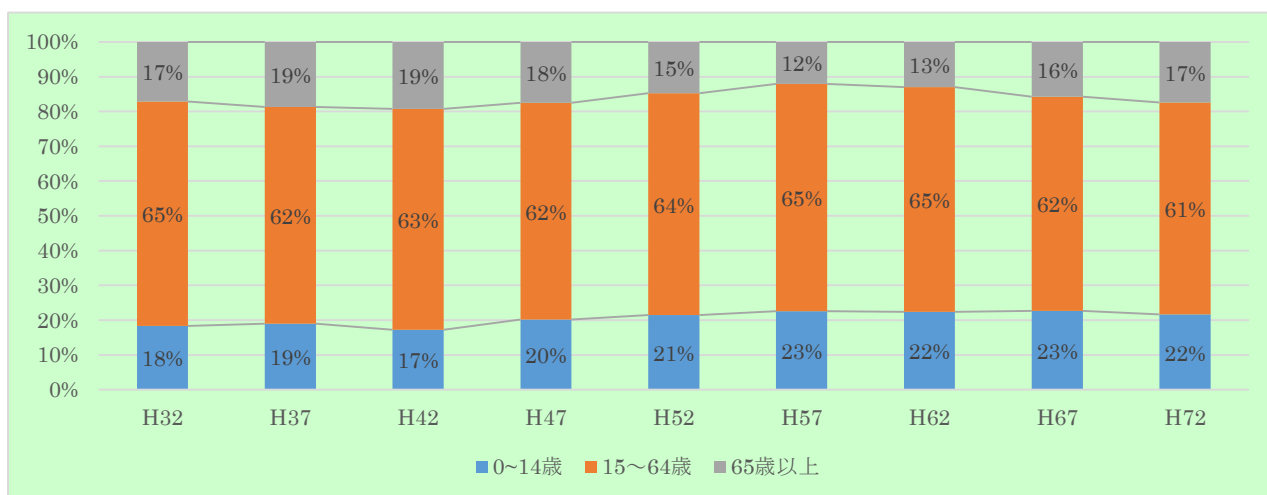
受け身シナリオ



受け身+自然増シナリオ

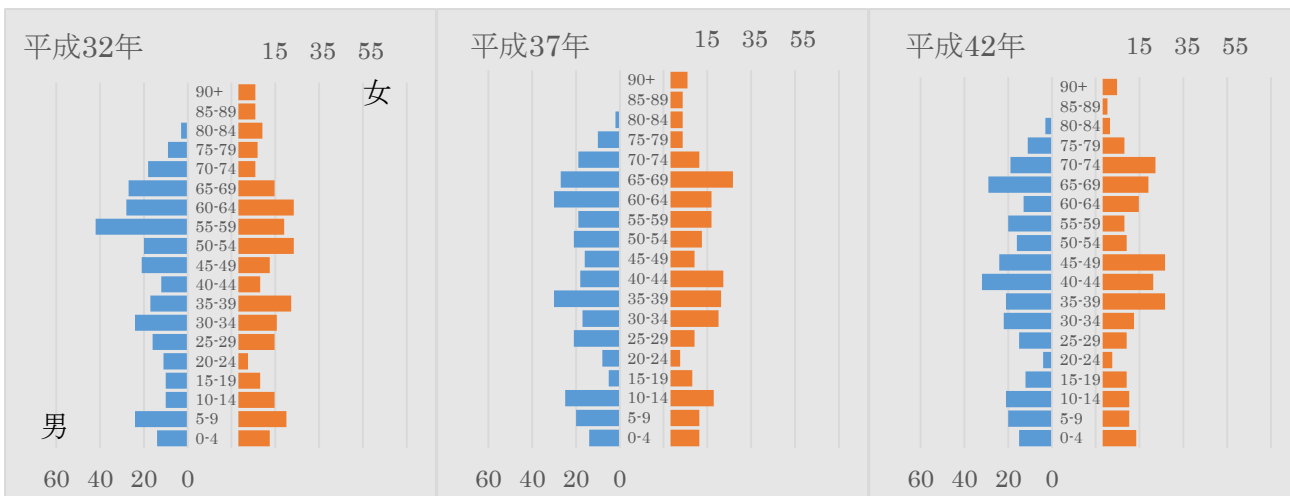


開拓シナリオ

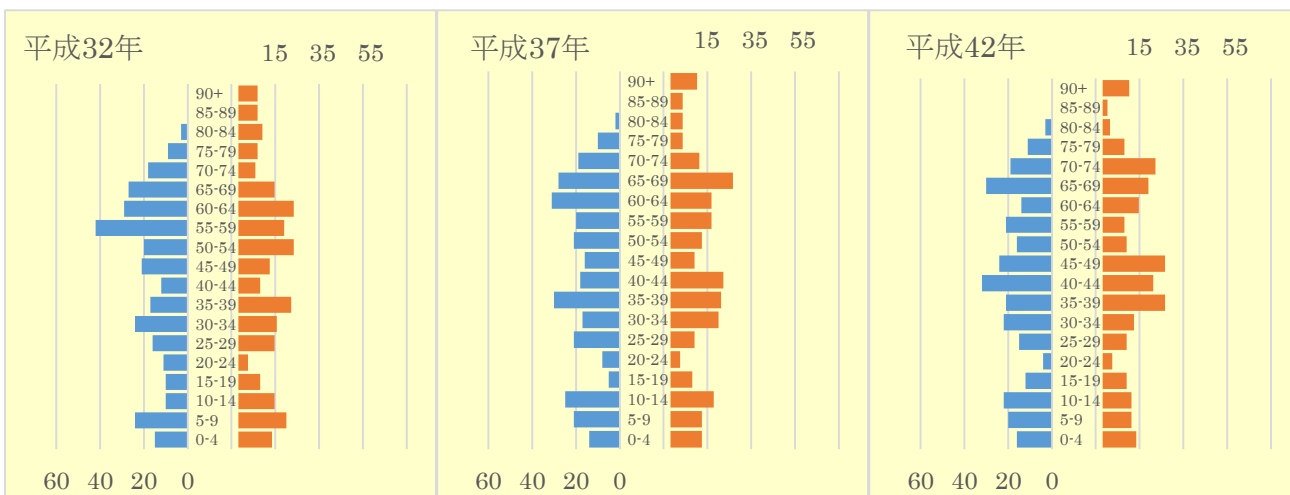


4) 年齢階級・男女別人口の推計 (H32~H72)

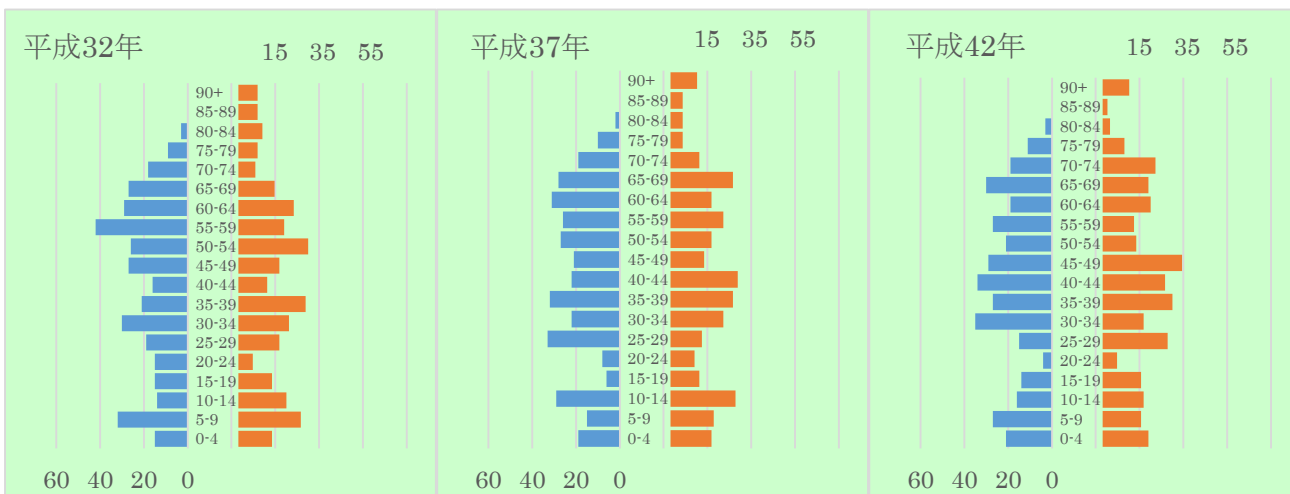
受け身シナリオ

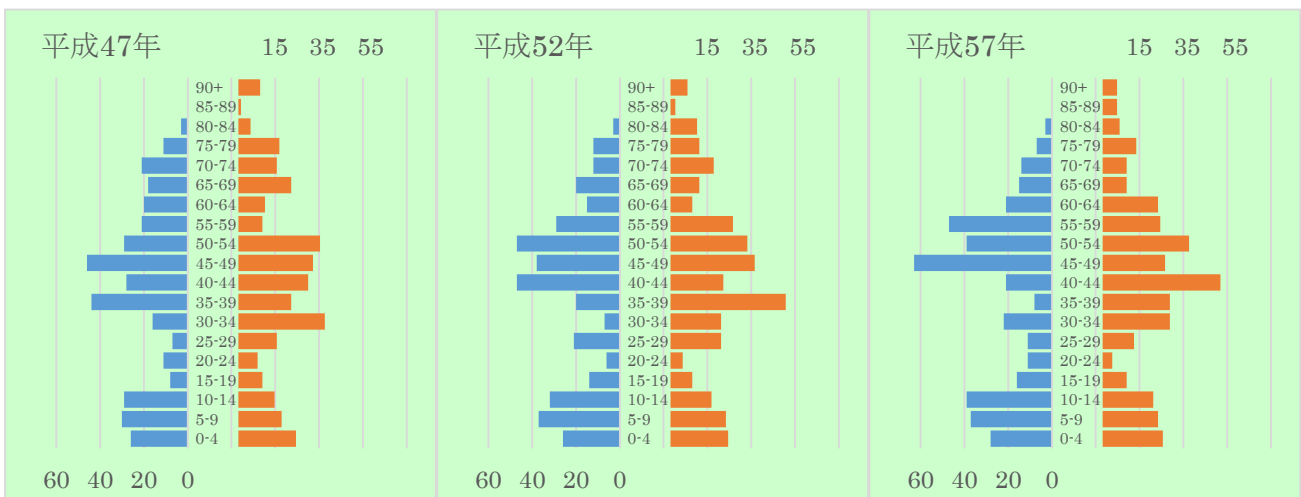
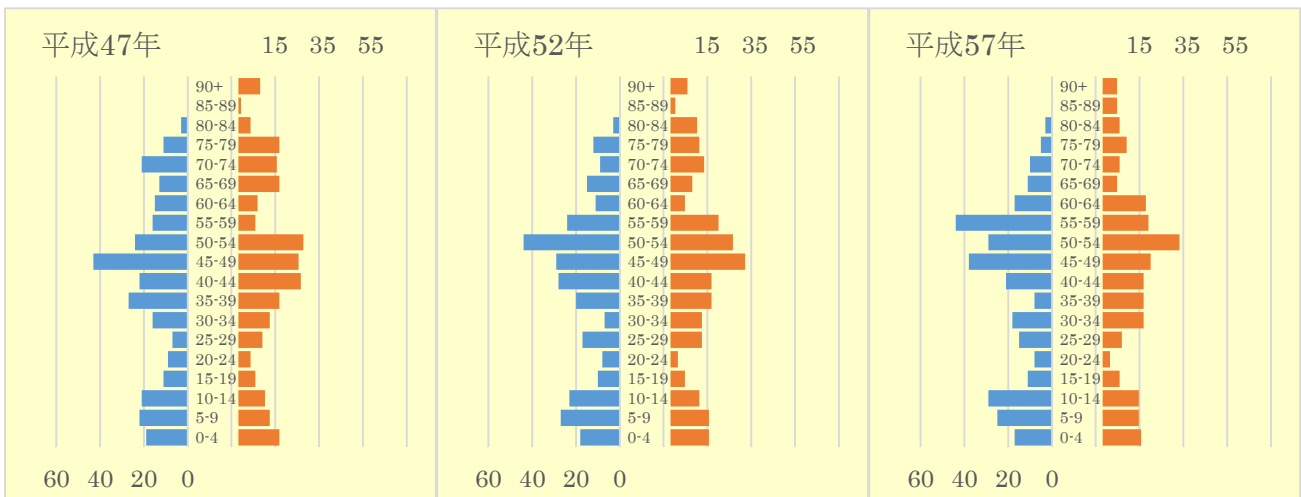
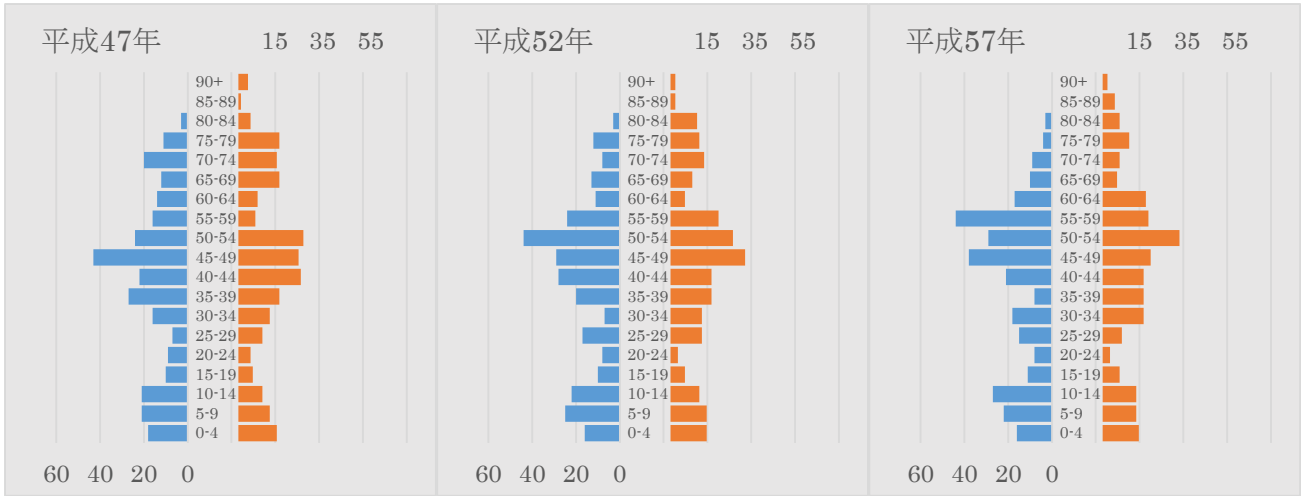


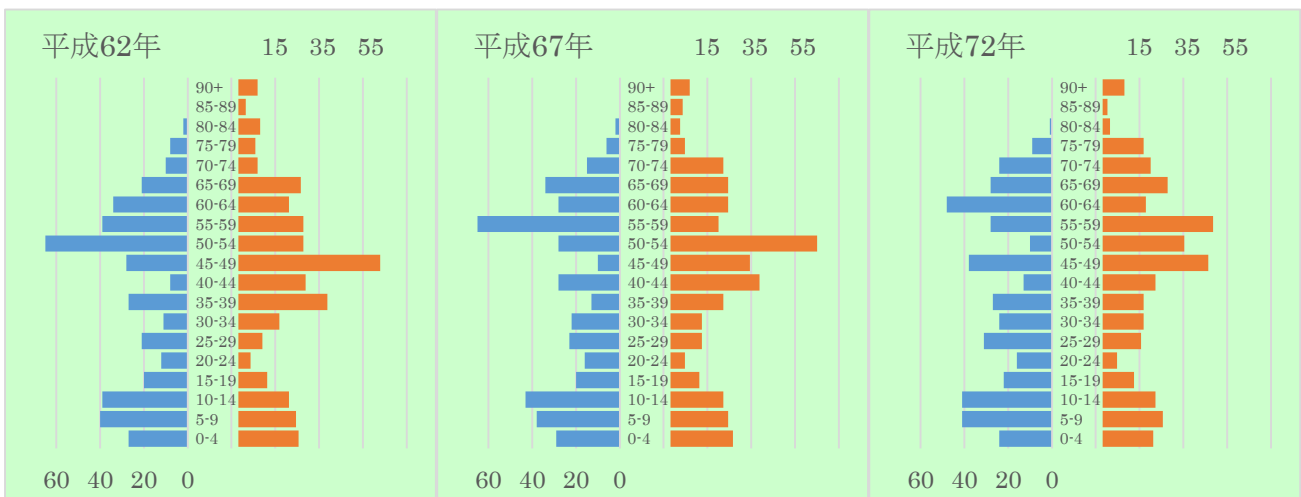
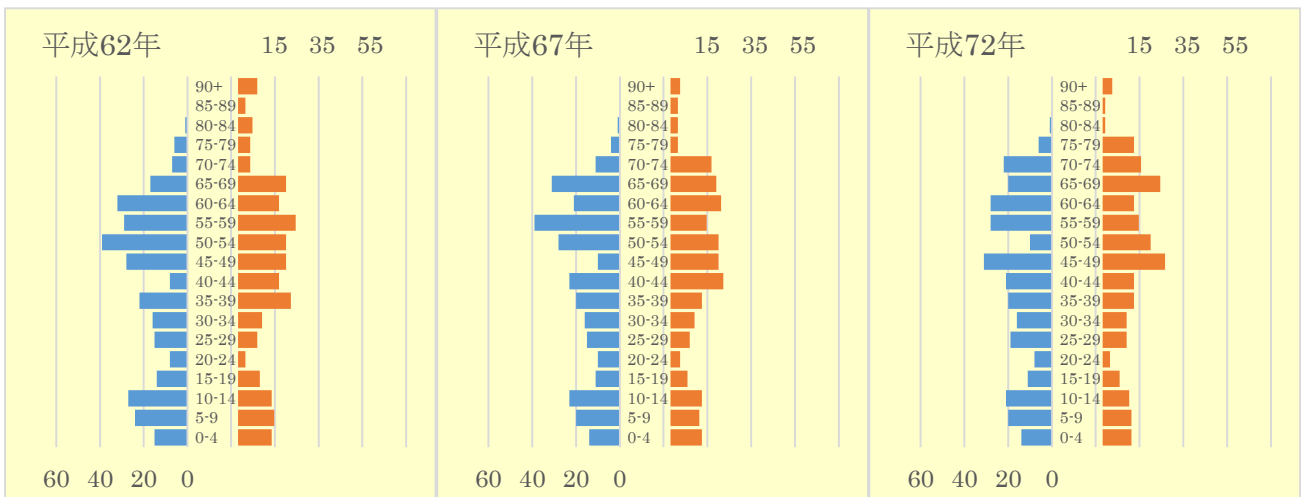
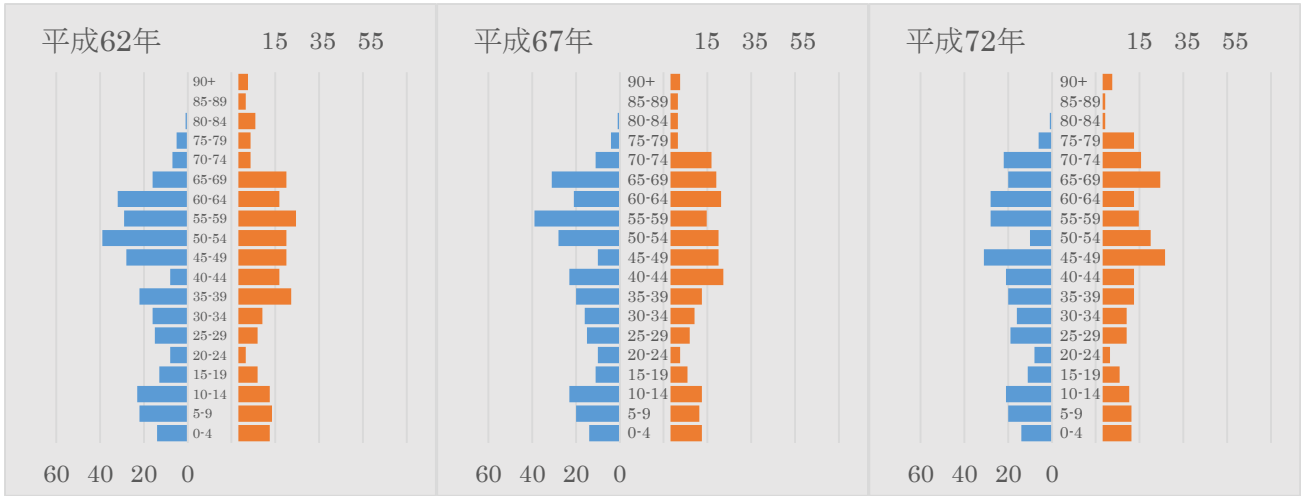
受け身+自然増シナリオ



開拓シナリオ







§ 2 総合戦略

- 目次 -

はじめに：基盤整備の進展と新たなフロンティアへの挑戦	1
1. 基本的な考え方	2
1. 1 地方創生総合戦略策定の位置づけ	2
1. 2 北大東村総合計画2012-21 その他計画を含めた施策体系	2
1. 3 3つの施策分野	2
1. 4 施策5原則のとらえ方	3
1. 5 沖縄県・日本における北大東村の役割	4
2. 基本目標の設定	5
2. 1 計画期間と目標設定の考え方	5
2. 2 施策分野ごとの目標と基本的な方向	5
1) しごとづくりの目標と方向	5
2) ひとづくりの目標と方向	6
2-1) 流れをつくる	6
2-2) 生み育てる／生ききる	6
3) しまづくりの目標と方向	7
3. 具体的な施策の展開	9
3. 1 しごとづくりのための施策	11
3. 2 ひとづくりのための施策	18
3. 2. 1 流れをつくる	18
3. 2. 2 生み育てる・生ききる	22
3. 3 しまづくりのための施策	25
4. 施策の検証	30
4. 1 PDCAサイクルの検証体制の構築	30
4. 2 PDCAサイクルの実施と戦略の見直し	30
おわりに：北大東から始まる地方の構造改革	31

はじめに：基盤整備の進展と新たなフロンティアへの挑戦

北大東島は、明治18（1885）年にはじめて日本の国土に組み入れられ、明治33（1900）年に八丈島出身の玉置半右衛門らによって南北大東島が開拓されるまで無人の島であった。戦前は、会社経営による燐鉱採掘の島として栄え、戦後村制が敷かれた後、サトウキビが島の主要産業となった。

北大東島は、沖縄本島から約360km 東方に位置する絶海の離島として、厳しい気象・地形の条件や交通環境の下でありながら、開拓者から受け継いだフロンティアスピリッツ（開拓精神）を発揮して、産業や生活の基盤整備に果敢に取り組んできた。



ほ場整備などの農業基盤整備は急速に進展し、農業経営の安定化が進むとともに、念願の漁港の整備により、水産業、観光業の本格的な展開や南大東島との交流の促進などに新たな可能性を見いだせるようになってきている。

昭和39（1964）年の全島電化、昭和60（1985）年の海水淡水化施設の整備など、生活インフラの整備が進展するとともに、放送や通信の環境も整備され、平成23（2011）年の海底ケーブル敷設により、本島との情報格差は大幅に是正された。

昭和53（1978）年の北大東空港の開港をはじめ、陸海の交通環境も大幅に改善され、現在では那覇との間に航空路線が毎日一往復、定期船が週1回程度運行している。

こうした産業や生活の基盤整備の進展を基礎として、基幹産業の発展と新たな産業の創出、交流・流入人口の拡大など、新たなフロンティアに挑戦し、いつまでも「暮らし続けていけるふるさとの島」を守り育てていくため、本戦略を策定する。



大東宮祭の様子

1. 基本的な考え方

1. 1 地方創生総合戦略の位置づけ

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的に、国は「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）」を施行し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。これを受けて、地方自治体（都道府県、市町村）においても、地方版総合戦略の策定が求められている。

こうした状況を踏まえ、北大東村総合戦略は、北大東村人口ビジョンの実現に向け、直近の5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策等を取りまとめるものとする。

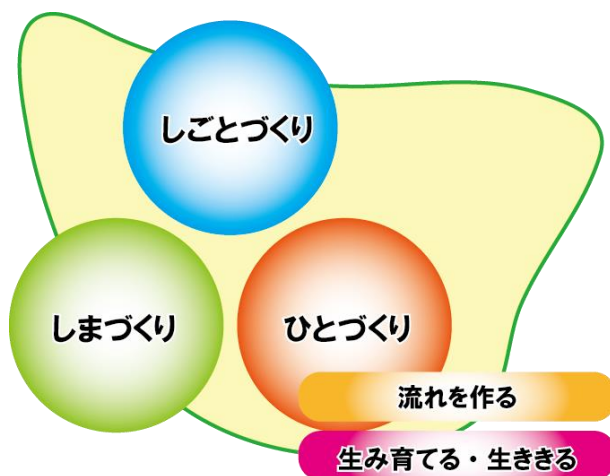
1. 2 北大東村総合計画2012-21その他計画を含めた施策体系

現在の北大東村総合計画の基本計画は、平成24（2012）年から平成33（2021）年までの村の基本的な施策の方向を定めたものである。また、当該総合計画の基本計画は、平成24（2012）年から平成28（2016）年までの前半期の具体的な施策のプログラムを定めたものである。

本総合戦略は、しごとづくり、ひとづくり、しまづくりの観点から、平成28年から平成33年までの施策プログラムを定めるものである。総合計画の後半期の基本計画も兼ねるものとする。

1. 3 3つの施策分野

「しごとづくり」「ひとづくり」「しまづくり」の3つの施策分野を設けて、施策を体系化する。「ひとづくり」については、「流れをつくる」「生み育てる／生ききる」という2つの小分野を設定する。



1. 4 施策5原則のとらえ方

本戦略は、施策5原則を次のように捉え、策定するものである。

1) 自律性

基幹産業の強化等により自律的な島の経済を確保するとともに、食料、エネルギー等の自給率を向上し、自律可能性を高める。また、農業、水産業等に従事する事業者が公的支援に頼らず、自律的に経営できる基盤を確立できるように支援する。



2) 将来性

次世代を担う若い世代のUJIターンを推進するとともに、生み育てる、生きることができるとともに、生活環境の整備や災害対策により、将来にわたって安心して居住できるしまづくりを推進する。

3) 地域性

絶海に浮かぶ開拓の島が持つ独自の歴史、文化、自然環境、資源を活かした産業の振興を図るとともに、島外との交流・連携を拡大し、限界を設けないしまづくりを推進する。「限界を設けないしまづくり」とは、島の面積や人口規模、理知的な制約等を理由に「できない」ことを数えるのではなく、島外との交流・連携により「できる」ことを限りなく追求するしまづくりを意味する。

4) 直接性

島の限りある財源、資源、人材を集中的に投入し、真に効果の発現が期待できる必要不可欠な施策を選択し、推進する。

5) 結果重視

具体的な数値目標を設定し、施策の実施状況について随時検証を行うとともに、結果を出すために必要な施策の見直しを柔軟に実施する。また、数値に現れない効果についても重視し、村民や外部の声を傾聴し、見直しに反映する。

1. 5 沖縄県・日本における北大東村の役割

南北大東島は日本の大切な経済水域を守る国境離島であり、島の産業、生活を守り育てることの重要性について、沖縄県内、全国に広く理解を得る必要がある。

村の行政範囲である沖大東島は、米軍の射爆場として使用され、島の経済発展のために

活用できない状況にあることについても、理解を高める必要がある。

南北大東島は、太平洋に浮かぶ数少ない有人離島として、また明治期に開拓された島として、歴史的・地理的な独自性を有しており、島全体が貴重な文化財であることについて理解を高める必要がある。北大東島は、特に全島がドロマイトで形成されていること、燐鉱採掘に関する国内唯一の産業遺構が現存していることなどから、希少性が高い。



▲排他的経済水域図（出展：海上保安庁）

2. 基本目標の設定

2. 1 計画期間と目標設定の考え方

計画期間は、平成28(2016)年から平成33(2021)年までの6年間とする。

計画期間中に達成すべき成果目標については、3つの施策分野(うち1つについては2つの小分野)ごとに設定する。

2. 2 施策分野ごとの目標と基本的な方向

1) しごとづくりの目標と方向

しごとづくりの基本的な方向は、基幹産業であるサトウキビ農業の持続可能性を確保するとともに、高付加価値の農業、水産業、観光業など新たな産業の創出を図るものとする。

成果目標は、次のとおりとする。

	基準値	目標値(H33年)
農産物の販売額	470百万円(H22)	1,210百万円
水産業の従業者数	2人(H22)	20人
観光・サービス業の生産額	290百万円(H22)	380百万円

【基準値・目標値の考え方】

➤ 農作物の販売額

基準値：総合計画と整合／基準値(H22) 470百万円

※H21年沖縄県市町村村民所得(農業)

目標値：総合計画と整合／目標値(H33) 1,210百万円

➤ 水産業の従業者数

基準値：総合計画と整合／基準値(H22) 2人 ※H22年国勢調査

目標値：総合計画と整合／目標値(H33) 17≒20人

➤ 観光・サービス業の従業者数

基準値：総合計画と整合／基準値(H22) 290百万円

※H21年沖縄県市町村村民所得

目標値：総合計画と整合／目標値(H33) 380百万円

2) ひとつづくりの目標と方向

2-1) 流れをつくる

ひとつづくり「流れをつくる」の基本的な方向は、新たな雇用や交流の機会の創出により、交流人口、転入人口の拡大を図るものとする。

成果目標は、次のとおりとする。

	基準値	目標値 (H33年)
生産人口の割合	62% (H27)	65%
交流人口	1,500人 (H22)	3,000人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 生産人口の割合

基準値：H27年住民基本台帳

目標値：人口ビジョン開拓シナリオによる試算

➤ 交流人口

基準値：総合計画策定時実績値

目標値：総合計画と整合

2-2) 生み育てる／生ききる

ひとつづくり「生み育てる／生ききる」の基本的な方向は、子育て支援・教育・医療・福祉の充実により、安心して出産・子育てができ、ふるさとの島で最期まで生活できる環境の整備を図るものとする。

成果目標は、次のとおりとする。

	基準値	目標値 (H33年)
出生率	1.83 (H20-24平均)	2.81
高齢者人口	111人 (H27)	113人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 出生率

基準値：H20-24年平均値（県統計年鑑）

目標値：人口ビジョン開拓シナリオによる試算

➤ 高齢者人口

基準値：H27年住民基本台帳（111人・19%）

目標値：人口ビジョン開拓シナリオによる試算

3) しまづくりの目標と方向

しまづくりの基本的な方向は、生活に必要な食料、エネルギーなどの自給率の向上と激化する災害への対策を進め、安心して居住できる環境の整備を図るとともに、交通・通信の充実により、南大東島との相互連携、沖縄本島などの人材とのネットワークの拡大により、限界を設けないしまづくりの推進を図るものとする。

成果目標は、次のとおりとする。

	基準値	目標値 (H33年)
食料自給施設の供給量	3 t (H27)	5 t
南大東島との交流人口	200 人 (H25)	300 人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 食料自給施設の供給量

基準値：平張り施設における JA 出荷量 H27 年 (村調べ)

目標値：平張り施設における野菜生産計画

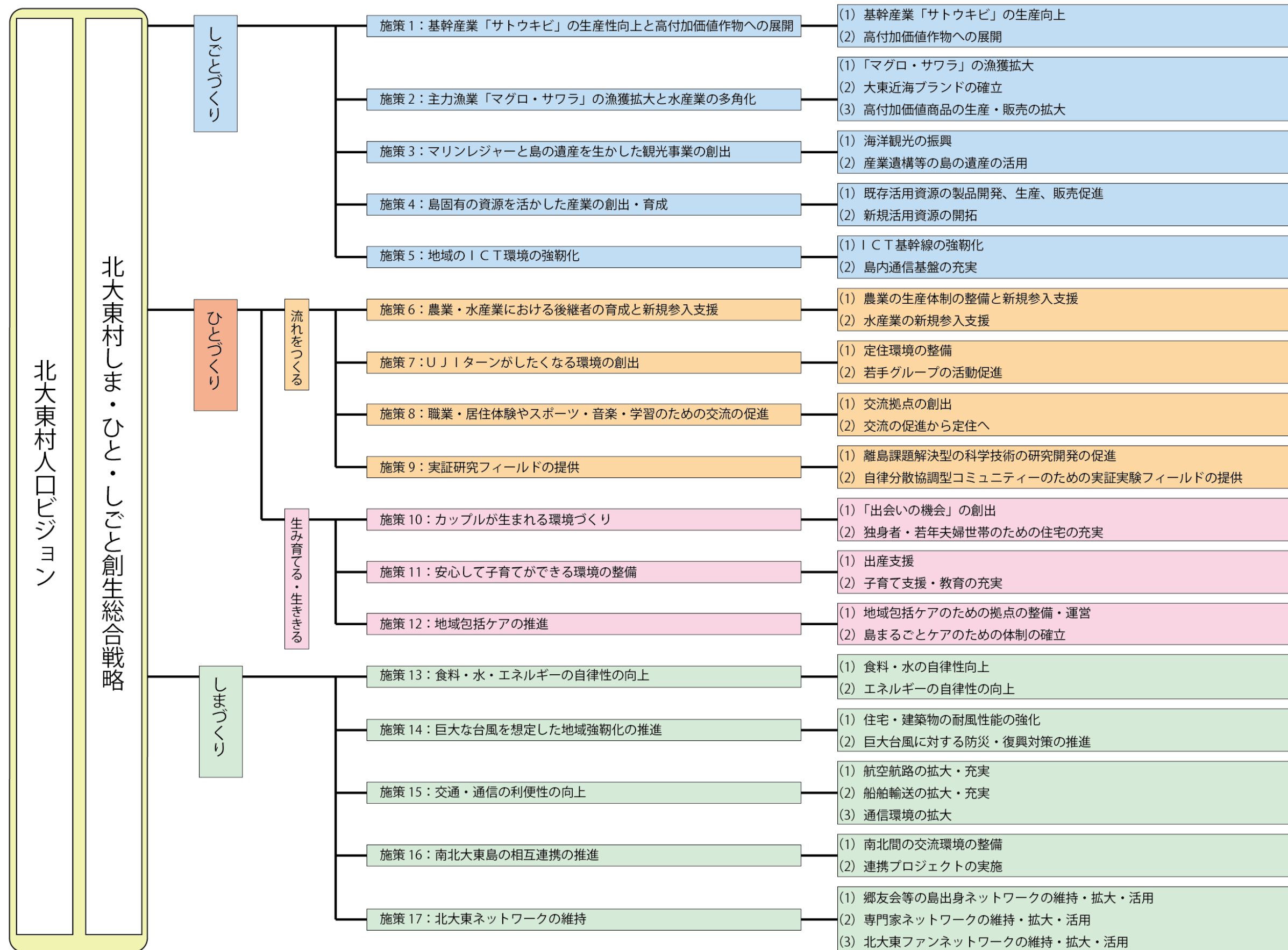
➤ 南大東島との交流人口

基準値：南北交流試合実績 (村調べ)

目標値：現状に加え、南北大東島における祭りやイベント参加数の増

3. 具体的な施策の展開

具体的施策の全体像を体系として図に示すと次のとおりである。



しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

3. 1 しごとづくりのための施策

施策1：基幹農業「サトウキビ」の生産性向上と付加価値作物への展開

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
サトウキビ 1ha 当りの年間収穫量	28.4 t /ha (H26/27)	70 t /ha
高付加価値作物の年間総出荷額	112.6 百万円 (H25/26)	350 百万円

【基準値・目標値の考え方】

➤ サトウキビ 1ha 当りの年間収穫量

基準値：H26/27 年 生産高 10,784 t /作付面積 379.8ha=28.4 t (村調べ)

目標値：70 t、さとうきび増産プロジェクト計画

➤ 高付加価値作物の年間総出荷額

基準値：カボチャ、馬鈴薯の売上高 (H25/26 年)

目標値：総合計画と整合

(1) 基幹農業「サトウキビ」の生産性向上

農業基盤整備を推進しつつ、土壌改良による地力の増進を積極的に推進し、サトウキビの生産性の向上を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○ 灌漑・ため池・ほ場整備の推進	建設課
○ 地力の増進事業の実施	経済課
● 地力増進のための資源流通システムの構築	経済課
☆ 大型ハーベスト等の設備機器の計画的更新	経済課 (民間)

(2) 高付加価値作物への展開

サトウキビの間作作物である馬鈴薯、カボチャについて高い市場評価に基づく生産量、販路の拡大を図るとともに、新たな高付加価値作物の導入を検討する。

具体的な施策	担当課・実施主体
● 馬鈴薯、カボチャの生産量の拡大	経済課 (民間)
● 間作のための新規の高付加価値作物の導入検討 (サツマイモ、ゴマなど)	経済課 (民間)
● 高付加価値作物の販路拡大の検討	経済課 (民間)

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策2：主力漁業「マグロ・サワラ」の漁獲拡大と水産業の多角化

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
マグロ・サワラの年間漁獲量の拡大	30.7 t (H26)	65.0 t
高付加価値商品の年間出荷額の拡大	15 百万円 (H26)	250 百万円

【基準値・目標値の考え方】

➤ マグロ・サワラの年間漁獲量の拡大

基準値：H26年 水揚げ量 30.7 t (村調べ)

目標値：65.0 t

水産加工施設の整備、新漁港の整備、漁船の大型化による漁獲量拡大の見込み

➤ 高付加価値作物の年間出荷額

基準値：実績値

目標値：総合計画と整合

(1)「マグロ・サワラ」の漁獲量拡大

漁港の開港に伴い、漁業への新規参入を促進するとともに、マグロ・サワラの漁業を安定して営める環境を整備し、漁獲量の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○漁港の開港に伴う必要な施設の整備	経済課
●若手を中心とした漁業への新規参入の促進	経済課
○新規の中型漁船の導入支援（集落協定）	経済課
☆漁業協同組合の設立	経済課（水産組合）
●安定的な販路の開拓及び維持（県内大規模小売業への販売量の拡大）	経済課
○北港周辺への船溜の整備	経済課

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

(2) 大東近海ブランドの確立	
<p>漁港の開港に伴い、県内船の入港、水揚げの受け入れ体制を整備するとともに、品質管理を徹底し、大東近海ブランドの確立・普及を図る。</p>	
具体的な施策	担当課・実施主体
●県内船からの水揚げの受け入れ体制の整備	経済課
○受け入れに伴う施設・設備の拡充（荷捌、加工・貯蔵、出荷等）	経済課
○県内船への操業支援のための体制・環境の整備（氷等の供給）	経済課
●県内船を含めた品質水準の確保（基準化、研修、認証）	経済課
●地域 HCCP の確立	経済課
●県外船の違反操業船舶の監視・取締	経済課

(3) 高付加価値商品の生産・販売の拡大	
<p>陸上養殖の推進、対象漁種の拡大、飲食店舗向けの商品開発等により、高付加価値商品の生産・販売の拡大を図る。</p>	
具体的な施策	担当課・実施主体
●陸上養殖（アワビ、ヒラメ等）の生産体制の確立	経済課
●対象魚種の拡大（ソデイカ、ナワキリ等）	経済課
●航空輸送を活用した高付加価値商品の販路の確保	経済課
：飲食店舗向けの北大東水産パックの提供（高級小魚、刺身サク等）	
：ナワキリ刺身、漬けマグロ・サワラ等の冷凍商品の販売	

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策3：マリンレジャーと島の遺産を活かした観光事業の創出

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
島内年間入り込み客数の増加	1,000人 (H26)	2,500人
りんこう交流館の年間利用客数	—	3,000人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 島内年間入り込み客数の増加

基準値：観光を目的としたはまゆう荘の年間宿泊客数（H26年）

目標値：航空輸送量の目標値と整合

➤ りんこう交流館の年間利用客数

基準値：—

目標値：交流人口3000人に整合

（1）海洋観光の振興

マリンレジャーのための環境整備、海産物の食事・土産物の充実、港周辺の産業遺構観光との連携等により、海洋観光の振興を図る。また、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化のため港湾における拠点機能の強化を推進する。

具体的な施策	担当課・実施主体
●観光客のための水産資源の冷凍備蓄と備蓄資源を活用した加工商品の供給→マグロ節の復活、安定供給	経済課
●りんこう館の営業の本格化（食の体験、ダイビング・釣り等のマリンレジャー、文化財見学）	経済課
☆大型魚を対象とした遊漁船の営業	経済課（水産組合）
●港周辺の資源を活用した観光パッケージ商品の提供（燐鉱採掘の産業遺構とマリンレジャーをセットにした商品）	経済課
○観光魚礁及び釣り場の整備	経済課
●南北大東間の不定期航路の導入	経済課
☆民間能力を活用した宿泊施設の収容能力の拡大（宿泊施設の新増設、合宿施設の整備、民泊の推進等）	経済課（民間）

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

(2) 産業遺構等の島の遺産の活用	
港周辺の産業遺構等の固有の地域資源について、文化財としての位置づけを明確にし、保全、再生、活用を図る。	
具体的な施策	担当課・実施主体
●燐鉱産業遺構の史跡指定及び港地区の重要文化的景観選定に向けた調査検討の推進	教育委員会
●港地区における準景観地区導入のための調査検討の推進	建設課
○燐鉱産業遺構(史跡対象)の保全工事の実施	教育委員会
○燐鉱産業遺構(文化的景観)の保全、再生、活用による水産業、観光等のための施設の整備	経済課
○関連する道路(電線地中化を含む)、公園、港湾等の整備	建設課
●ジオパーク(地質遺産)に向けた調査検討の推進	教育委員会

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策4：島固有の資源を活かした産業の創出・育成

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
月桃商品の原料生産量の拡大	200 t (H27)	240 t
新規開発商品数	—	5種

【基準値・目標値の考え方】

- 月桃商品の原料生産量の拡大
基準値：月桃工場の生産量（現況）
目標値：村調べ
- 新規開発商品数
基準値：—
目標値：村調べ

（1）既存活用資源の製品開発、生産、販売の促進

月桃、ドロマイト等の地域資源を活用した特産品の更なる製品開発及び生産・販売の促進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
☆月桃商品の販路拡大と新規商品の開発	経済課
☆ドロマイト商品の販路拡大と新規商品の開発	経済課

（2）新規活用資源の開拓

新規に活用可能な地域資源を開拓し、特産品としての活用を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○淡水化施設のくみ上げ海水の利用（飲料水、食塩）	経済課
○景観を阻害するギンネムの有効利用による伐採の促進	経済課
●農産物及び水産物の加工商品の開発	経済課

しごとづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策5：地域のICT環境の強靱化

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
フリーWi-Fi 推奨エリア普及率	—	100%

【基準値・目標値の考え方】

➤ 新規開発商品数

基準値：—

目標値：生活主要拠点におけるWi-Fiの普及（下図参照）

（1）ICT基幹線の強靱化

現行では、那覇・南大東間で敷設されている海底ケーブルについて、那覇—北大東間での直結を実現し、通信環境の強靱化を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○那覇との海底ケーブルの直結（二重化）	総務課

（2）島内通信基盤の充実

島内の光ファイバーケーブルの敷設の推進、全島フリーWi-Fi環境の実現等のユビキタス環境の推進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○光ファイバーケーブルの敷設	総務課
○全島フリーWi-Fiの実現	総務課



ひとつづくりのための施策—流れをつくる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

3. 2 ひとつづくりのための施策

3. 2. 1 流れをつくる

施策6 農業・水産業における後継者の育成と新規参入支援

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
農業新規参入者数	—	25人
水産業新規参入者数	—	15人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 農業新規参入者数

基準値：—

目標値：総合計画と整合

➤ 水産業新規参入者数

基準値：—

目標値：総合計画と整合

(1) 農業の生産体制の整備と新規参入支援

高齢化による担い手の減少が懸念される農業において、新規参入がしやすい環境づくりを推進する。

具体的な施策	担当課・実施主体
●段階的な農地の集約と集団営農への移行	経済課
●将来的な担い手としての新規参入者の受け皿づくり	経済課

(2) 水産業の新規参入支援

漁港の開港に伴い本格化が期待される水産業において、新規参入を積極的に支援し、水産業及び関連産業による雇用の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●新規参入希望者に対する研修及び体験就業の実施	経済課
●新規参入者に対する就業支援	経済課
●マリンレジャー等の新たな業態のための人材確保	経済課

ひとつづくりのための施策—流れをつくる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策7 UJIターンがしたくなる環境の創出

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
総住宅戸数	237戸 (H22)	270戸
青年団の年間活動回数	6回 (H27)	12回

【基準値・目標値の考え方】

➤ 総住宅戸数

基準値：H22 国勢調査結果

目標値：総合計画と整合

➤ 青年団の年間活動回数

基準値：青年会活動6回（現状）

目標値：月1回を想定し年間12回

(1) 定住環境の整備

現行では不足している住宅の建設を促進し、定住環境の充実を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○定住促進住宅の充実	建設課
○宅地造成の推進	建設課
☆民間賃貸住宅の整備	建設課（民間）
●定住環境に関する情報発信	総務課
☆住宅建設促進のためのPFI方式の導入	建設課（民間）
●住宅建設コストの内外価格差是正のための措置の推進	建設課、総務課

(2) 若手グループの活動促進

若い世代が島での生活を充実して過ごすことができるように、若手グループによる活動の活発化を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●若手グループによる商品開発、ツアー企画等のしまづくり活用への積極的参加	総務課（青年団）
●若手グループによる多様なレクリエーション活動の創出と情報発信	総務課（青年団）

ひとつづくりのための施策—流れをつくる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策8 職業・居住体験やスポーツ・音楽・学習のための交流の促進

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
交流拠点の年間利用者数	1,800人 (H27)	2,000人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 交流拠点の年間利用者数

基準値：年間利用者数（村調べ）

目標値：1800人（現状）+ イナカレッジ中短期滞在者

（1）交流拠点の創出

島での短期、中期、長期の体験型滞在を可能とする施設を整備し、交流人口の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○宿泊型の交流拠点の整備	企画財政課及び関係各課
○運動場、体育館の整備充実	教育委員会
○音楽スタジオ等の施設の整備	企画財政課及び関係各課

（2）交流の促進から定住へ

体験型滞在のための多様なメニューを提供することにより、定住へとつながる交流人口の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●短期・長期に職業体験、居住体験が可能なIターン留学を受け入れるイナカレッジの開催	企画財政課及び関係各課
●障がい児による農業等の授産体験の実施	経済課
●スポーツに関する交流メニューの開発 (短期・長期のトレーニング、合宿、保養など)	経済課
●音楽に関する交流メニューの開発 (バンド合宿、楽曲制作・収録など)	経済課
●体験型修学旅行の受入	経済課
●農家等への民泊の受入促進	経済課

ひとつづくりのための施策—流れをつくる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策9 実証研究フィールドの提供

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
研究プロジェクトの実施件数	4件 (H27)	7件

【基準値・目標値の考え方】

➤ 研究プロジェクトの実施件数

基準値：4件（現状）

目標値：基準値に加え、下記の施策3件

（1）離島課題解決型の科学技術の研究開発の推進

北大東島の固有の課題や資源を対象とした研究プロジェクトを推進し、高度人材の交流の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●北大東の離島課題（災害、廃棄物、違反船舶等）に対応する研究開発への資金の提供	企画財政課及び関係各課
●北大東の独自の歴史、文化、地質等に関する研究活動に対する便宜供与（宿泊先のあっせん、交通手段の確保、調査先の予約など）	教育委員会

（2）自律分散協調型コミュニティのための実証研究フィールドの提供

北大東島の自律性を高めるための研究プロジェクトを推進し、高度人材の交流の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○自然・水素エネルギーの利活用、スマートコミュニティのネットワーク形成、ゼロエミッションなどの研究開発のための実証フィールドを提供	経済課

ひとつづくりのための施策／生み育てる・生ききる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

3. 2. 2 生み育てる・生ききる

施策10 カップルが生まれる環境づくり

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
青年団による婚活活動の年間企画件数	—	1回
新規結婚件数	年3組 (H22-26 平均)	年6組

【基準値・目標値の考え方】

▶ 青年団による婚活活動の年間企画件数

基準値：—

目標値：年1回を想定

▶ 新規結婚件数

基準値：過去5年（H22-26年）平均値

目標値：過去5年間の最高値を維持（H26）

(1) 「出会いの機会」の創出

青年団の自主的な企画・活動を支援し、出会いの機会の創出・拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●若手雇用者の島外研修の機会の拡大	総務課
●青年団提案の婚活企画への実施支援	総務課
●青年団による地域貢献活動の活発化	総務課
●南北大東島の若者の交流機会の拡大	総務課

(2) 独身者・若年夫婦世帯のための住宅の充実

結婚しやすい住環境の充実を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
○独身者向けのシェアハウスの整備	建設課
○若年夫婦世帯向けの住宅の整備	建設課

ひとつくりのための施策／生み育てる・生ききる

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策 1 1 安心して子育てができる環境の整備

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
出産数	11人 (H26)	29人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 出産数

基準値：H26年住民基本台帳

目標値：人口ビジョン開拓シナリオによる試算

(1) 出産支援の充実

離島に起因する出産の経済的負担の軽減を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦検診、出産のための渡航・滞在費用の支援の充実 ●出産祝金の継続的な実施 ●3人目以降の子育てが可能な収入水準目標を目指した産業振興の推進 	福祉衛生課 福祉衛生課 経済課

(2) 子育て支援・教育の充実

安心して子育てができるよう、子育て支援や教育の充実を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ●1歳児、ゼロ歳児への保育の対象拡大 ●村営塾の継続による学力向上の推進 ●大東太鼓、バドミントンなどの文化・スポーツによる島外交流機会の拡大 ●島出身高校生の本島での生活・居住支援の充実 ●通信教育等の教育手段の多様化 	福祉衛生課 教育委員会 教育委員会 総務課、(郷友会) 教育委員会

ひとつづくりのための施策／生み育てる・生ききる

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策12 地域包括ケアの推進

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
複合型福祉施設の利用者数	7,400人 (H27)	8,000人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 複合型福祉施設の利用者数

基準値：現状利用者数

目標値：現状利用者、預かり保育利用者数増

(1) 地域包括ケアのための拠点の整備・運営

複合型福祉施設の利用の拡大を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ●複合型福祉施設の利用の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場（カフェ） ・独居高齢者向けの宿泊施設 	福祉衛生課

(2) 島まるごとケアのための体制の確立

島全体で高齢者を支えるための体制の確立を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●健康づくりのための検診、イベントの充実	福祉衛生課
●日常的な見守り、連絡体制の整備	福祉衛生課
●施設間連携による多世代の交流機会の創出	福祉衛生課、教育委員会

しまづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

3. 3 しまづくりのための施策

施策13 食料・水・エネルギーの自律性の向上

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
エネルギー自律性向上のための 実証実験数	—	1件

【基準値・目標値の考え方】

➤ エネルギー自律性向上のための実証実験数

基準値：—

目標値：「(2) エネルギー自律性向上」の下記施策のうち、少なくとも1件の実施

(1) 食料・水の自律性の向上

災害時等の長期の不足にも対応できるよう、食料の自給率の向上や水の安定的な確保の一層の推進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●自給自足農園システムの普及促進	経済課
●鶏卵などの自給体制の確立に向けた検討	経済課
○水道施設運営の広域化による水道料金の低減	福祉衛生課
○淡水化施設の長期故障に備えた貯水タンクの整備	福祉衛生課

(2) エネルギーの自律性の向上

エネルギーの自律性の向上を図るため、再生利用エネルギーを導入するための実証実験の推進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●島内エネルギーの低炭素化のための実証実験の推進	経済課
●燃料電池自動車及び水素ステーションの導入のための実証実験の推進	経済課

しまづくりのための施策

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策14 巨大な台風を想定した地域強靱化の推進

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
防災拠点（施設）数	12箇所 (H27)	16箇所

【基準値・目標値の考え方】

➤ 防災拠点（施設）数

基準値：北大東村地域防災計画

目標値：現状+4 箇所

（1）住宅・建築物の耐風性能の強化

年々激化する台風に備えるため、住宅や建築物の耐風性を強化するための研究、支援を推進する。

具体的な施策	担当課・実施主体
●住宅・建築物の耐風対策のための構法の検討	建設課
○耐風改修の推進	建設課
●防風屋敷林の充実	経済課

（2）巨大台風に対する防災・復興対策の推進

巨大台風の襲来に備え、インフラ系統の二重化等の地域の強靱化を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●インフラ（道路、水道、通信等）の強靱化（二重系統化、バックアップなど）	総務課及び関係各課
○防災施設の整備（シェルター施設など）	総務課

しまづくりのための施策

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策16 南北大東島の相互連携の推進

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
南北大東航路の年間運行回数 (往復)	—	100回
連携プロジェクトの立ち上げ	—	2件

【基準値・目標値の考え方】

➤ 南北大東航路の年間運行回数

基準値：—

目標値：週2回を想定

➤ 連携プロジェクトの立ち上げ

基準値：—

目標値：「(2) 連携プロジェクトの推進」における下記の施策2件を想定

(1) 南北大東間の海上交通の整備

南北大東間の海上交通を整備し、交流の促進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
☆南北大東島間の不定期航路の整備	経済課 (民間)

(2) 連携プロジェクトの推進

観光、文化財保護等の分野で連携プロジェクトの推進を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●観光プログラムの推進	経済課
●文化財指定、ジオパークへの対応の共同実施	教育委員会

1. 策定審議委員会（要綱及び委員名簿及び審議の経緯）

北大東村まち・ひと・しごと総合戦略策定審議委員会名簿

	所属等	氏名	分野等
委員長	中部大学教授、北大東政策参与	服部 敦	学識者
副委員長	北大東村副村長	鬼塚 三典	行政
委員	北大東村議会議長	上間 正巳	行政
	(株)与儀組 代表取締役社長	浅沼 義功	産業
	北大東製糖(株) 所長	新里 副則	産業
	J Aおきなわ北大東支店 支店長	城間 ゆう子	金融
	北大東村水産組合 組合長	知花 実	産業
	(株)フロンティアプラネット	當間 リエ子	観光
	南区区長	大澤 芳郎	地元代表
	中野区代表	沖山 久代	地元代表
	港区代表	末吉 勝助	地元代表

審議の経緯

平成 27 年 10 月 30 日	第 1 回 策定審議委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口ビジョンの考え方について ● 総合戦略構成案について
平成 27 年 12 月 11 日	第 2 回 策定審議委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートの結果報告 ● 人口ビジョンの骨子について ● 総合戦略の骨子について
平成 28 年 3 月 2 日	第 3 回 策定審議委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口ビジョン（案）について ● 総合戦略（案）について

2. 数字で見る北大東村

(1) 人口

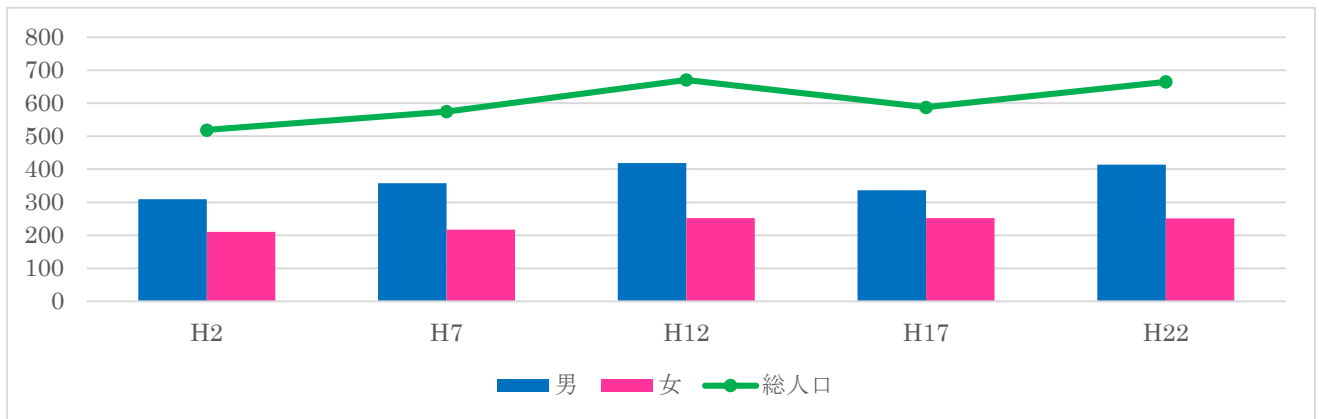
1-1 人口推移

考察

- ・ 北大東村の人口は国勢調査、住民基本台帳ともに、ゆるやかに増加している
- ・ 平成22年の人口は国勢調査で665人、住民基本台帳で545人
- ・ 平成22年の人口を比較すると、約100人の差がある
- ・ この差の要因は男性の季節労働者だと考えられる

1-1. A 総人口と男女別人口の推移

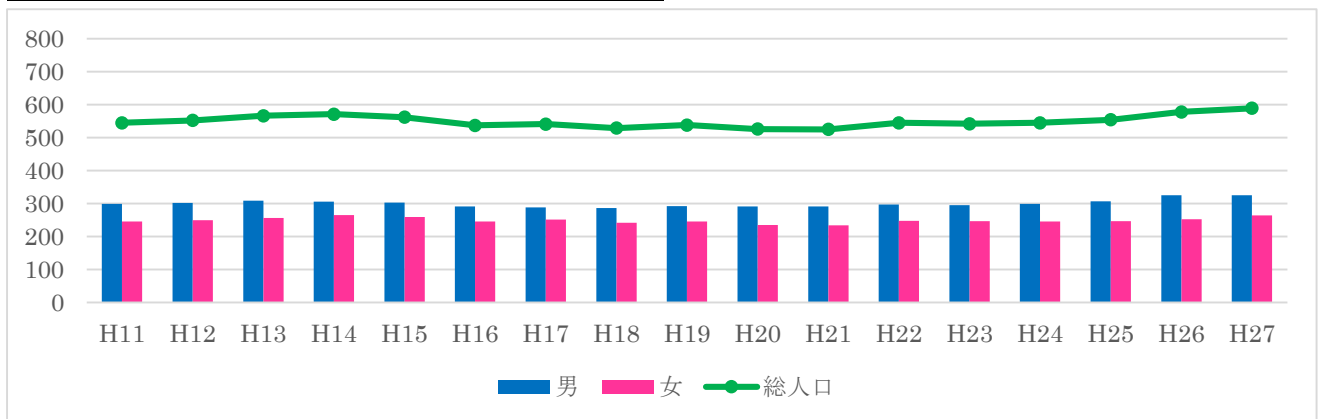
① 国勢調査



	H2	H7	H12	H17	H22
総人口	519	575	671	588	665
男	309	358	419	336	414
女	210	217	252	252	251

資料: 国勢調査

② 住民基本台帳 (各年9月末データ)



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
総人口	545	552	566	571	562	537	541	529	538
男	299	302	309	306	303	291	289	287	292
女	246	250	257	265	259	246	252	242	246

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
総人口	526	525	545	542	545	554	578	589
男	291	291	297	295	299	307	325	325
女	235	234	248	247	246	247	253	264

資料: 北大東村住民基本台帳

しまづくりのための施策

【凡例】 ○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策15 交通・通信の利便性の向上

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
1日当り航空機輸送人数	40人 (H27)	100人
特定商品の物価 (那覇市の指数100)	142.5 (H23)	130.0

【基準値・目標値の考え方】

➤ 1日当り航空機輸送人数

基準値：現在の輸送人数 (40人乗り×1日1便)

目標値：50人乗り×1日2便

➤ 特定商品の物価 (那覇市の指数100)

基準値：H27 離島関係資料/物価 (H23 データ)：北大東村

目標値：H27 離島関係資料/物価 (H23 データ)：沖縄県離島平均

(1) 航空路線の拡大・充実

島外との連携・交流の迅速化を図るため、航空路線の拡大、充実を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
☆航空機の輸送量の拡大	総務課 (民間)
☆一日二便の実現	総務課 (民間)
☆航空運賃の低廉化	総務課 (民間)
○空港の夜間照明の整備	総務課

(2) 船舶輸送の拡大・充実

産業や生活の高コスト構造の是正を図るため、船舶輸送の拡大、充実を図るとともに、南北大東間の交流を促進する。

具体的な施策	担当課・実施主体
●輸出商品の運賃コストの低減	経済課
●生活必需品の輸入コストの低減による物価の抑制	経済課

(3) 通信環境の拡大・充実

島外との交流の促進を図るため、通信環境の拡大、充実を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●携帯電話の全社通話可能化	総務課
●光ファイバーの敷設推進	総務課
●全島フリーWi-Fiの整備	総務課

しまづくりのための施策

【凡例】○：ハード事業 ●ソフト事業 ☆民間

施策17 北大東ネットワークの維持・拡大・活用

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H33)
郷友会の会員総数	500人 (H27)	600人

【基準値・目標値の考え方】

➤ 郷友会の会員数

基準値：H27年時点の会員数（郷友会調べ）

目標値：毎年の中学校卒業生と離任教員計年間20名×5年間で100人増

(1) 郷友会等の島出身ネットワークの維持・拡大・活用

島出身者とのネットワークの維持、拡大、活用により、限界を設けないしまづくりを推進する。

具体的な施策	担当課・実施主体
●ふるさと納税の普及	企画財政課
●郷友会への情報発信の充実	総務課
●勤務経験教員のネットワークの確立	教育委員会

(2) 専門家ネットワークの維持・拡大・活用

島に関与する多様な分野の専門家相互の交流・連携等により、専門家ネットワークの維持、拡大、一層の活用を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●島に関与する専門家の情報交換機会の確保	経済課及び関係各課

(3) 北大東ファンネットワークの維持・拡大・活用

北大東島のファンに対する継続的な情報やサービスの提供等により、北大東ファンネットワークの維持、拡大、活用を図る。

具体的な施策	担当課・実施主体
●持続可能なファンサービスの実施	総務課

おわりに：北大東から始まる地方の構造改革

北大東村は、小さな自治体ではあるが、住民、事業者等が行政と一体となって、直面する課題に果敢に挑むフロンティア精神を持った自治体である。

絶海の離島であるという地域特性から、地域の自律性を高めることが生活・産業の安定性を確保するために不可欠である一方で、他の地域との交流・連携が地域の発展のためにもまた不可欠である。

島の地域特性により、自律性の向上と他地域との交流・連携という2つの方向の施策を明確に位置づけ、実行し、検証することが可能である。この2つの施策の方向は、あらゆる自治体にとって重要な課題であり、フロンティアの島である北大東村は、いわば施策の開拓場として全国の先陣を切って新たな取組に果敢に挑戦するDNAを持っている。北大東村は、本戦略を実行することにより、日本の地方が取組むべき構造改革の可能性を切り拓く。

- 参考資料 -

1. 策定審議委員会（要綱及び委員名簿及び審議の経緯）	1
2. 数字で見る北大東村	3
3. アンケート結果	34
1) 一般アンケート	34
2) 中学生アンケート	54
4. しまづくり住民ワークショップ	59
5. 策定に向けたスケジュール	74

1. 策定審議委員会（要綱及び委員名簿及び審議の経緯）

北大東村まち・ひと・しごと総合戦略策定審議委員会設置要綱

（設置）

第1条 まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に基づく、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定やこれに基づく施策の検証に関し、村民や関係団体からの意見を聴取するため、北大東村まち・ひと・しごと総合戦略策定審議委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- （1）総合戦略の策定に関すること
- （2）総合戦略に基づく各種施策の検証に関すること
- （3）人口ビジョンの検証に関すること
- （4）その他村長が必要と認める事項

（組織）

第3条 委員会は、委員長、副委員長、委員をもって組織し、次に掲げるもののうちから村長が委嘱または任命する。

- （1）学識経験者
- （2）関連機関の推薦する者
- （3）その他村長が適任と認めるもの

2 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、または欠けたときは、その職務を代理する。

（任期）

第4条 委員の任期は、平成28年3月31日とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の者が出席しなければ、開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決すところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

（庶務）

第6条 委員会の庶務は、企画財政課において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、村長が別に定める。

付 則

1 この要綱は、平成27年10月30日から施行する。

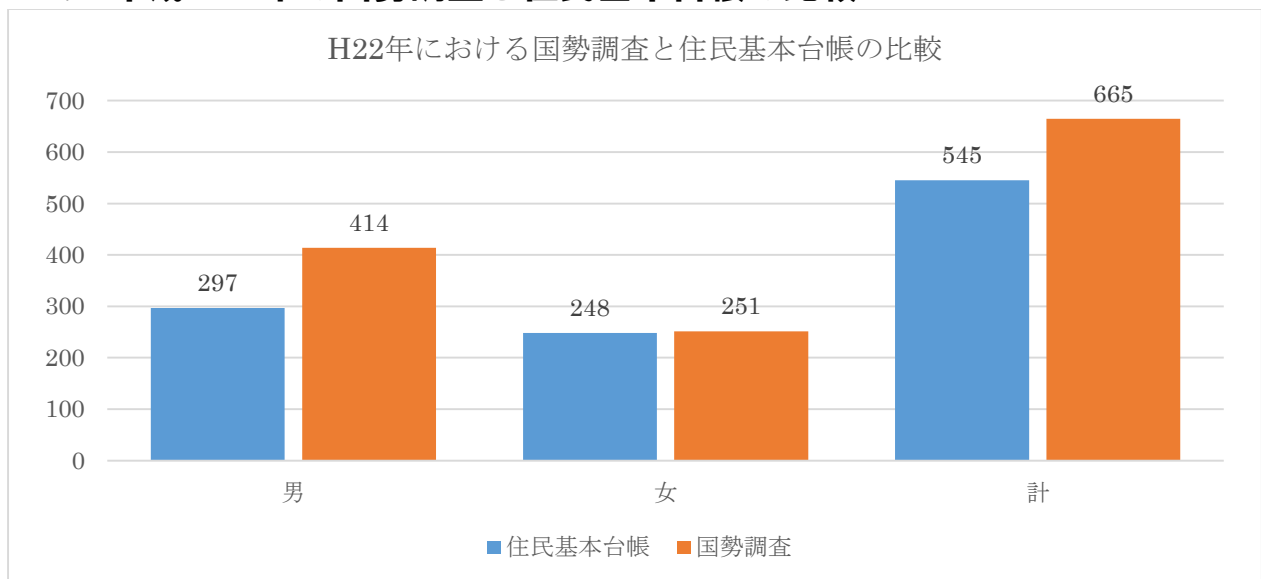
2. 数字で見る北大東村

数字で見る北大東村

(1) 人口	4
1-1 人口推移	4
1-2 年齢階級・男女別人口推移	6
1-3 年齢三区分別人口の推移	10
1-4 児童・生徒数推移	12
1-5 総人口と世帯数の推移	14
1-6 家庭類型別世帯数の推移	15
1-7 月別世帯数の推移	16
(2) 自然動態・社会動態	18
2-1 出生・死亡数の推移	18
2-2 合計特殊出生率	19
2-3 転入・転出者数の推移	20
(3) 産業別就業者数の推移	21
(4) 観光関連	22
4-1 入域観光客	22
4-2 交通（沖縄本島～南北大東）	24
4-3 宿泊施設（はまゆう荘）	26
4-4 H26年度の宿泊施設利用客月別推移（はまゆう荘、二六荘）	28
(5) 産業関連	29
5-1 水産水揚げ量	29
5-2 さとうきび生産量	30
5-3 馬鈴薯・カボチャ生産量	31
(6) 住宅関連	32
6-1 住宅の形態	32
6-2 公営住宅数	33

2. 数字で見る北大東村

1-1. B 平成22年の国勢調査と住民基本台帳の比較



平成22年	男	女	計
住民基本台帳	297	248	545
国勢調査	414	251	665

(参考) 国勢調査と住民基本台帳について

国勢調査

調査時に村に居住している人口 (10月1日調査時点の居住人口)

(一時的な滞在者など、住民登録されていない者を含む)

住民基本台帳

住民登録されている人口

(登録されていれば、その場所に住んでいなくともカウントされる)

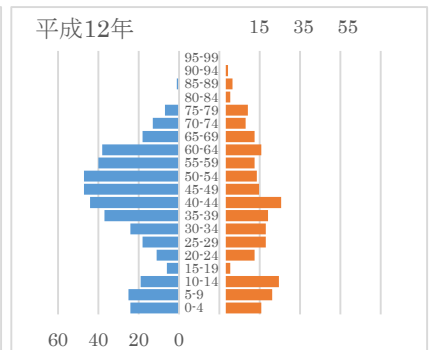
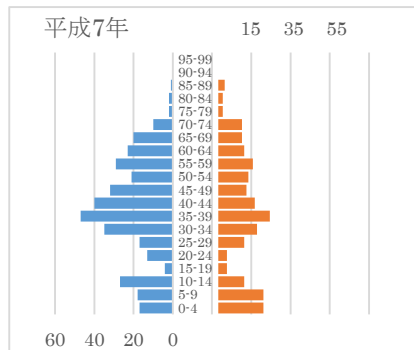
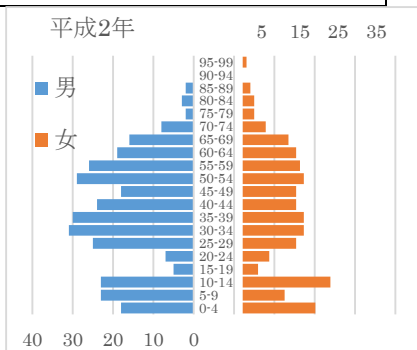
2. 数字で見る北大東村

1-2 年齢階級・男女別人口推移

考察

- ・国勢調査、住民基本台帳ともに、男性に比べて、女性の割合が非常に低く、15歳～19歳、20代と30～34歳の人口数が特に少ない
- ・各年での最多数の階級の移り変わりから、高齢化が進んでいることがわかる

①国勢調査（H2～H22）



国勢調査 平成2年

年齢	男	女	計
0-4	18	19	37
5-9	23	11	34
10-14	23	23	46
15-19	5	4	9
20-24	7	7	14
25-29	25	14	39
30-34	31	16	47
35-39	30	16	46
40-44	24	14	38
45-49	18	14	32
50-54	29	16	45
55-59	26	15	41
60-64	19	14	33
65-69	16	12	28
70-74	8	6	14
75-79	2	3	5
80-84	3	3	6
85-89	2	2	4
90-94	0	0	0
95-99	0	1	1
不詳	0	0	0
合計	309	210	519

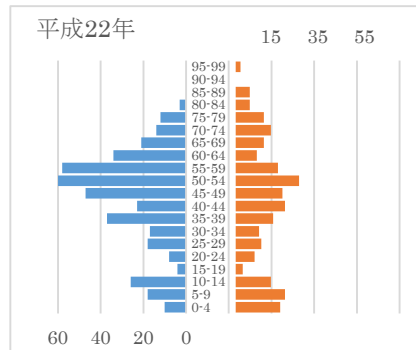
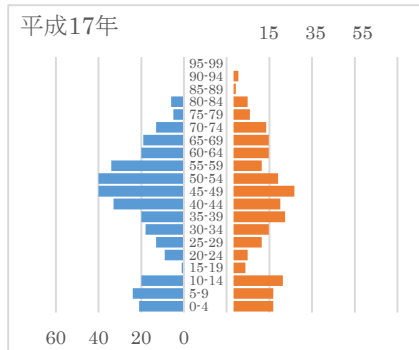
国勢調査 平成7年

年齢	男	女	計
0-4	17	21	38
5-9	18	21	39
10-14	27	12	39
15-19	4	4	8
20-24	13	4	17
25-29	17	12	29
30-34	35	18	53
35-39	47	24	71
40-44	40	17	57
45-49	32	13	45
50-54	21	14	35
55-59	29	16	45
60-64	23	12	35
65-69	20	11	31
70-74	10	11	21
75-79	2	2	4
80-84	2	2	4
85-89	1	3	4
90-94	0	0	0
95-99	0	0	0
不詳	0	0	0
合計	358	217	575

国勢調査 平成12年

年齢	男	女	計
0-4	24	16	40
5-9	25	21	46
10-14	19	24	43
15-19	6	2	8
20-24	11	13	24
25-29	18	18	36
30-34	24	18	42
35-39	37	19	56
40-44	44	25	69
45-49	47	15	62
50-54	47	14	61
55-59	40	13	53
60-64	38	16	54
65-69	18	13	31
70-74	13	9	22
75-79	7	10	17
80-84	0	2	2
85-89	1	3	4
90-94	0	1	1
95-99	0	0	0
不詳	0	0	0
合計	419	252	671

2. 数字で見る北大東村



国勢調査 平成17年

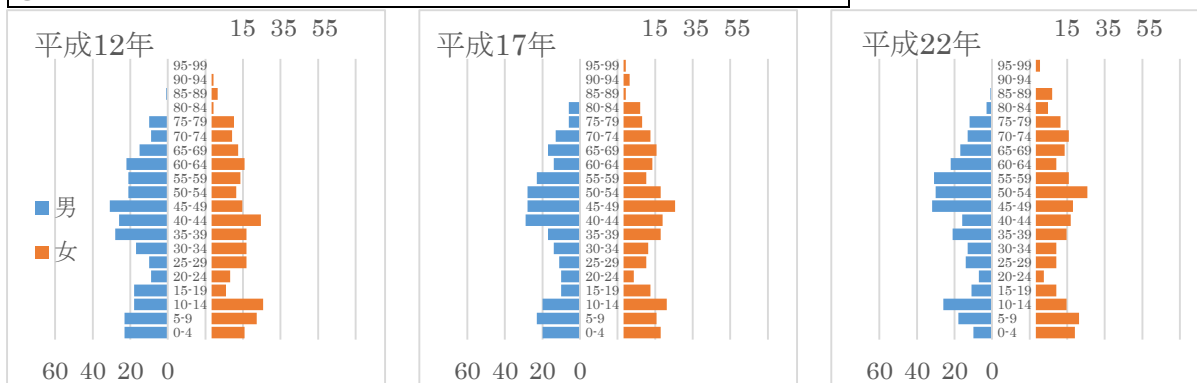
年齢	男	女	計
0-4	21	17	38
5-9	24	17	41
10-14	20	21	41
15-19	1	5	6
20-24	9	6	15
25-29	13	12	25
30-34	18	15	33
35-39	20	22	42
40-44	33	20	53
45-49	40	26	66
50-54	40	19	59
55-59	34	12	46
60-64	20	15	35
65-69	19	15	34
70-74	13	14	27
75-79	5	7	12
80-84	6	6	12
85-89	0	1	1
90-94	0	2	2
95-99	0	0	0
不詳	0	0	0
合計	336	252	588

国勢調査 平成22年

年齢	男	女	計
0-4	10	19	29
5-9	18	21	39
10-14	26	15	41
15-19	4	3	7
20-24	8	8	16
25-29	18	11	29
30-34	17	10	27
35-39	37	16	53
40-44	23	21	44
45-49	47	20	67
50-54	60	27	87
55-59	58	18	76
60-64	34	9	43
65-69	21	12	33
70-74	14	15	29
75-79	12	12	24
80-84	3	6	9
85-89	0	6	6
90-94	0	0	0
95-99	0	2	2
不詳	4	0	4
合計	414	251	665

2. 数字で見る北大東村

②住民基本台帳（H12～H27）（各年9月末データ）



住民基本台帳 平成12年

年齢	男	女	計
0-4	23	16	39
5-9	23	22	45
10-14	18	25	43
15-19	18	7	25
20-24	9	9	18
25-29	10	17	27
30-34	17	17	34
35-39	28	17	45
40-44	26	24	50
45-49	31	15	46
50-54	21	12	33
55-59	21	14	35
60-64	22	16	38
65-69	15	13	28
70-74	9	10	19
75-79	10	11	21
80-84	0	1	1
85-89	1	3	4
90-94	0	1	1
95-99	0	0	0
合計	302	250	552

住民基本台帳 平成17年

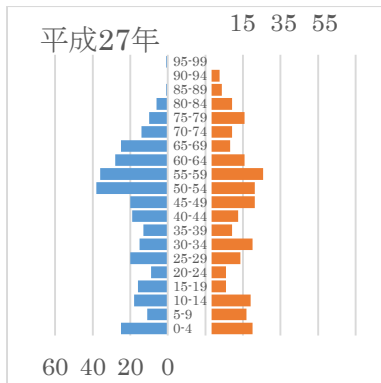
年齢	男	女	計
0-4	20	18	38
5-9	23	16	39
10-14	20	21	41
15-19	10	13	23
20-24	10	5	15
25-29	11	11	22
30-34	14	12	26
35-39	17	18	35
40-44	29	19	48
45-49	28	25	53
50-54	28	18	46
55-59	23	11	34
60-64	14	14	28
65-69	17	16	33
70-74	13	13	26
75-79	6	9	15
80-84	6	8	14
85-89	0	1	1
90-94	0	3	3
95-99	0	1	1
合計	289	252	541

住民基本台帳 平成22年

年齢	男	女	計
0-4	10	19	29
5-9	18	21	39
10-14	26	15	41
15-19	11	10	21
20-24	7	4	11
25-29	14	10	24
30-34	13	10	23
35-39	21	15	36
40-44	16	17	33
45-49	32	18	50
50-54	30	25	55
55-59	31	16	47
60-64	22	10	32
65-69	17	14	31
70-74	13	16	29
75-79	12	12	24
80-84	3	6	9
85-89	1	8	9
90-94	0	0	0
95-99	0	2	2
合計	297	248	545

2. 数字で見る北大東村

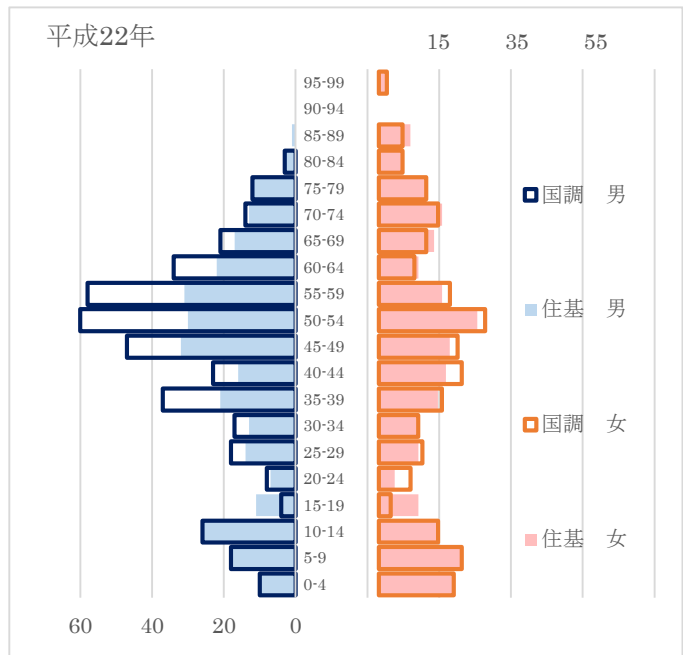
③国勢調査と住民基本台帳の比較（H22）



住民基本台帳 平成27年

年齢 男 女 計

年齢	男	女	計
0-4	25	20	45
5-9	11	17	28
10-14	18	19	37
15-19	16	7	23
20-24	9	7	16
25-29	20	14	34
30-34	15	20	35
35-39	13	10	23
40-44	19	13	32
45-49	20	21	41
50-54	38	21	59
55-59	36	25	61
60-64	28	16	44
65-69	25	9	34
70-74	14	10	24
75-79	10	16	26
80-84	6	10	16
85-89	1	5	6
90-94	0	4	4
95-99	1	0	1
合計	325	264	589



年齢	平成22年 国勢調査			住民基本台帳		
	男	女	計	男	女	計
0-4	10	19	29	10	19	29
5-9	18	21	39	18	21	39
10-14	26	15	41	26	15	41
15-19	4	3	7	11	10	21
20-24	8	8	16	7	4	11
25-29	18	11	29	14	10	24
30-34	17	10	27	13	10	23
35-39	37	16	53	21	15	36
40-44	23	21	44	16	17	33
45-49	47	20	67	32	18	50
50-54	60	27	87	30	25	55
55-59	58	18	76	31	16	47
60-64	34	9	43	22	10	32
65-69	21	12	33	17	14	31
70-74	14	15	29	13	16	29
75-79	12	12	24	12	12	24
80-84	3	6	9	3	6	9
85-89	0	6	6	1	8	9
90+	0	2	2	0	2	2
不詳	4	0	4	-	-	-
合計	414	251	665	297	248	545

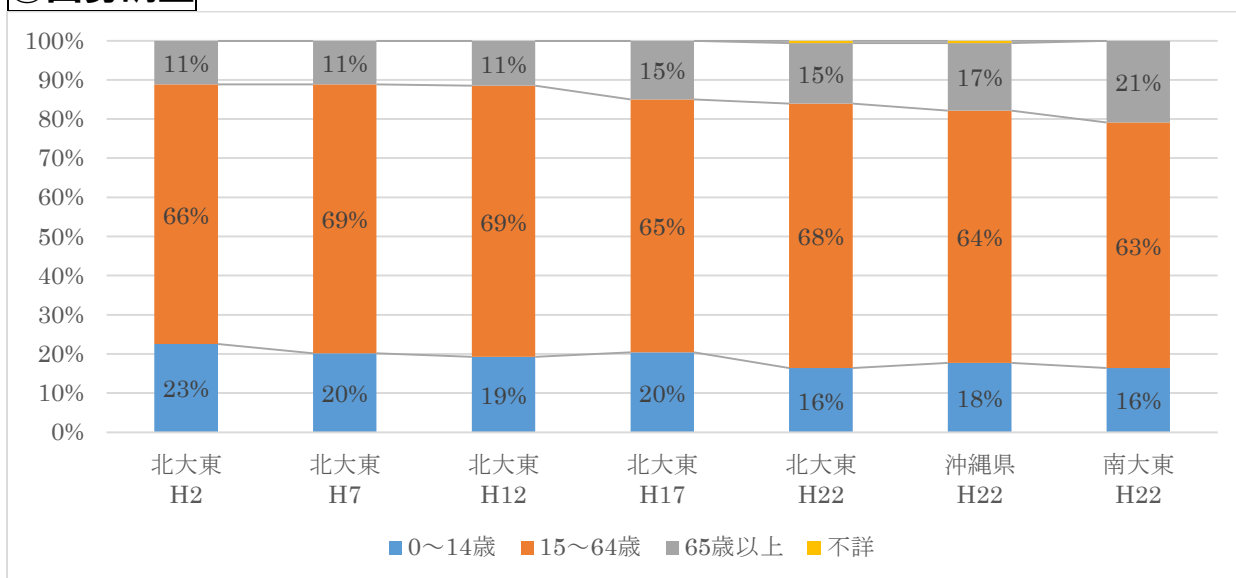
2. 数字で見る北大東村

1-3 年齢三区分別人口の推移

考察

- ・国勢調査、住民基本台帳ともに、ゆるやかに高齢化・少子化が進みつつある
- ・住民基本台帳によると、高齢人口は平成15年から15%を超え、その後平成26年に至るまで20%に近い水準で推移している
- ・生産年齢人口（15～64歳）の割合は安定して一定の割合で推移している。（国勢調査では60%後半、住民基本台帳では60%代前半）
- ・平成22年の国勢調査をみると、北大東村の高齢人口は、県の値とほぼ同程度、南大東村よりは低い。

①国勢調査



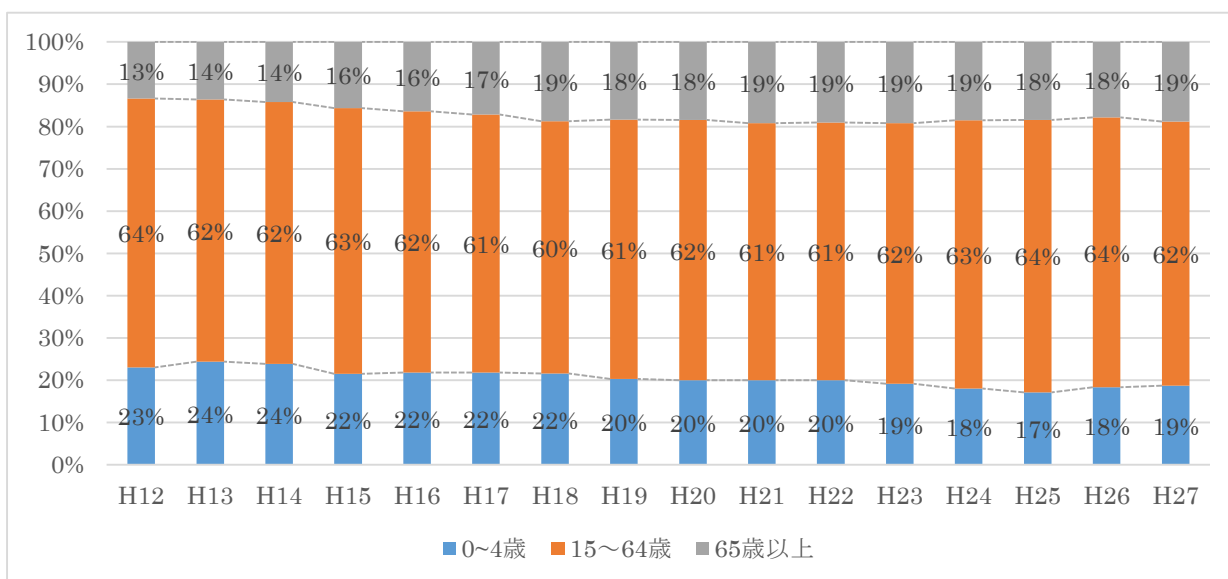
年齢3区分	H2		H7		H12		H17		H22	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0～14歳	117	23%	116	20%	129	19%	120	20%	109	16%
15～64歳	344	66%	395	69%	465	69%	380	65%	449	68%
65歳以上	58	11%	64	11%	77	11%	88	15%	103	15%
不詳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	1%
総人口	519	100%	575	100%	671	100%	588	100%	665	100%

沖縄県(H22)		南大東(H22)	
人	%	人	%
246,313	18%	237	16%
897,960	64%	904	63%
240,507	17%	301	21%
8,038	1%	0	0%
1,392,818	100%	1,442	100%

資料：国勢調査

2. 数字で見る北大東村

②住民基本台帳（H12～H27）（各年9月末データ）



住民基本台帳 年齢3区分別人口

	H12		H13		H14		H15		H16		H17		H18		H19	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0～14歳	127	23%	138	24%	136	24%	121	22%	117	22%	118	22%	114	22%	109	20%
15～64歳	351	64%	351	62%	354	62%	353	63%	332	62%	330	61%	316	60%	330	61%
65歳以上	74	13%	77	14%	81	14%	88	16%	88	16%	93	17%	99	19%	99	18%
総数	552	100%	566	100%	571	100%	562	100%	537	100%	541	100%	529	100%	538	100%

	H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0～14歳	105	20%	105	20%	109	20%	104	19%	98	18%	95	17%	106	18%	110	19%
15～64歳	324	62%	319	61%	332	61%	334	62%	346	63%	357	64%	369	64%	368	62%
65歳以上	97	18%	101	19%	104	19%	104	19%	101	19%	102	18%	103	18%	111	19%
総数	526	100%	525	100%	545	100%	542	100%	545	100%	554	100%	578	100%	589	100%

資料：北大東村住民基本台帳

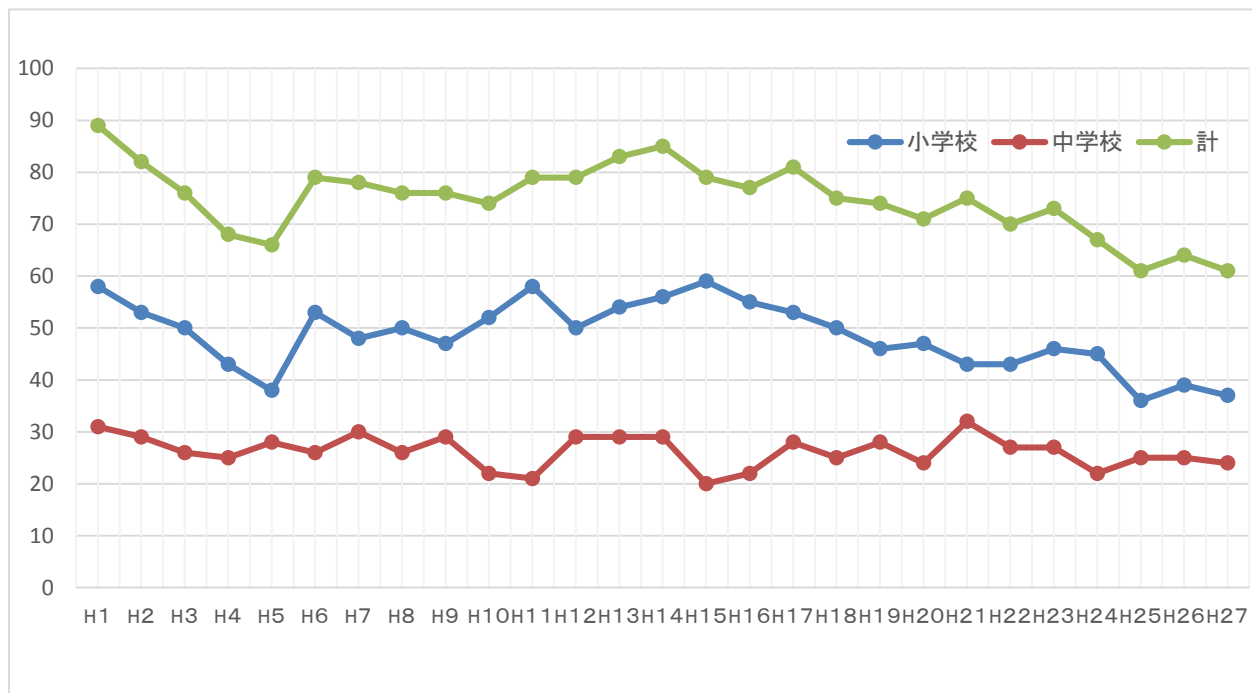
2. 数字で見る北大東村

1-4 児童・生徒数推移

考察

- ・小中学校の児童生徒数のピークは平成1年の計89人
- ・小中学校の児童生徒数は、平成27年までに3分の2程度まで減少している
- ・幼稚園については、平成12年度に3か年保育が実施され、園児数は30人まで増加したが、平成27年までに3分の2程度まで減少している

1-4.A 北大東小・中学校 児童・生徒数推移（年度）



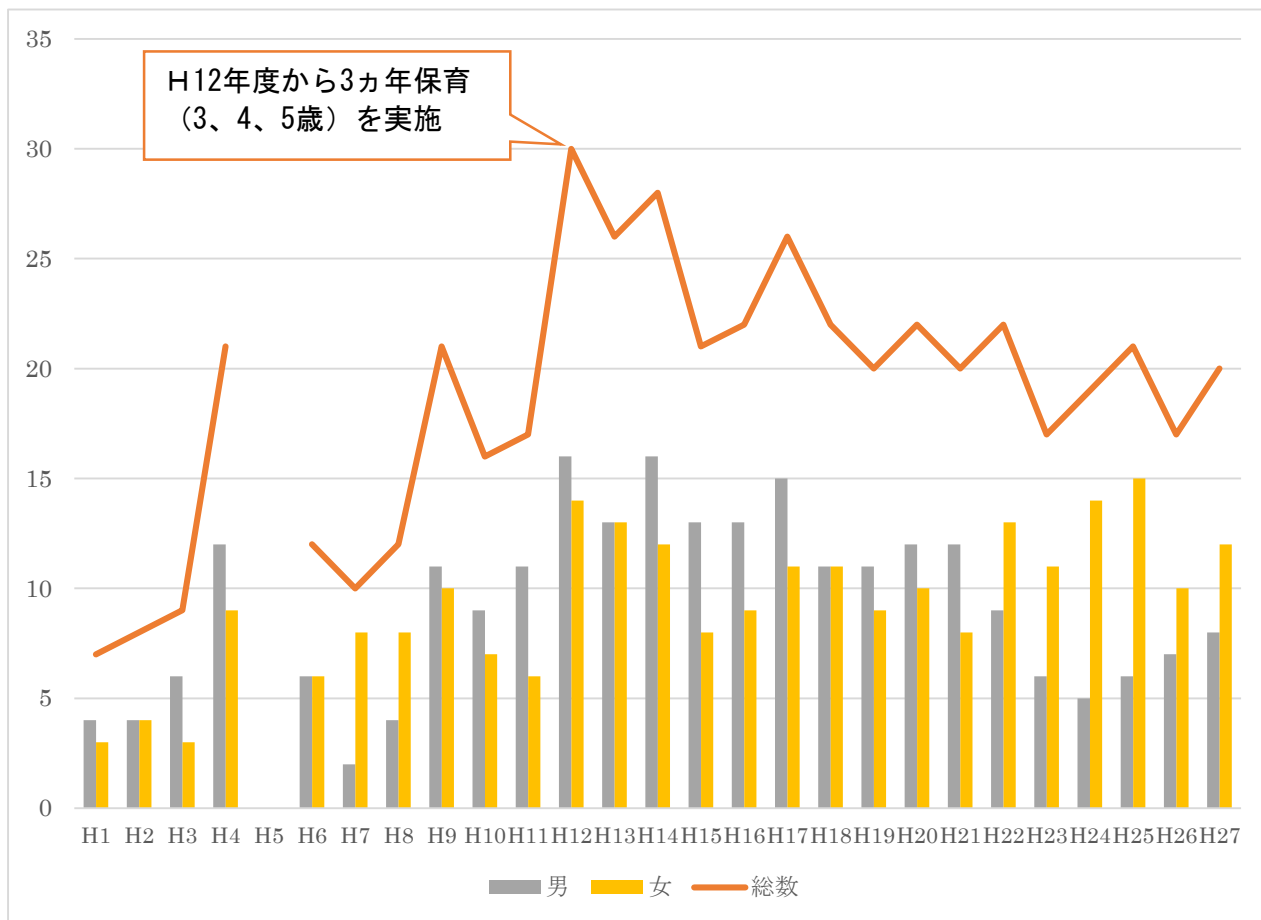
年度	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
小学校	58	53	50	43	38	53	48	50	47	52	58	50	54	56
中学校	31	29	26	25	28	26	30	26	29	22	21	29	29	29
計	89	82	76	68	66	79	78	76	76	74	79	79	83	85

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
59	55	53	50	46	47	43	43	46	45	36	39	37
20	22	28	25	28	24	32	27	27	22	25	25	24
79	77	81	75	74	71	75	70	73	67	61	64	61

資料：北大東村教育委員会

2. 数字で見る北大東村

1-4. B 北大東村在籍幼稚園児数の推移（年度）



※H5年のデータは欠損

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
総数	7	8	9	21		12	10	12	21	16	17	30	26	28
男	4	4	6	12		6	2	4	11	9	11	16	13	16
女	3	4	3	9		6	8	8	10	7	6	14	13	12

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
21	22	26	22	20	22	20	22	17	19	21	17	20
13	13	15	11	11	12	12	9	6	5	6	7	8
8	9	11	11	9	10	8	13	11	14	15	10	12

資料：北大東村教育委員会

2. 数字で見る北大東村

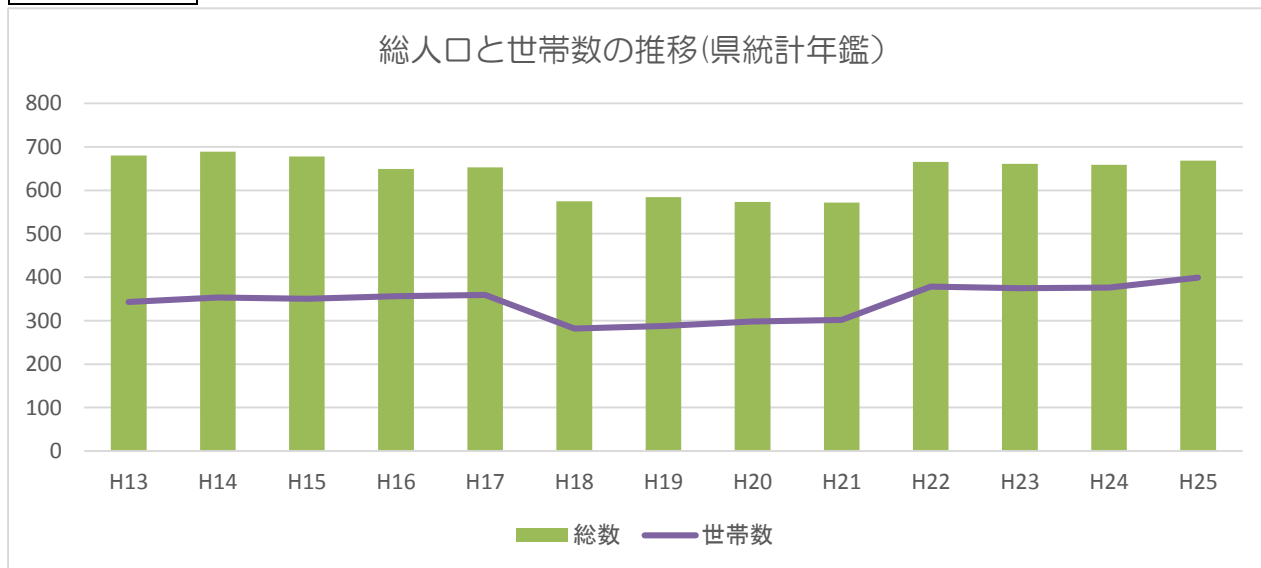
1-5 総人口と世帯数の推移

考察

- ・ 全体的にほぼ横ばいか、わずかに増加している
- ・ 平成18年~21年の数字が低い
- ・ この要因は、県統計年鑑が平成17年の国勢調査の結果をもとに推計しているためだと考えられる
- ・ 平成13年と比較すると、人口数は12人減とわずかに減少している
- ・ 平成13年から25年の間に、世帯数は56世帯増加している

※県統計年鑑の数値は、国勢調査を基に算定した結果、10月1日時点の数。

県統計年鑑



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人口数	680	689	678	649	653	575	584	573	572	665	661	659	668
世帯数	343	353	350	356	359	282	288	298	302	378	375	376	399

資料: 沖縄県統計年鑑

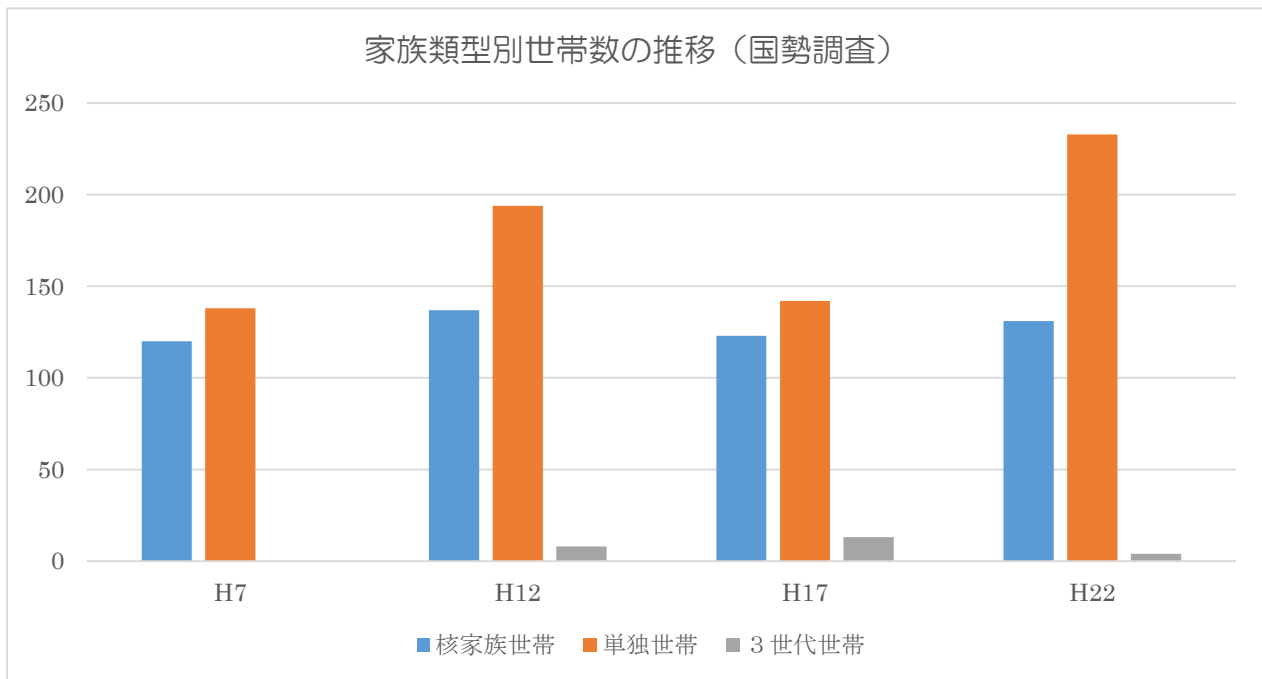
2. 数字で見る北大東村

1-6 家庭類型別世帯数の推移

考察

- ・ 単独世帯が突出して多い
- ・ この要因は、季節労働者が多いためであると考えられる
- ・ 核家族世帯の数はほぼ横ばい
- ・ 単独世代については、平成7年に比べ平成22年では95世帯増加している

国勢調査（H7～H22）



	H7	H12	H17	H22
核家族世帯	120	137	123	131
単独世帯	138	194	142	233
3世代世帯		8	13	4

資料：国勢調査

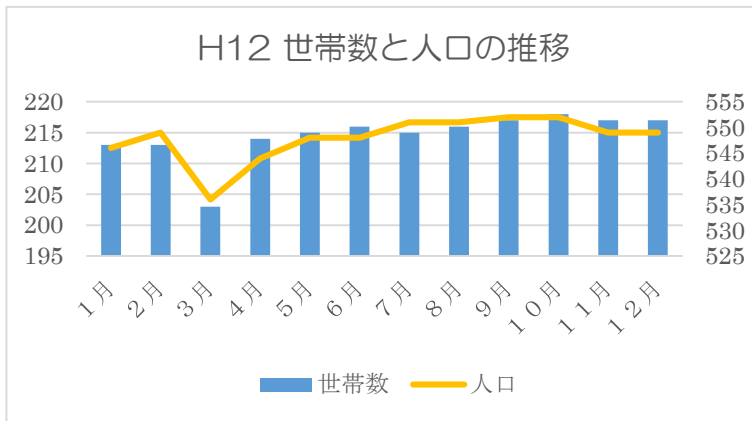
2. 数字で見る北大東村

1-7 月別世帯数の推移

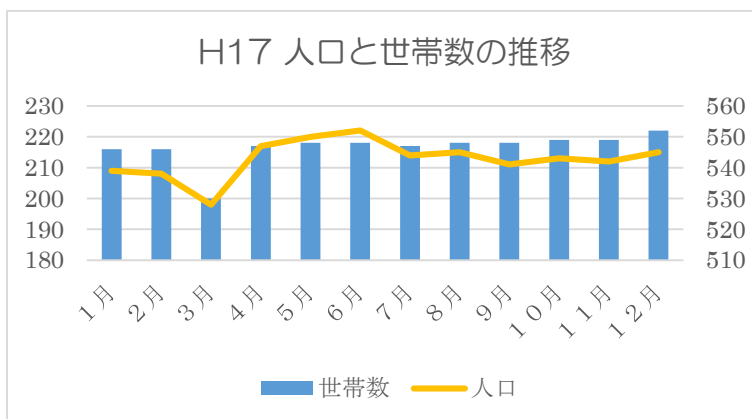
考察

- ・各年ともに、3月に著しい人口の流出がおきている
- ・これは、進学のために島から離れる学生や、離任のため島を離れる教師とその家族であると考えられる
- ・今後も、年初の人口増加および3月の人口減少に影響があると考えられる。

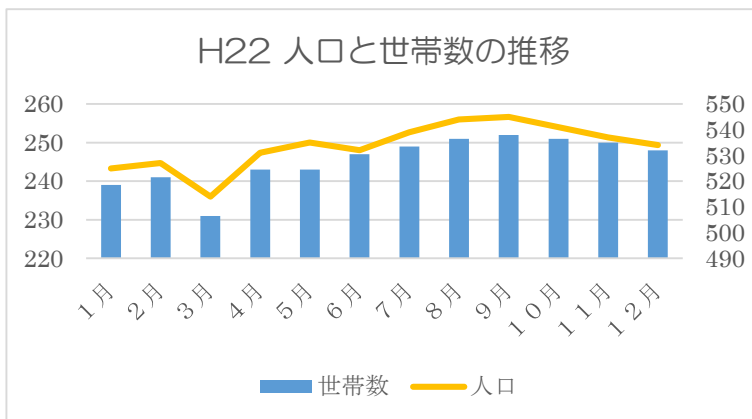
住民基本台帳



		世帯数	人口
H12	1月	213	546
	2月	213	549
	3月	203	536
	4月	214	544
	5月	215	548
	6月	216	548
	7月	215	551
	8月	216	551
	9月	217	552
	10月	218	552
	11月	217	549
	12月	217	549

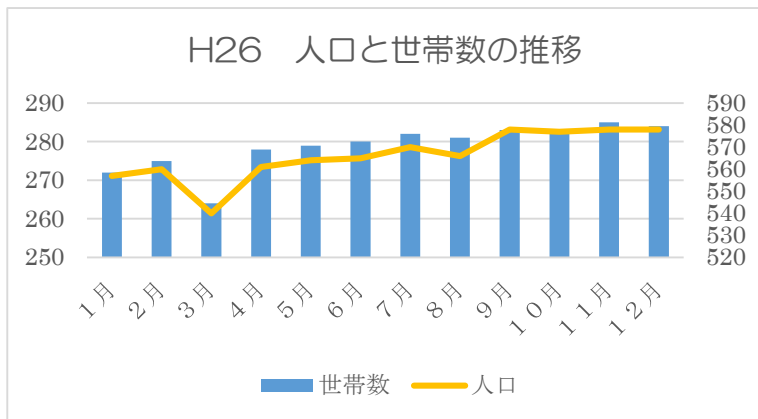


		世帯数	人口
H17	1月	216	539
	2月	216	538
	3月	200	528
	4月	217	547
	5月	218	550
	6月	218	552
	7月	217	544
	8月	218	545
	9月	218	541
	10月	219	543
	11月	219	542
	12月	222	545



		世帯数	人口
H22	1月	239	525
	2月	241	527
	3月	231	514
	4月	243	531
	5月	243	535
	6月	247	532
	7月	249	539
	8月	251	544
	9月	252	545
	10月	251	541
	11月	250	537
	12月	248	534

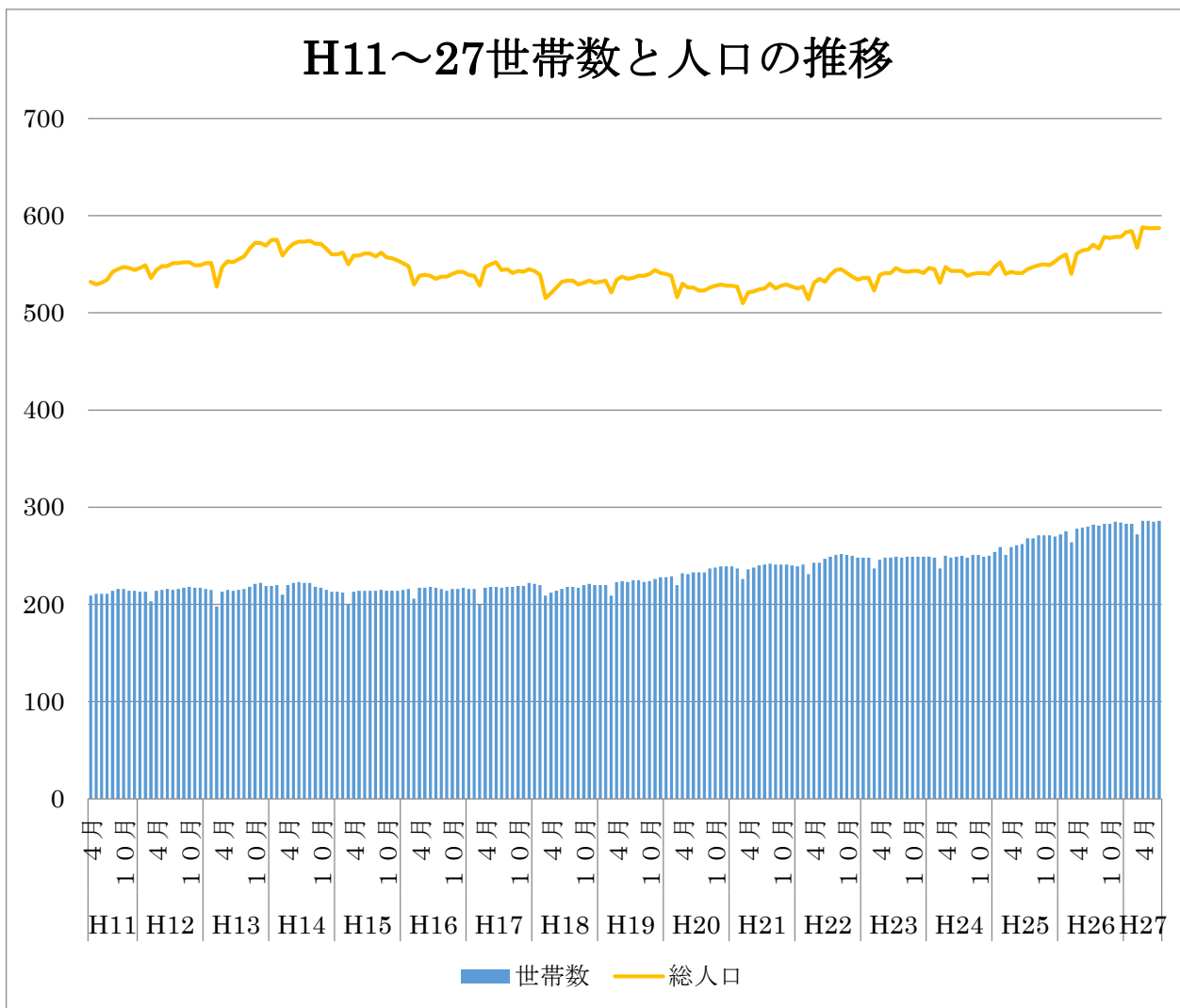
2. 数字で見る北大東村



		世帯数	人口
H26	1月	272	557
	2月	275	560
	3月	264	540
	4月	278	561
	5月	279	564
	6月	280	565
	7月	282	570
	8月	281	566
	9月	283	578
	10月	283	577
	11月	285	578
	12月	284	578

考察

- ・平成11年から平成27年を通して見ても、3月に人口が減少し、4月に増え、元の水準に持ち直すという傾向は変わっていない。
- ・総人口・世帯数ともにゆるやかに増加している。



2. 数字で見る北大東村

(2) 自然動態・社会動態

2-1 出生・死亡数の推移

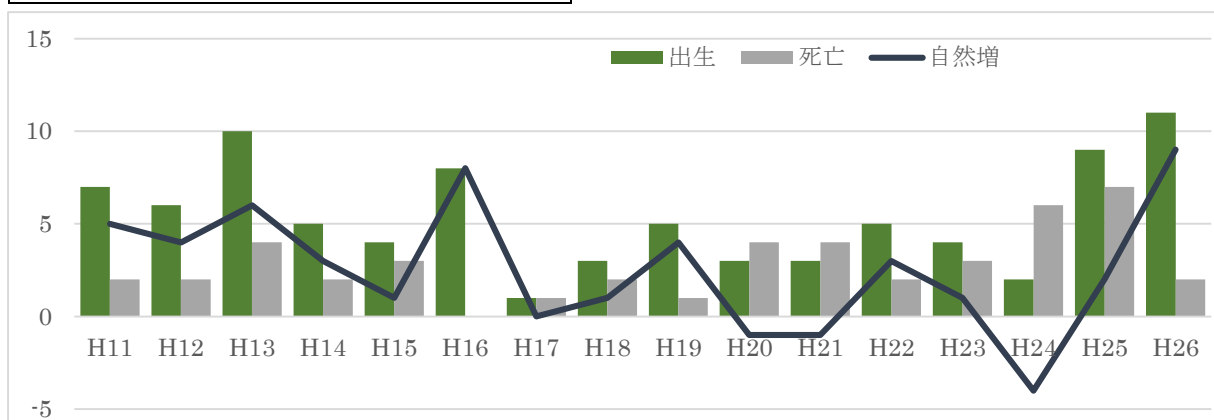
考察

・平成22～24年度にかけて自然動態は減少となっているが、H25年以降は急増している。

・近年では、平成25～26年の出生数が突出していることが社会増の一因と考えられる。

注) 全体的に数値が小さいため、わずかな変化でも増減の程度が大きく見える。

住民基本台帳（10月末～9月末）



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
自然増	5	4	6	3	1	8	0	1	4	-1	-1	3	1	-4	2	9
出生	7	6	10	5	4	8	1	3	5	3	3	5	4	2	9	11
死亡	2	2	4	2	3	0	1	2	1	4	4	2	3	6	7	2

資料: 北大東村住民基本台帳

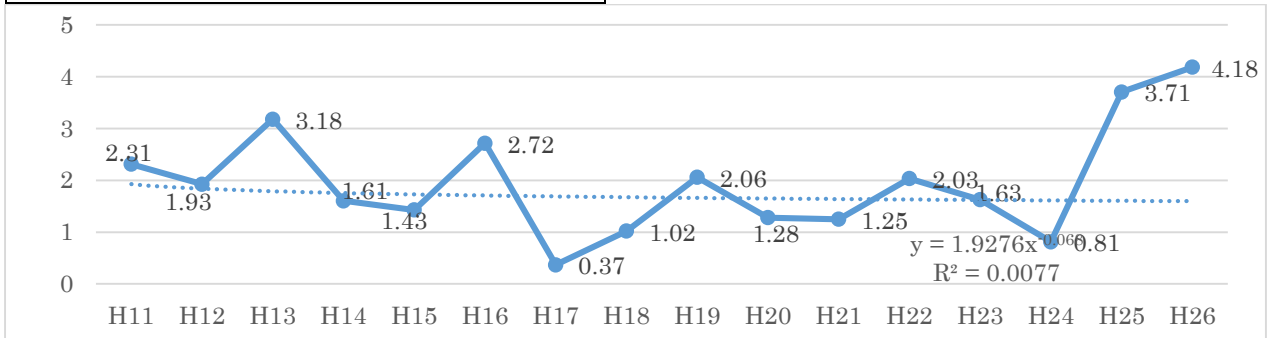
2. 数字で見る北大東村

2-2 合計特殊出生率

考察

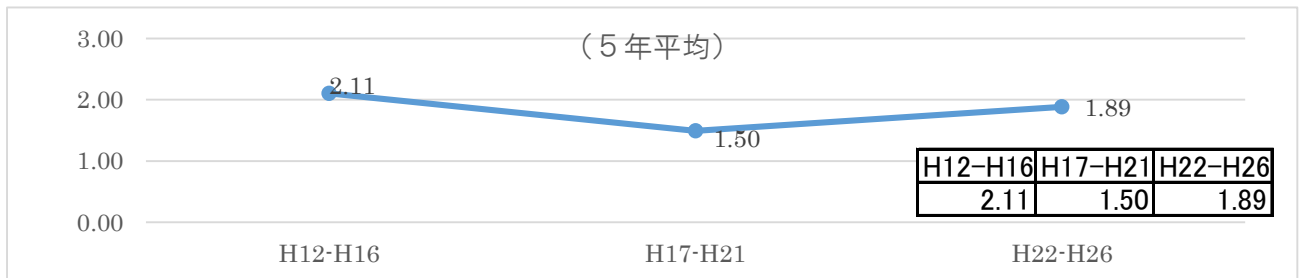
- ・平成26年は、過去15年間で最も高い出生率となっている。
- ・住民基本台帳における5年平均の推移をみると、出生率はほぼ横ばいか、ごく僅かに減少
- ・直近の県統計年鑑（平成20年～24年）における北大東村の合計特殊出生率は1.83であり、沖縄県と同等程度である。

①住民基本台帳（10月末～9月末）



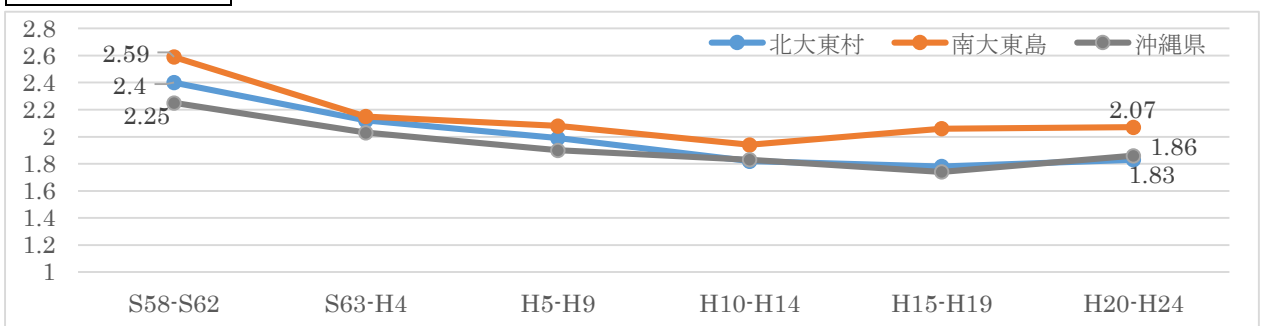
H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
2.31	1.93	3.18	1.61	1.43	2.72	0.37	1.02	2.06	1.28	1.25	2.03	1.63	0.81	3.71	4.18

資料：北大東村住民基本台帳



※（参考）住民基本台帳を元にした独自推計。合計特殊出生率算定式は以下のとおり
 期間合計特殊出生率＝出生数/15-49歳女性人口×35（厚生労働省参考）

②県統計年鑑



合計特殊出生率	S58-S62	S63-H4	H5-H9	H10-H14	H15-H19	H20-H24
北大東村	2.4	2.12	1.99	1.82	1.78	1.83
南大東島	2.59	2.15	2.08	1.94	2.06	2.07
沖縄県	2.25	2.03	1.9	1.83	1.74	1.86

資料：人口動態保健所・市町村別統計

2. 数字で見る北大東村

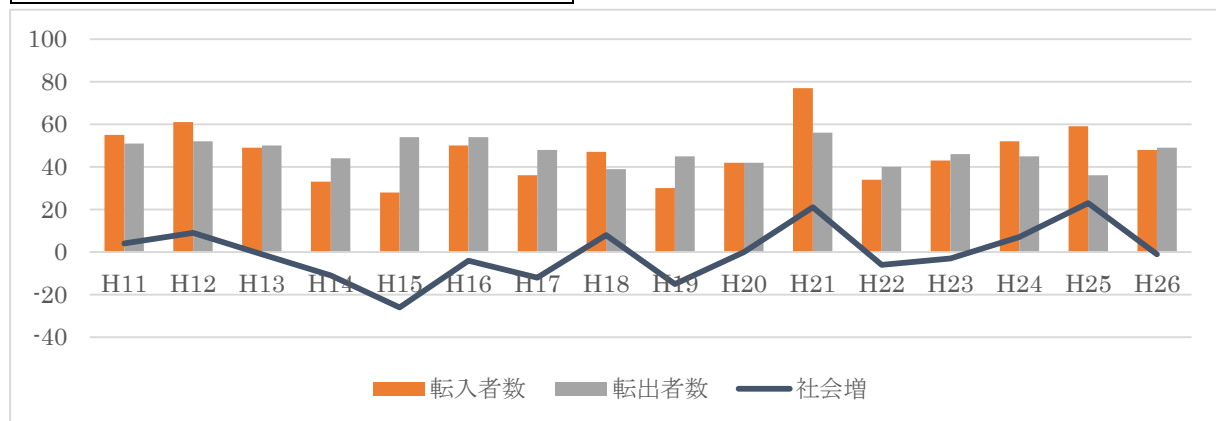
2-3 転入・転出者数の推移

考察

・近年では、平成24～25年にかけて社会増となっていたが、平成26年はわずかに社会減となっている。

注) 全体的に数値が小さいため、わずかな変化でも増減の程度が大きく見える。

住民基本台帳（10月末～9月末）



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
社会増	4	9	-1	-11	-26	-4	-12	8	-15	0	21	-6	-3	7	23	-1
転入者数	55	61	49	33	28	50	36	47	30	42	77	34	43	52	59	48
転出者数	51	52	50	44	54	54	48	39	45	42	56	40	46	45	36	49

資料: 北大東村住民基本台帳

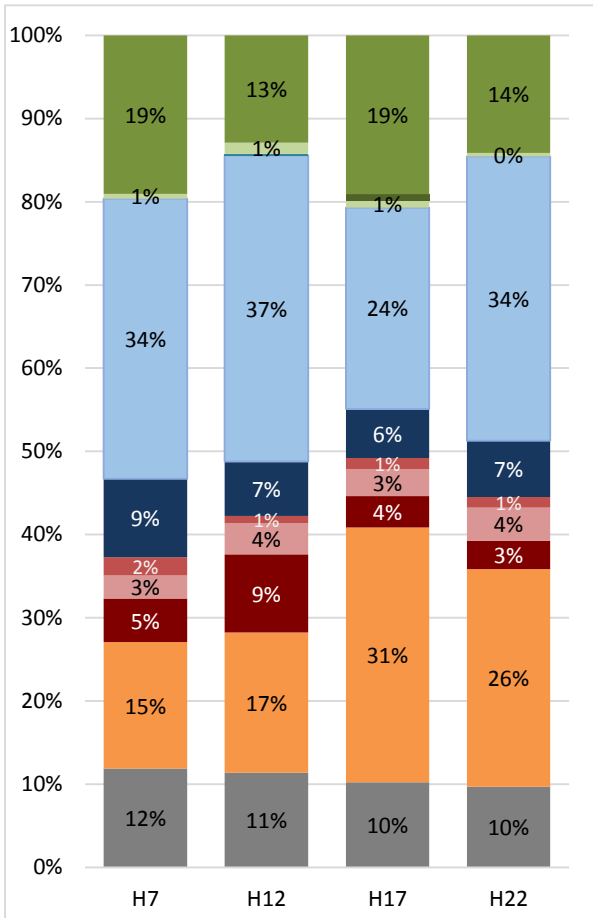
2. 数字で見る北大東村

(3) 産業別就業者数の推移

考察

- ・建設業の割合が30%を超えており、現在における主な産業だといえる
- ・近年サービス業の割合も増加している
- ・はまゆう荘が平成9年に開業しており、サービス業が伸びている一因だと考えられる
- ・農業の割合も一定しており、平成12年に10人減少してはいるものの、その後持ち直しており、特に急激な変化はみられない

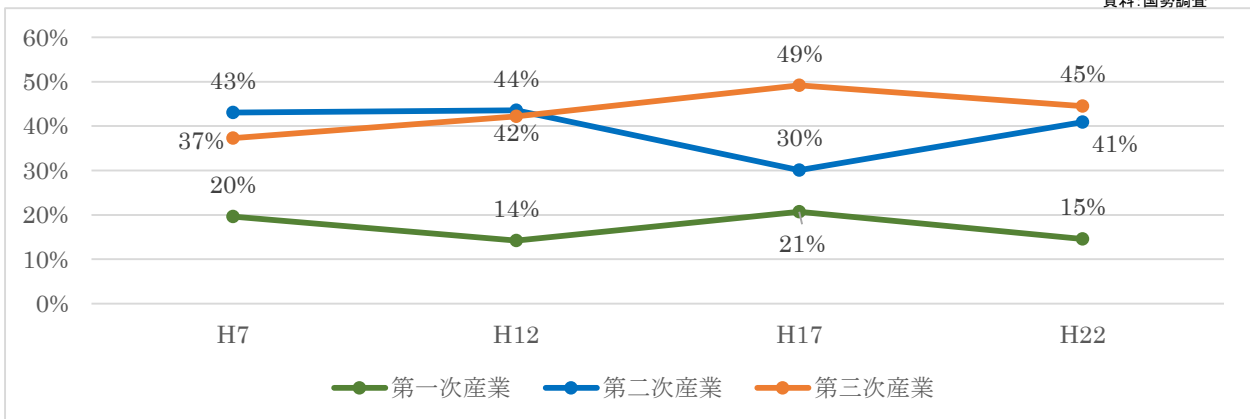
国勢調査



産業別就業者数の推移(国勢調査)

	H7		H12		H17		H22	
	人	%	人	%	人	%	人	%
農業	69	19.1%	59	12.9%	71	19.1%	67	14.1%
林業	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%	0	0.0%
漁業	2	0.6%	6	1.3%	3	0.8%	2	0.4%
第一次産業	71	19.6%	65	14.2%	77	20.7%	69	14.6%
鉱業	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
建設業	122	33.7%	168	36.8%	90	24.2%	162	34.2%
製造業	34	9.4%	30	6.6%	22	5.9%	32	6.8%
第二次産業	156	43.1%	199	43.5%	112	30.1%	194	40.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	8	2.2%	4	0.9%	5	1.3%	6	1.3%
運輸・通信業	10	2.8%	17	3.7%	12	3.2%	19	4.0%
卸売・小売業・飲食店	19	5.2%	43	9.4%	14	3.8%	16	3.4%
金融・保険業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不動産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス業	55	15.2%	77	16.8%	114	30.6%	124	26.2%
公務(他に分類されないもの)	43	11.9%	52	11.4%	38	10.2%	46	9.7%
第三次産業	135	37.3%	193	42.2%	183	49.2%	211	44.5%
合計	362	100.0%	457	100.0%	372	100.0%	474	100.0%

資料: 国勢調査



2. 数字で見る北大東村

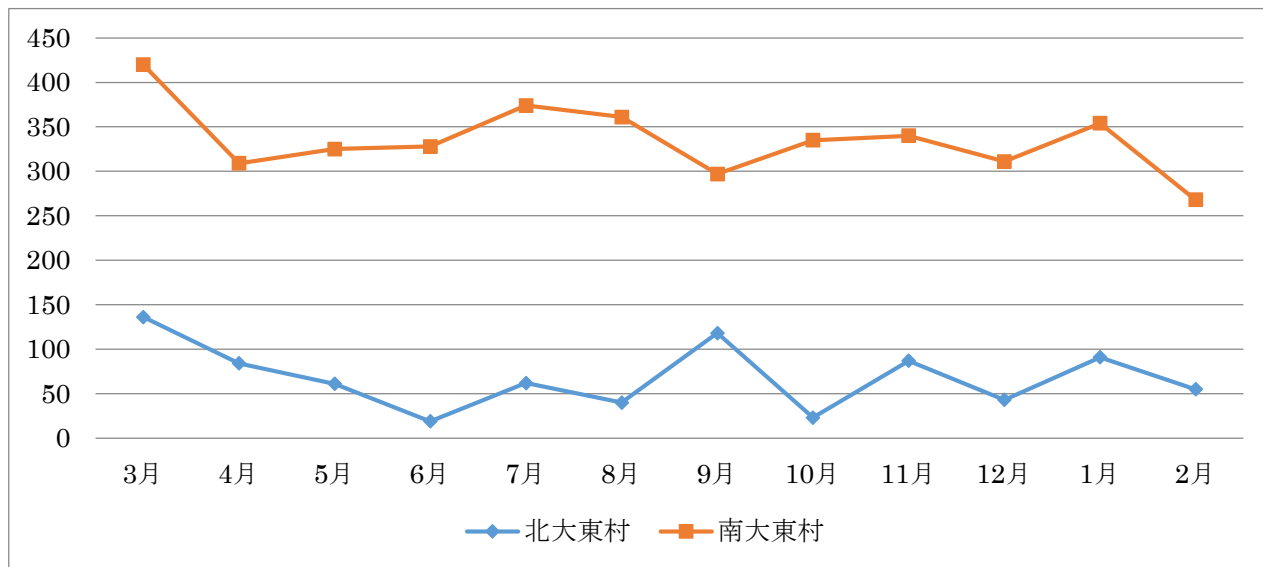
(4) 観光関連

4-1 入域観光客数

考察

- ・平成23年度の入域観光客数は、3月が一番多く、ついで9月が多い
- ・平成18年度から平成23年度の推移から、平成20年度をピークに入域観光客数が減少している

4-1. A H23年度 北大東村入域観光客数



■(H23年度)入域観光客数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
北大東村	136	84	61	19	62	40	118	23	87	43	91	55	819
南大東村	420	309	325	328	374	361	297	335	340	311	354	268	4,022

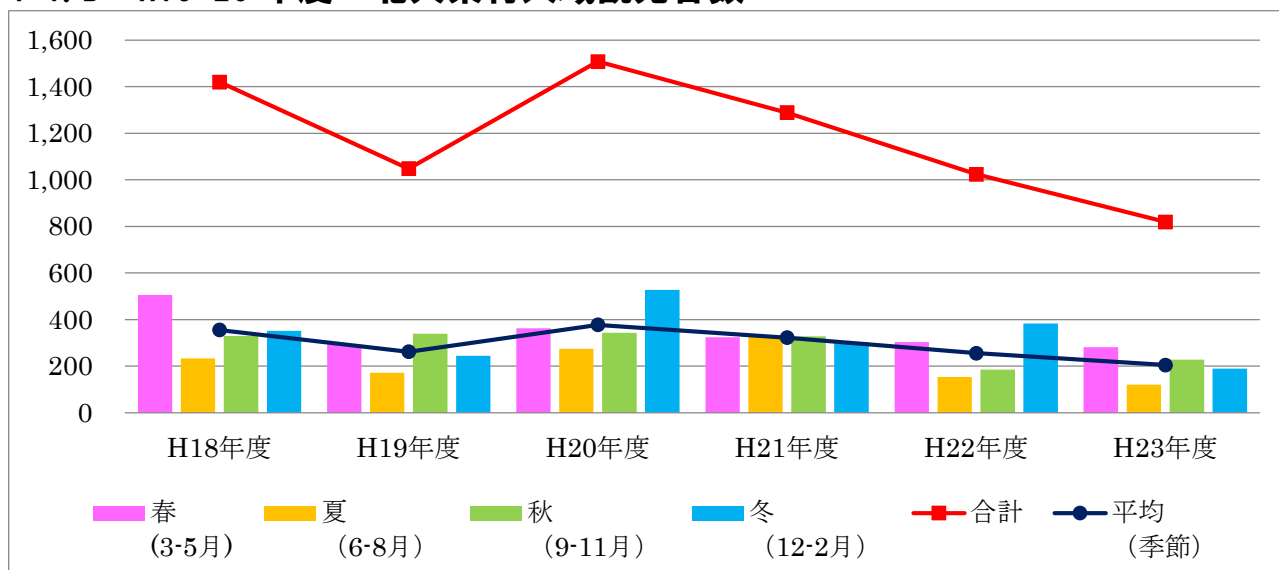
資料: H25沖縄県観光要覧

※入域観光客数

宿泊施設(はまゆう荘、ニ六荘)の滞在客のうち、観光目的であると申請した人数。

2. 数字で見る北大東村

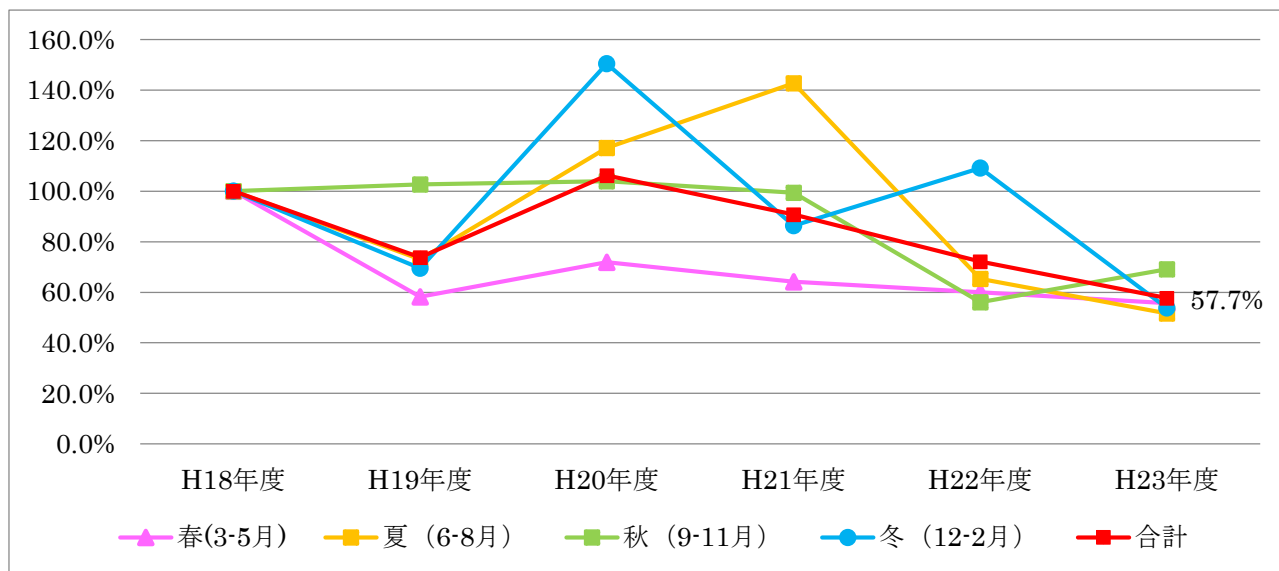
4-1. B H18-23年度 北大東村入域観光客数



	春 (3-5月)	夏 (6-8月)	秋 (9-11月)	冬 (12-2月)	合計	平均 (季節)
H18年度	505	234	330	351	1,420	355
H19年度	294	171	339	244	1,048	262
H20年度	363	274	343	528	1,508	377
H21年度	324	334	328	303	1,289	322
H22年度	303	153	185	383	1,024	256
H23年度	281	121	228	189	819	205

資料：沖縄県観光要覧
企画部地域・離島課調べ(市町村広告による)

(伸び率) ※H18年度を100%としたときの伸び率

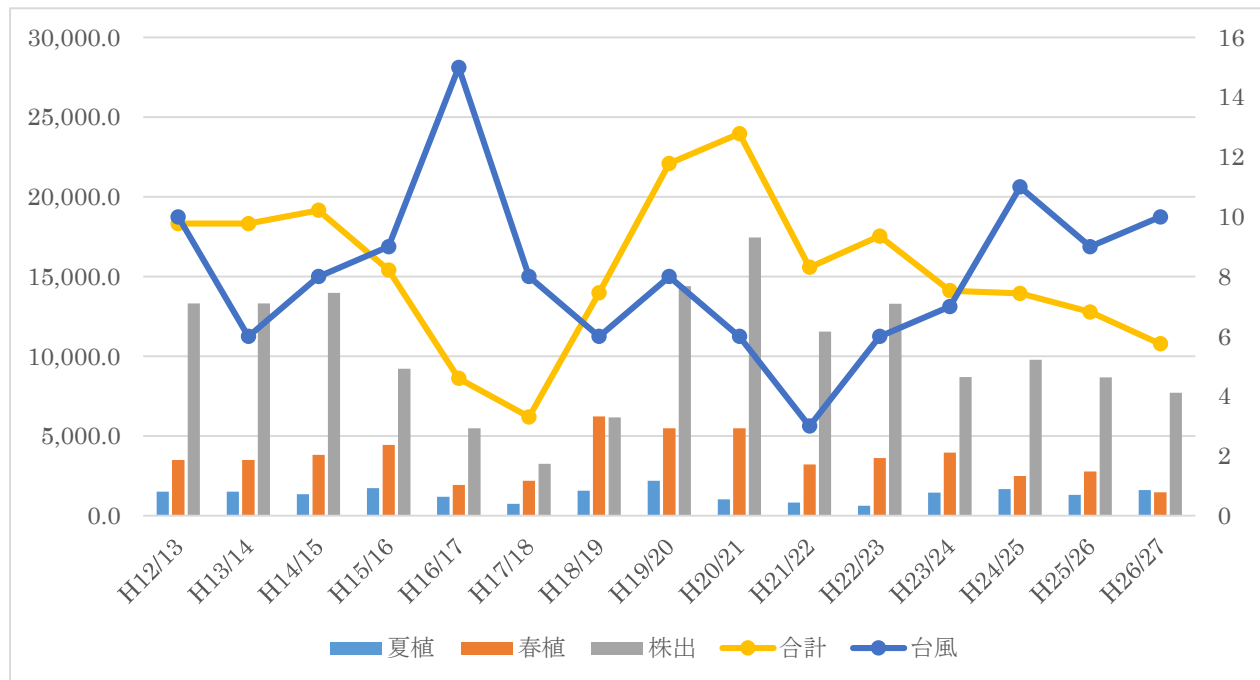


2. 数字で見る北大東村

5-2 さとうきび生産量（台風との関係性）

考察

- ・ さとうきびの植え付け面積は400ha前後を維持している
- ・ さとうきびの生産高は減少し続けている
- ・ 台風の接近数が増加すると、さとうきびの生産量は減少。



	夏植			春植			株出			合計		
	面積 (ha)	10a当たり 収量	生産高 (t)	面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg/10a)	生産高 (t)	面積 (ha)	10a当たり 収量	生産高 (t)	面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg/10a)	生産高 (t)
H12/13年	28.0	5,373.0	1,505.7	87.6	4,001.0	3,505.3	325.2	4,095.0	13,317.2	440.9	4,157.0	18,328.2
H13/14年	28.0	5,373.0	1,505.7	87.6	4,001.0	3,505.3	325.2	4,095.0	13,317.2	440.9	4,157.0	18,328.2
H14/15年	23.3	5,800.0	1,350.2	85.9	4,445.0	3,817.4	319.0	4,385.0	13,989.5	428.2	4,474.0	19,157.1
H15/16年	36.2	4,813.0	1,741.4	109.2	4,066.0	4,439.5	278.7	3,312.0	9,230.0	424.1	3,634.0	15,410.9
H16/17年	30.3	3,957.0	1,198.1	82.3	2,354.0	1,937.1	258.9	2,118.0	5,482.4	371.4	2,320.0	8,617.7
H17/18年	21.5	3,491.0	749.8	82.9	2,640.0	2,188.8	147.7	2,203.0	3,253.3	252.1	2,456.0	6,191.9
H18/19年	32.9	4,796.0	1,577.4	143.6	4,342.0	6,236.8	183.0	3,374.0	6,174.9	359.5	3,891.0	13,989.0
H19/20年	33.5	6,548.0	2,193.6	103.1	5,329.0	5,496.1	274.7	5,247.0	14,413.1	411.3	5,734.0	22,102.8
H20/21年	14.8	6,893.0	1,021.5	99.5	5,518.0	5,492.9	304.1	5,739.0	17,453.4	418.5	5,727.0	23,967.8
H21/22年	15.3	5,379.0	821.4	96.9	3,322.0	3,218.5	309.0	3,736.0	11,542.7	421.1	3,700.0	15,582.6
H22/23年	11.0	5,514.0	631.0	88.0	4,116.0	3,610.0	306.0	4,346.0	13,295.0	405.0	4,330.0	17,537.0
H23/24年	28.5	5,093.0	1,451.0	105.6	3,746.0	3,957.1	258.7	3,364.0	8,704.9	392.9	3,592.0	14,113.0
H24/25年	32.1	5,206.0	1,671.2	88.1	2,822.0	2,486.0	276.9	3,537.0	9,794.5	397.1	3,514.0	13,951.7
H25/26年	27.0	4,874.0	1,315.5	78.5	3,549.0	2,784.8	274.8	3,160.0	8,683.0	380.2	3,362.0	12,783.8
H26/27年	30.4	5,265.0	1,601.1	71.0	2,058.0	1,460.8	278.4	2,774.0	7,722.1	379.8	2,839.0	10,784.0
平均	26.2	5,225.0	95,440.2	94.0	3,754.0	286,367.5	274.7	3,699.0	524,715.9	394.9	3,835.0	1,585,006.7

資料：北大東村経済課

■ 沖縄地方台風接近数

H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
10	6	8	9	15	8	6	8	6	3	6	7	11	9	10

※ 台風の中心が鹿児島県の奄美地方、沖縄県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「沖縄・奄美に接近した台風」としています。

資料：気象庁

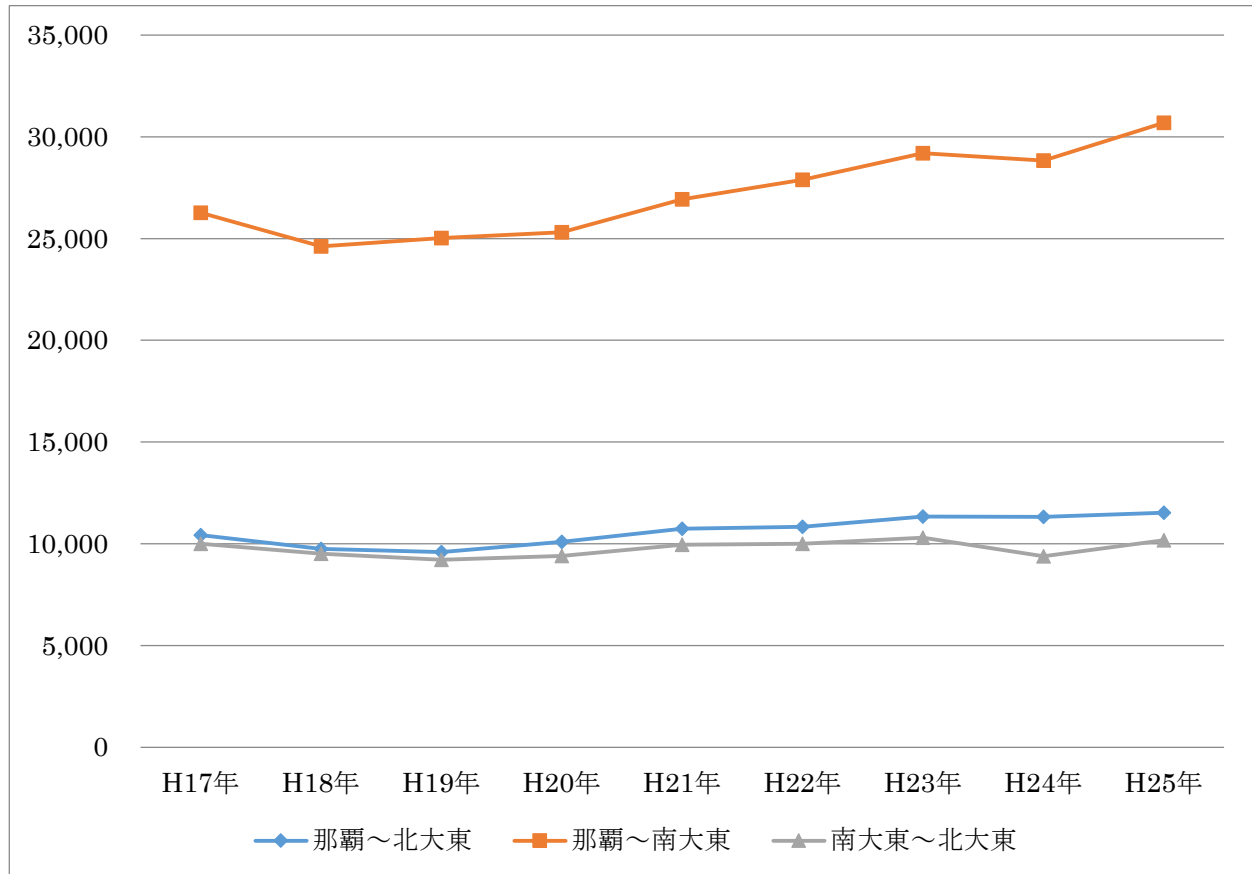
2. 数字で見る北大東村

4-2 交通（沖縄本島～南北大東）

考察

- ・ 那覇～北大東間の航空線利用者数はほぼ横ばいである
- ・ 船舶の貨物利用数は平成 21 年および平成 22 年で著しく多い

4-2.A 那覇～南北大東 航空機利用客数



	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
那覇～北大東	10,424	9,749	9,587	10,096	10,746	10,837	11,341	11,326	11,535
那覇～南大東	26,266	24,612	25,030	25,303	26,928	27,885	29,188	28,830	30,680
南大東～北大東	10,000	9,512	9,216	9,402	9,964	10,000	10,310	9,385	10,179

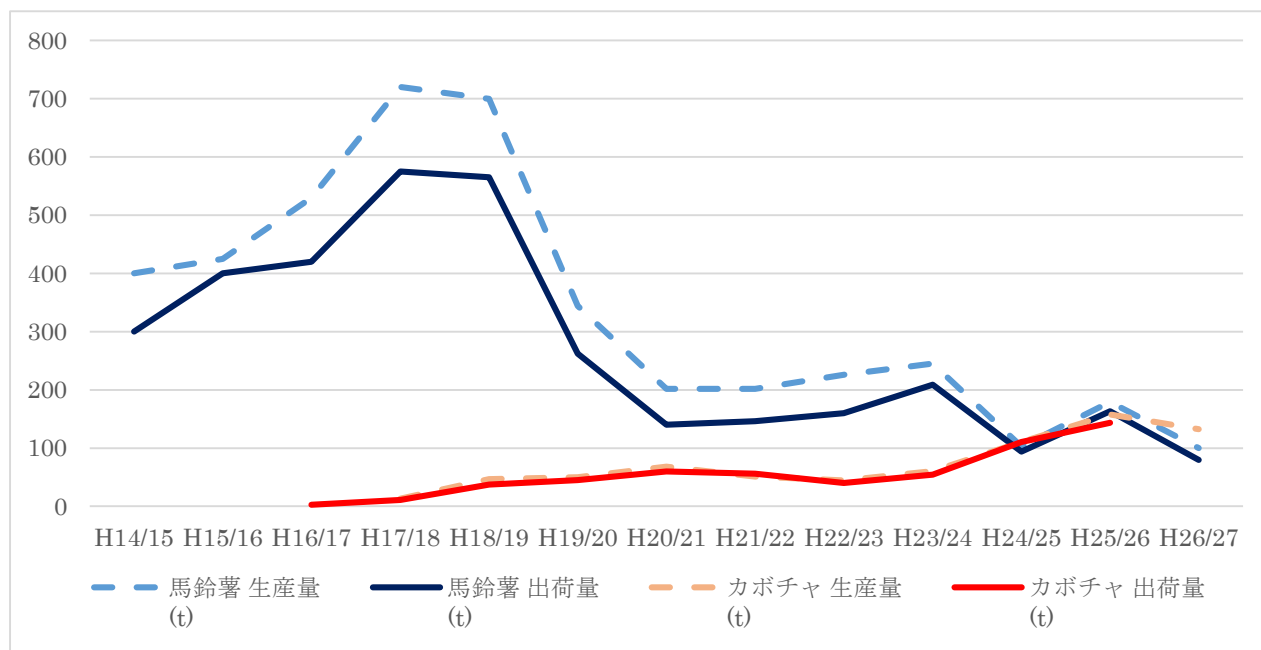
資料：H25沖縄県観光要覧

2. 数字で見る北大東村

5-3 馬鈴薯・カボチャ生産量

考察

- ・馬鈴薯の栽培面積、生産量、出荷量は減少しているが、反収は安定している
- ・かぼちやの栽培面積、生産量、出荷量および売上高は順調に伸びており、反収も伸びている



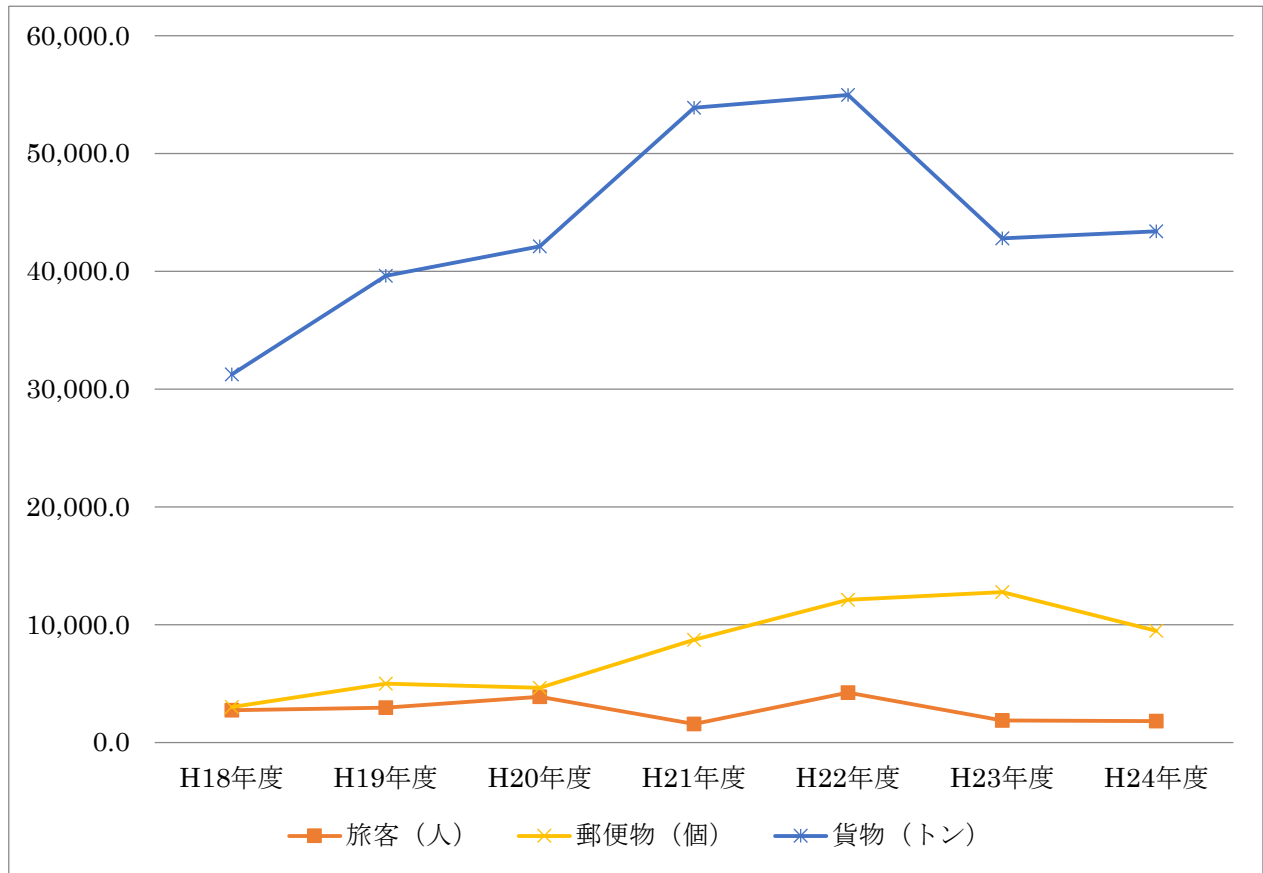
馬鈴薯	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	出荷量 (t)	反収 (10a/t)	売上高 (千円)
H14/15年	14.0	400	300.0	2.8	
H15/16年	17.0	425	400.0	2.3	66,488
H16/17年	24.0	530	420.0	1.7	72,288
H17/18年	37.0	720	575.0	1.5	96,074
H18/19年	35.0	700	565.0	1.6	79,490
H19/20年	16.0	344	262.0	1.7	42,340
H20/21年	7.6	202	140.0	1.8	21,967
H21/22年	9.3	202	146.0	1.6	33,085
H22/23年	10.0	226	160.0	1.6	28,875
H23/24年	9.3	245	209.0	2.2	40,423
H24/25年	5.5	103	94.2	1.7	17,222
H25/26年	6.1	179	163.3	2.7	54,733
H26/27年	4.3	100	79.6	4.2	

カボチャ	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	出荷量 (t)	反収 (10a/t)	売上高 (千円)
H14/15年					
H15/16年					
H16/17年			2.5		461
H17/18年	2.2	13.06	10.9	0.5	5,054
H18/19年	3.9	46.76	37.4	1.0	14,894
H19/20年	4.0	50.26	45.2	1.1	21,153
H20/21年	6.8	67.94	60.2	0.9	23,850
H21/22年	6.5	56.19	51.3	0.9	23,046
H22/23年	5.8	44.77	40.3	0.7	19,759
H23/24年	7.0	60.32	54.3	0.8	30,436
H24/25年	10.8	110.28	110.3	0.9	37,571
H25/26年	12.9	157.62	143.3	1.1	57,891
H26/27年	15.0	132.67		1.1	

資料: 北大東村経済課

2. 数字で見る北大東村

4-2. B 那覇～南北大東 船舶利用（だいとう/大東海運）



	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
運航回数	63.5	67.5	67.5	72.0	75.0	61.5	62.5
旅客(人)	2,749.5	2,946.0	3,869.5	1,579.5	4,237.5	1,866.0	1,805.5
旅客輸送人キロ	1,004,197.5	1,193,130.0	1,567,147.5	689,697.5	1,716,187.5	755,730.0	731,227.5
郵便物(個)	3,010.0	4,980.0	4,638.0	8,719.0	12,100.0	12,776.0	9,469.0
貨物(トン)	31,250.0	39,624.0	42,114.3	53,887.5	54,970.4	42,801.1	43,383.3

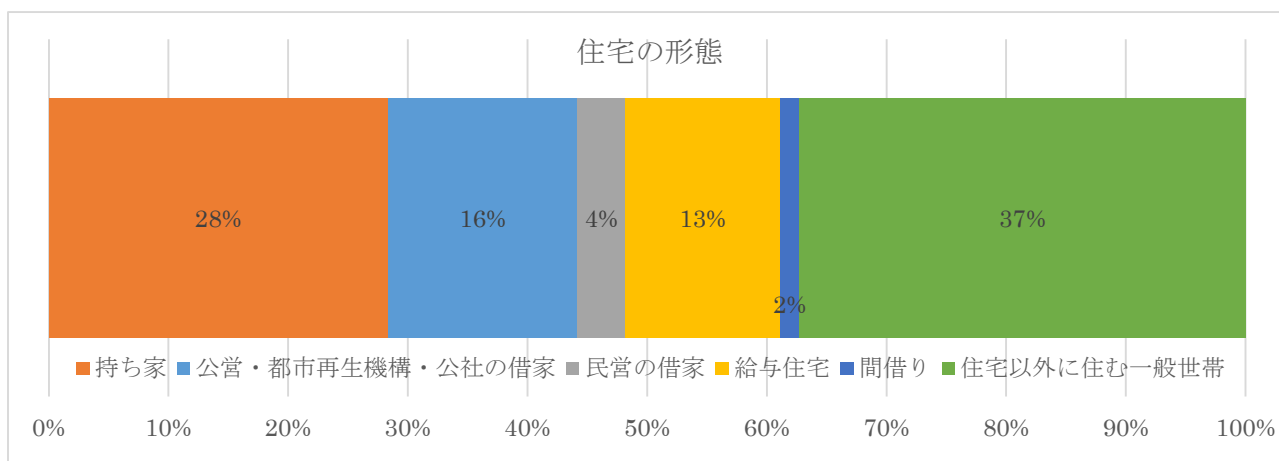
運輸要覧H25

2. 数字で見る北大東村

(6) 住宅関連

6-1 住宅の形態

- ・「住宅に住む一般世帯」の合計より、「住宅以外に住む一般世帯」の数が多い。
- ・「住宅に住む一般世帯」の内、公営・都市再生機構・公社の貸家に住んでいる世帯が持ち家に続いて多い。



総数(住居の種類・住宅の所有の関係) 1)	住宅に住む一般世帯	持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	住宅以外に住む一般世帯
378	237	107	60	15	49	6	141
		28%	16%	4%	13%	2%	37%

資料: 国勢調査

・住宅： 一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる永続性のある建物（完全に区画された建物の一部を含む。）

一戸建ての住宅はもちろん、アパート、長屋などのように家庭生活を営むことができるような構造になっている場合は、各区画ごとに一戸の住宅となる。なお、店舗や作業所付きの住宅もこれに含まれる。

・住宅以外： 寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や、病院・学校・旅館・会社・工場・事務所などの居住用でない建物。なお、仮小屋・天幕小屋など臨時応急的に造られた住居などもこれに含まれる。

(総務省統計局)

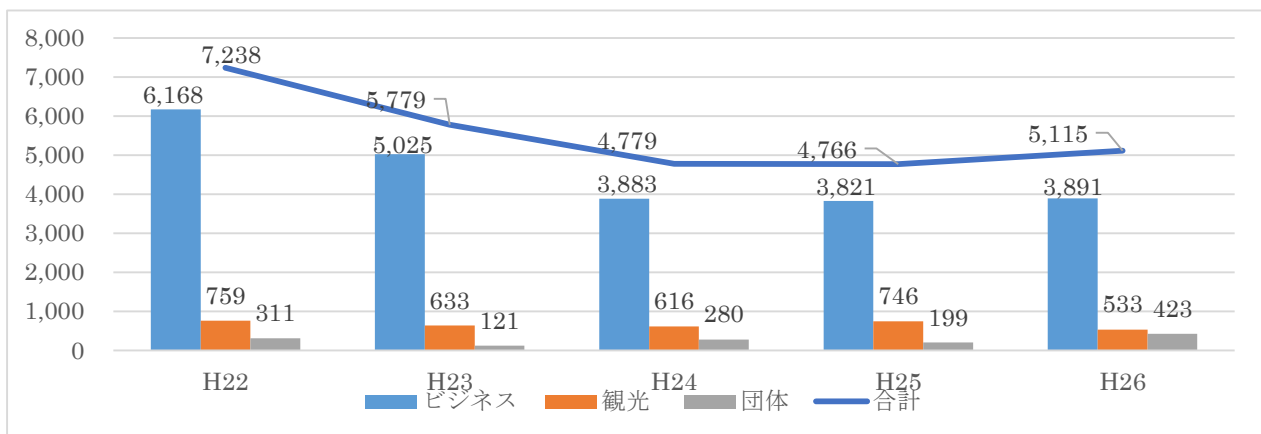
2. 数字で見る北大東村

4-3 宿泊施設（はまゆう荘）

考察

- ・利用者は全体的には減少している
- ・利用者のほとんどがビジネス客である
- ・ビジネス客は減少しているが、個人客が増加傾向にある
- ・平成26年度の利用者の構成から、県内利用者が半数を占めていることがわかる

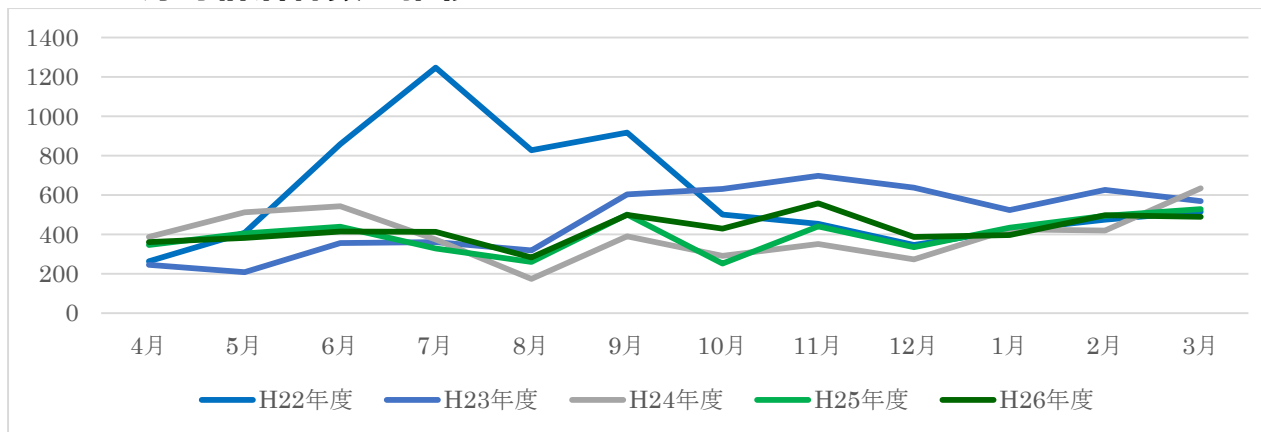
4-3.A 客層の推移



	ビジネス	観光	団体	その他	合計
H22	6,168	759	311	-	7,238
H23	5,025	633	121	-	5,779
H24	3,883	616	280	-	4,779
H25	3,821	746	199	-	4,766
H26	3,891	533	423	268	5,115

資料：はまゆう荘

4-3.B 月毎宿泊客数の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H22年度	263	408	858	1247	828	918	501	454	347	422	475	516	7,237
H23年度	246	208	356	362	319	603	631	697	637	524	626	570	5,779
H24年度	388	512	544	374	174	390	292	352	274	426	419	634	4,779
H25年度	346	405	439	328	260	501	253	441	335	434	495	529	4,766
H26年度	361	383	415	414	283	499	430	558	388	397	498	489	5,115

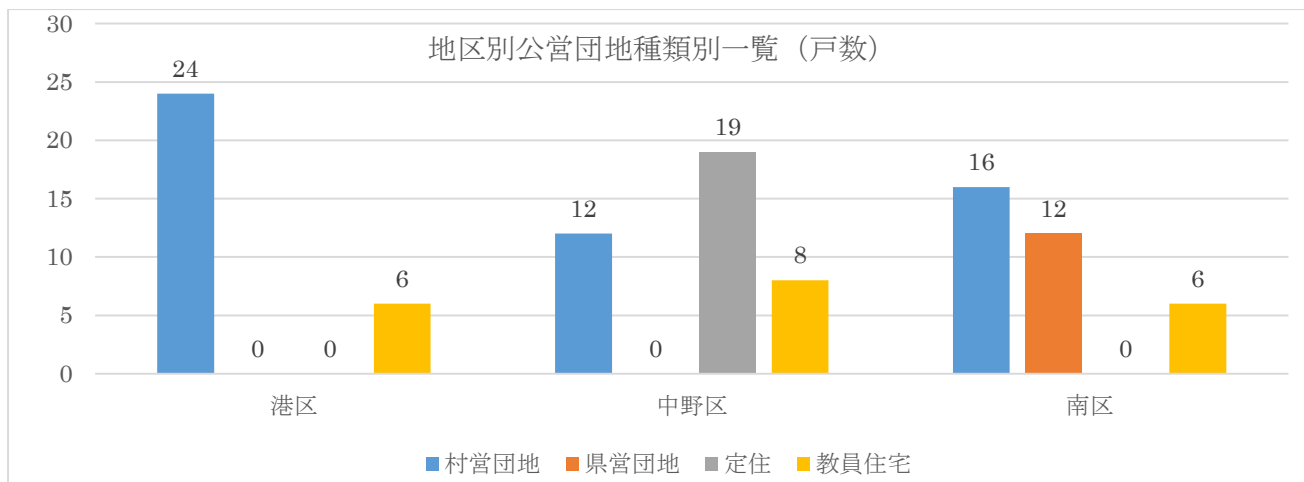
資料：はまゆう荘

2. 数字で見る北大東村

6-2 北大東村公営住宅数

考察

- ・ 公営住宅における戸数は、中野区、南区、港区の順に多い
- ・ 村営住宅（戸数）については、港区が最も多い
- ・ 定住住宅は中野区にのみ建設されている
- ・ 県営団地は南区にのみ建設されている



字	住所（番地）	公営住宅名称	棟数及び戸数
港	16-8	港団地	2棟4戸
	51-1	港第2団地	2棟4戸
		港第3団地	4棟8戸
	34-1	港第4団地	4棟8戸
	51-1	教員住宅	1棟6戸
	小計		
中野	209-4	中野団地	2棟8戸
	207-4	中野第2団地	1棟4戸
	209-1	定住	1棟4戸
	209-4	定住	1棟1戸
	209-6	定住	1棟4戸
	233	定住	2棟4戸
		定住	1棟6戸（建築中）
	206-1	教員住宅	2棟2戸
	207-1	教員住宅	2棟6戸
小計			13棟39戸
南	81-1	南団地	2棟4戸
	223-1	南第2団地	3棟12戸
	247-6	県営北大東団地	3棟12戸
	81-1	教員住宅	2棟6戸
	小計		
合計			36棟103戸（内1棟6戸建築中）

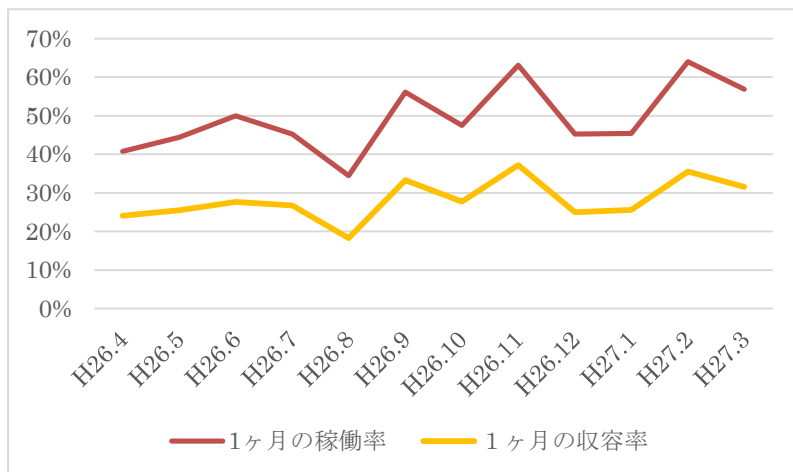
資料：北大東村 建設課

2. 数字で見る北大東村

考察

- ・ 部屋の稼働率は50%前後を維持しているが、収容率は低い
- ・ 稼働率と収容率の関係から、1人で一部屋を使用する客が多いと考えられる

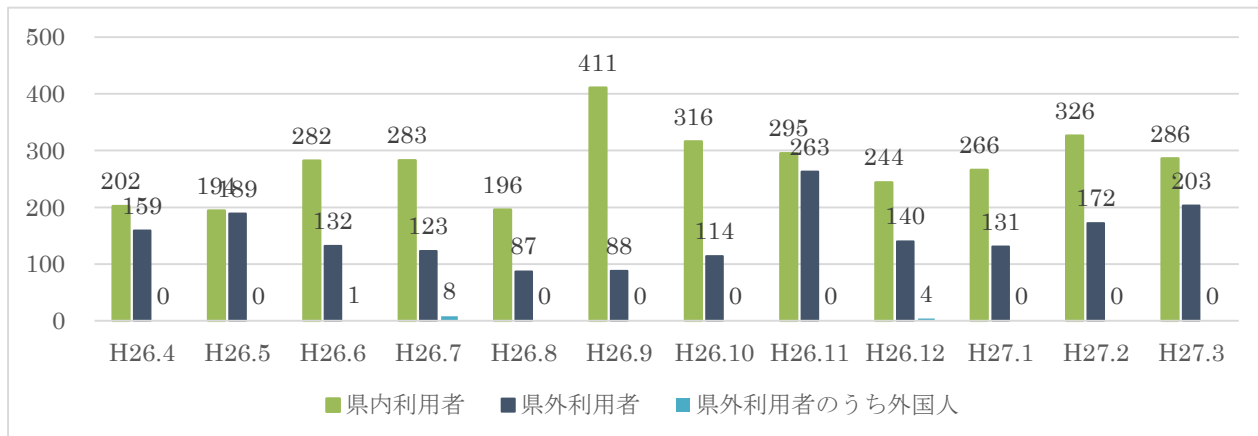
4-3.C 平成26年度 稼働率



年月	使用部屋数 (25部屋)	1ヶ月の稼働率	収容人員 (50名収容)	1ヶ月の収容率
平成26年4月	306	41%	361	24%
平成26年5月	344	44%	383	26%
平成26年6月	375	50%	415	28%
平成26年7月	351	45%	414	27%
平成26年8月	267	34%	283	18%
平成26年9月	421	56%	499	33%
平成26年10月	368	47%	430	28%
平成26年11月	473	63%	558	37%
平成26年12月	351	45%	388	25%
平成27年1月	352	45%	397	26%
平成27年2月	448	64%	498	36%
平成27年3月	441	57%	489	32%
年間計	4,497	49%	5,115	28%

資料: はまゆう荘

4-3.D 平成26年度 利用者の構成



年月	県内利用者	比率	県外利用者	比率	県外利用者のうち外国人	比率
平成26年4月	202	56%	159	44%	0	0%
平成26年5月	194	51%	189	49%	0	0%
平成26年6月	282	68%	132	32%	1	0%
平成26年7月	283	68%	123	30%	8	2%
平成26年8月	196	69%	87	31%	0	0%
平成26年9月	411	82%	88	18%	0	0%
平成26年10月	316	73%	114	27%	0	0%
平成26年11月	295	53%	263	47%	0	0%
平成26年12月	244	63%	140	36%	4	1%
平成27年1月	266	67%	131	33%	0	0%
平成27年2月	326	65%	172	35%	0	0%
平成27年3月	286	58%	203	42%	0	0%
年間計	3,301	65%	1,801	35%	13	0%

資料: はまゆう荘

3. アンケート結果

アンケート結果

アンケートの目的

総合戦略の策定にあたり、村民の皆さまの北大東村の「まち」「ひと」「しごと」に関する率直なお考えやご要望を収集し、総合戦略の方策を検討することを目的とする。

アンケートについて

日程	平成27年11月11日(月)～27日(金)
対象(配布数)	北大東村在住の18歳以上の方(約520人/H22国勢調査)を対象
配布方法	① 住民健康診断(11月11日～12日)の待ち時間を利用(回収まで) ② 一般配布(各世帯及び各事業所)
回収方法	各事業所及び商店などに回収箱を設置

アンケート構成

- I あなたとあなたの家族構成、北大東村の印象について (属性把握)
- II 定住・移住に関することについて (UJIターンに関する調査)
- III 北大東村の雇用・産業について (就業に関する調査)
- IV 結婚・出産・子育てについて (結婚・出産・子育てに関する調査)
- V 自由意見

アンケート回収率

アンケートは、北大東村在住の18歳以上の方を対象に520通配布。
そのうち189通を回収し、回収率は36.3%となった。

配布数(対象者数)	520 通
回収数	189 通
回収率	36.3 %

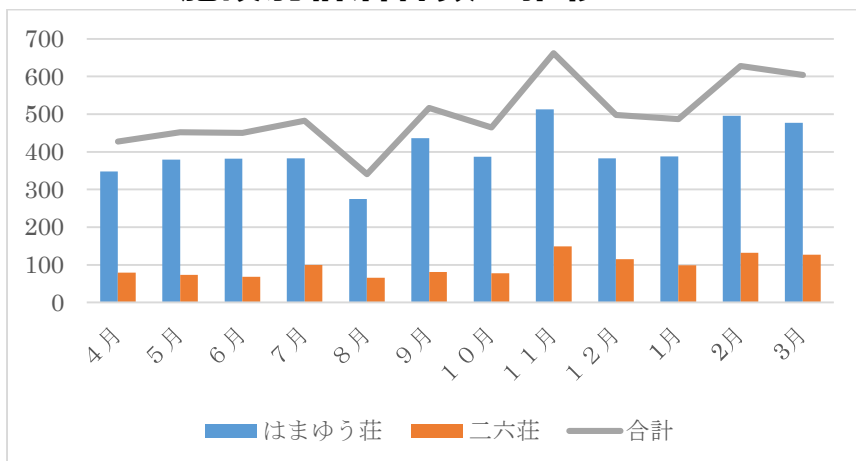
2. 数字で見る北大東村

4-4 H26年度の宿泊施設利用客月別推移（はまゆう荘、二六荘）

考察

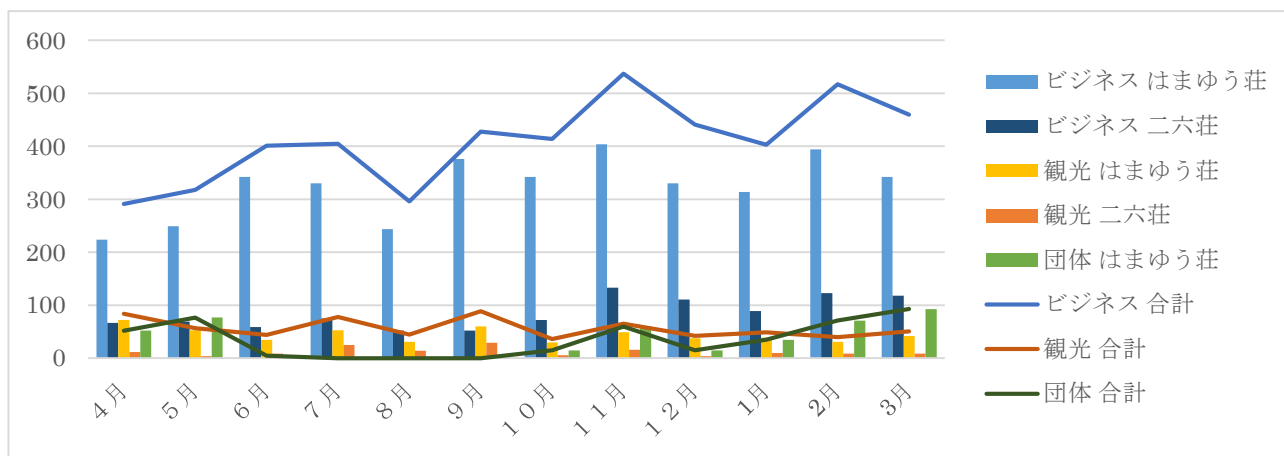
- ・年間を通してビジネス客がほとんどである
- ・11月～3月に掛けて二六荘のビジネス客が増えている
- ・両方の施設において11月の宿泊客数が最大となっている

4-4. A 施設別宿泊客数の推移



	はまゆう荘	二六荘	合計
4月	361	79	440
5月	383	73	456
6月	415	68	483
7月	414	100	514
8月	283	66	349
9月	499	81	580
10月	430	78	508
11月	558	149	707
12月	388	115	503
1月	397	99	496
2月	498	132	630
3月	489	127	616
計	5115	1167	6282

4-4. B 目的別宿泊客数の推移



	ビジネス			観光			団体	その他	合計	
	はまゆう荘	二六荘	合計	はまゆう荘	二六荘	合計	はまゆう荘	はまゆう荘	はまゆう荘	二六荘
4月	224	67	291	72	12	84	52	13	361	79
5月	249	69	318	53	4	57	77	4	383	73
6月	342	59	401	35	9	44	5	33	415	68
7月	330	75	405	53	25	78	0	31	414	100
8月	244	52	296	31	14	45	0	8	283	66
9月	376	52	428	60	29	89	0	63	499	81
10月	342	72	414	30	6	36	15	43	430	78
11月	404	133	537	49	16	65	60	45	558	149
12月	330	111	441	38	4	42	15	5	388	115
1月	314	89	403	39	10	49	35	9	397	99
2月	394	123	517	31	9	40	71	2	498	132
3月	342	118	460	42	9	51	93	12	489	127
計	3,891	1,020	4,911	533	147	680	423	268	5,115	1,167

資料：はまゆう荘、二六荘

3. アンケート結果

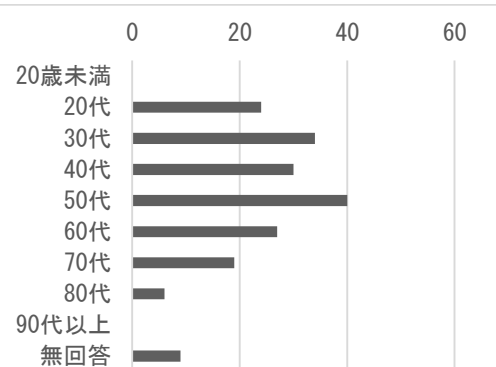
調査結果

※アンケート結果の回答率については、小数点第 2 位にて四捨五入されていますので、合算しても 100%にならない場合があります。

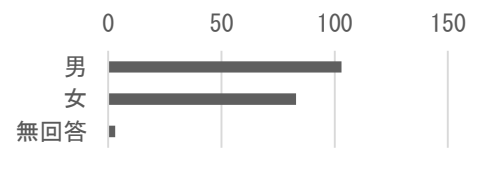
I あなたとあなたの家族構成、北大東村の印象について教えてください

問 1 あなたの年齢と性別を教えてください。

回答	票	率
20歳未満	0	0.0%
20代	24	12.7%
30代	34	18.0%
40代	30	15.9%
50代	40	21.2%
60代	27	14.3%
70代	19	10.1%
80代	6	3.2%
90代以上	0	0.0%
無回答	9	4.8%
合計	189	100.0%

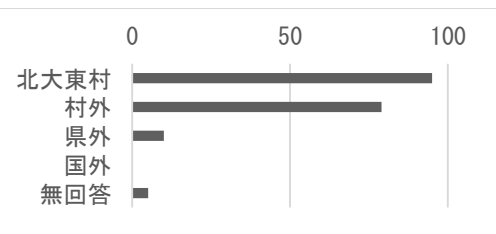


回答	票	率
男	103	54.5%
女	83	43.9%
無回答	3	1.6%
合計	189	100.0%



問 2 あなたの出身地を教えてください。

回答	票	率
北大東村	95	50.3%
村外	79	41.8%
県外	10	5.3%
国外	0	0.0%
無回答	5	2.6%
合計	189	100.0%



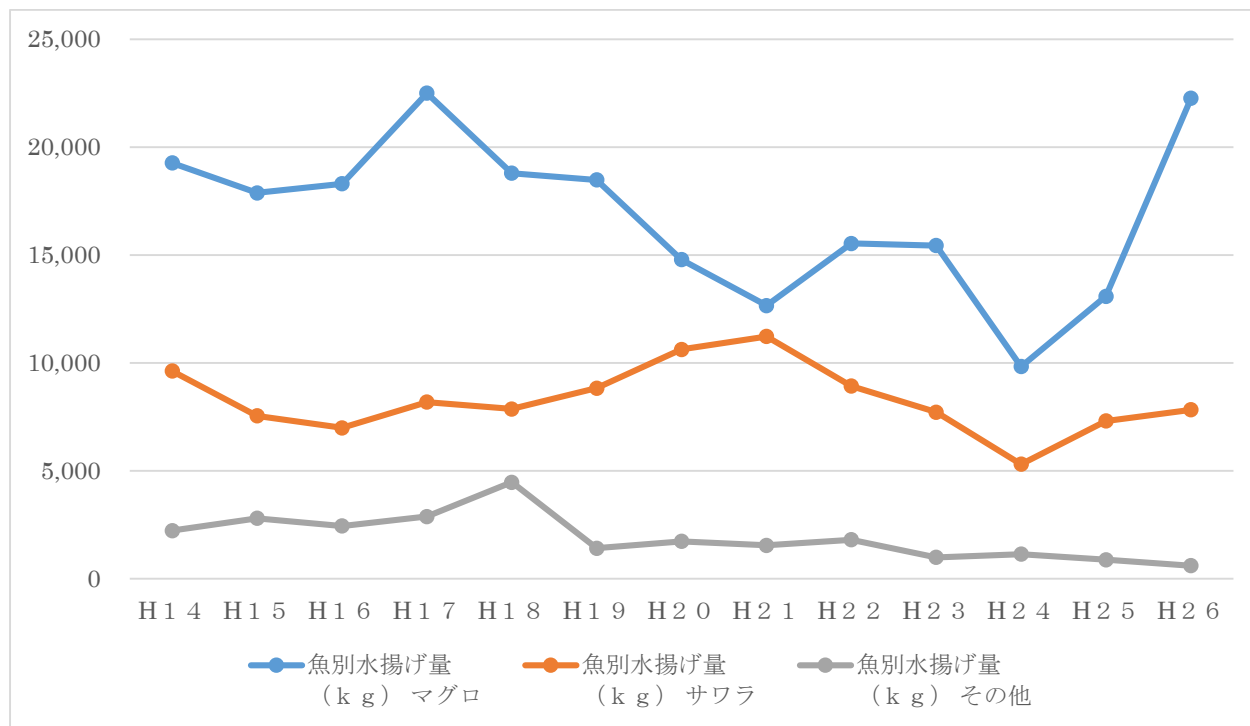
2. 数字で見る北大東村

(5) 産業関連

5-1 水産水揚げ量

考察

- ・水産水揚げ量が平成21年頃より減少傾向であったが、平成26年には平成18年の水準まで回復している
- ・減少傾向にあった水産の売上高も、平成26年には増加している



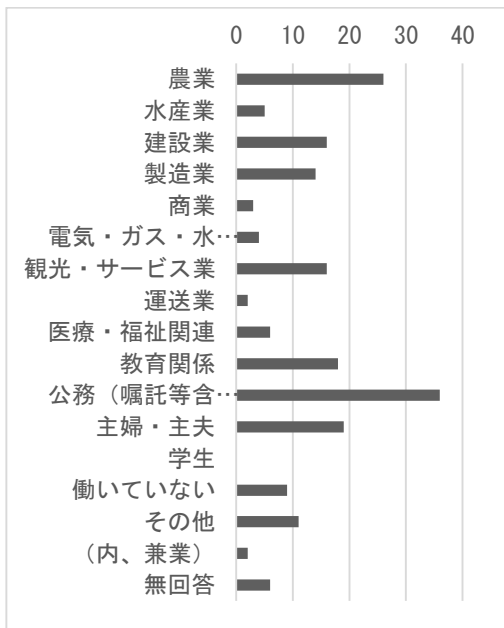
	魚別水揚げ量 (kg)			水揚げ量 (kg)	出港量 (回)	売上高
	マグロ	サワラ	その他			
H14	19,268	9,627	2,237	31,132	783	15,888,731
H15	17,884	7,550	2,806	28,240	842	13,586,477
H16	18,301	6,993	2,452	27,746	740	13,490,734
H17	22,504	8,191	2,885	33,580	847	15,753,468
H18	18,796	7,867	4,475	31,138	780	11,824,875
H19	18,484	8,837	1,416	28,737	755	11,349,945
H20	14,791	10,625	1,733	27,149	708	13,702,862
H21	12,657	11,228	1,550	25,435	651	12,114,902
H22	15,539	8,928	1,809	26,276	524	12,748,859
H23	15,440	7,723	995	24,158	543	10,805,664
H24	9,837	5,310	1,140	16,287	555	10,325,669
H25	13,090	7,311	885	21,286	557	9,963,554
H26	22,263	7,836	613	30,712	462	14,964,188

資料: 北大東村経済課

3. アンケート結果

問3 あなたのお仕事を教えてください。

回答	票	率
農業	26	13.6%
水産業	5	2.6%
建設業	16	8.4%
製造業	14	7.3%
商業	3	1.6%
電気・ガス・水道業	4	2.1%
観光・サービス業	16	8.4%
運送業	2	1.0%
医療・福祉関連	6	3.1%
教育関係	18	9.4%
公務(嘱託等含む)	36	18.8%
主婦・主夫	19	9.9%
学生	0	0.0%
働いていない	9	4.7%
その他	11	5.8%
(内、兼業)	(2)	(1.0%)
無回答	6	3.1%
合計(兼業含む)	191	100.0%

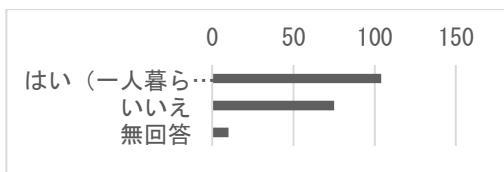


「その他」の意見(原文のまま)

- パート
- 団体職員
- 臨時
- プリーズ
- 農協マンション

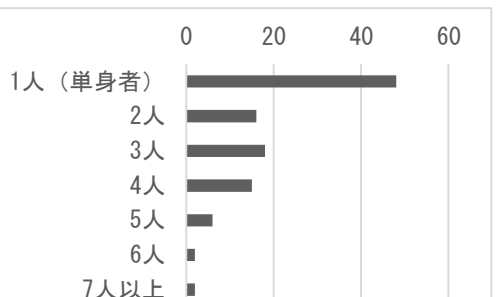
問4 あなたは世帯主ですか。

回答	票	率
はい(一人暮らしを含む)	107	56.6%
いいえ	74	39.2%
無回答	8	4.2%
合計	189	100.0%



世帯人数(世帯主回答)

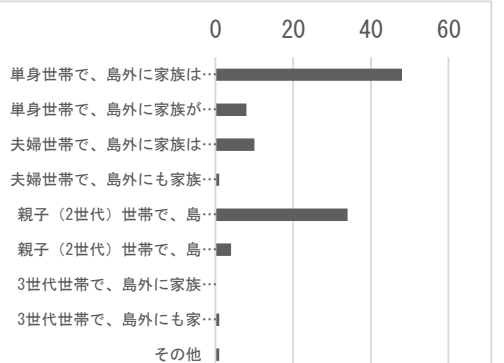
回答	票	率
1人(単身者)	48	44.9%
2人	16	15.0%
3人	18	16.8%
4人	15	14.0%
5人	6	5.6%
6人	2	1.9%
7人以上	2	1.9%
合計	107	100.0%



※「1人(単身者)」には無回答を含む

世帯構成(世帯主回答)

回答	票	率
単身世帯で、島外に家族はいない	48	44.9%
単身世帯で、島外に家族がいる	8	7.5%
夫婦世帯で、島外に家族はいない	10	9.3%
夫婦世帯で、島外にも家族がいる	1	0.9%
親子(2世代)世帯で、島外に家族はいない	34	31.8%
親子(2世代)世帯で、島外にも家族がいる	4	3.7%
3世代世帯で、島外に家族はいない	0	0.0%
3世代世帯で、島外にも家族がいる	1	0.9%
その他	1	0.9%
合計	107	100.0%

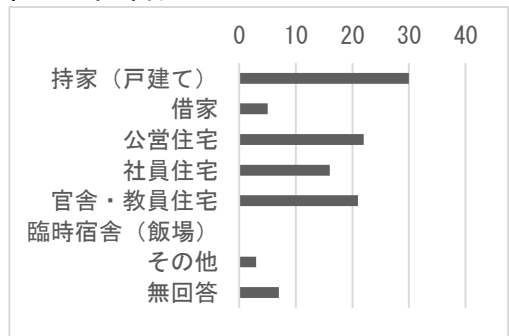


※「単身世帯で、島外に家族はいない」には無回答を含む

3. アンケート結果

問5 あなたのお住まいについて教えてください。(世帯主の回答)

回答	票	率
持家(戸建て)	30	28.8%
借家	5	4.8%
公営住宅	22	21.2%
社員住宅	16	15.4%
官舎・教員住宅	21	20.2%
臨時宿舎(飯場)	0	0.0%
その他	3	2.9%
無回答	7	6.7%
合計	104	100.0%

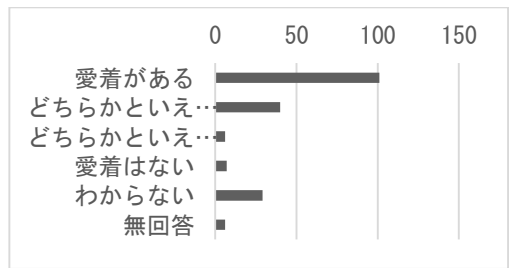


「その他」の意見(原文のまま)

- 県営住宅
- マンション
- 家族所有

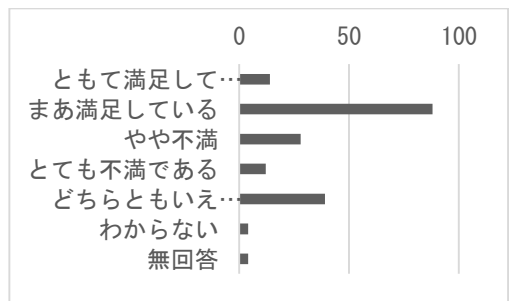
問6 北大東村に愛着はありますか。

回答	票	率
愛着がある	101	53.4%
どちらかといえばある	40	21.2%
どちらかといえばない	6	3.2%
愛着はない	7	3.7%
わからない	29	15.3%
無回答	6	3.2%
合計	189	100.0%



問7 北大東村の生活に満足していますか。

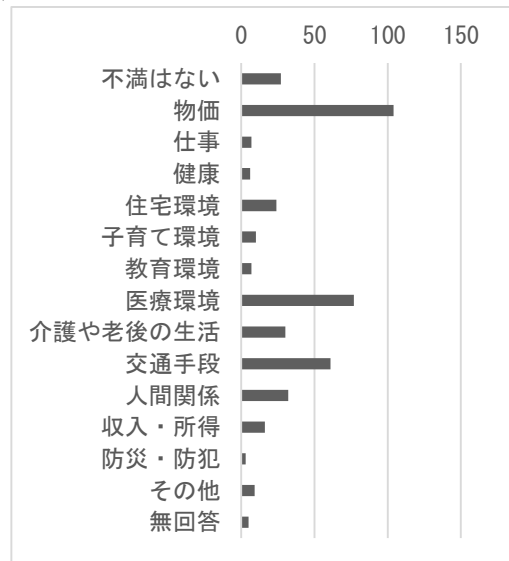
回答	票	率
とても満足している	14	7.4%
まあ満足している	88	46.6%
やや不満	28	14.8%
とても不満である	12	6.3%
どちらともいえない	39	20.6%
わからない	4	2.1%
無回答	4	2.1%
合計	189	100.0%



3. アンケート結果

問8 生活環境に関する不満はありますか。(3つまで)

回答	票	率
不満はない	27	6.5%
物価	104	24.9%
仕事	7	1.7%
健康	6	1.4%
住宅環境	24	5.7%
子育て環境	10	2.4%
教育環境	7	1.7%
医療環境	77	18.4%
介護や老後の生活	30	7.2%
交通手段	61	14.6%
人間関係	32	7.7%
収入・所得	16	3.8%
防災・防犯	3	0.7%
その他	9	2.2%
無回答	5	1.2%
合計	418	100.0%

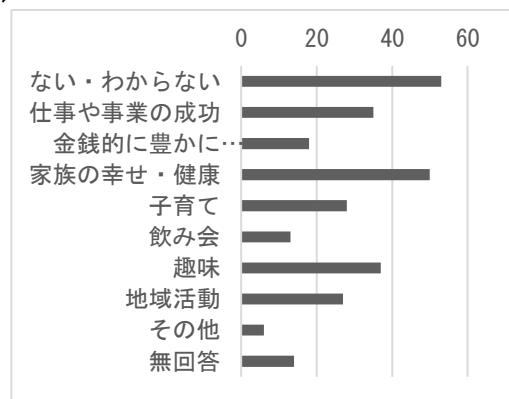


「その他」の意見(原文のまま)

- 行事の多さ、ゆったり過ごしたい
- レジャーがない
- ネット通信系
- 食料品不足
- 商店の品ぞろえ
- 物資や食料など
- 食料事情

問9 北大東村での生きがいはありますか。(3つまで)

回答	票	率
ない・わからない	53	18.9%
仕事や事業の成功	35	12.5%
金銭的に豊かになる	18	6.4%
家族の幸せ・健康	50	17.8%
子育て	28	10.0%
飲み会	13	4.6%
趣味	37	13.2%
地域活動	27	9.6%
その他	6	2.1%
無回答	14	5.0%
合計	281	100.0%

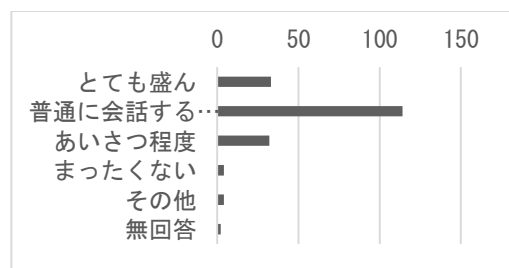


「その他」の意見(原文のまま)

- 畑作業
- 家呑み
- スポーツ
- グループ活動

問10 ご近所付き合いは盛んですか。

回答	票	率
とても盛ん	33	17.5%
普通に会話する程度	114	60.3%
あいさつ程度	32	16.9%
まったくない	4	2.1%
その他	4	2.1%
無回答	2	1.1%
合計	189	100.0%



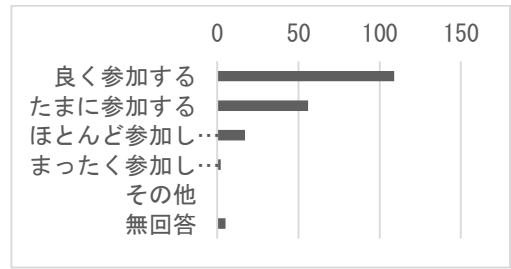
「その他」の意見(原文のまま)

- 時間が取れない

3. アンケート結果

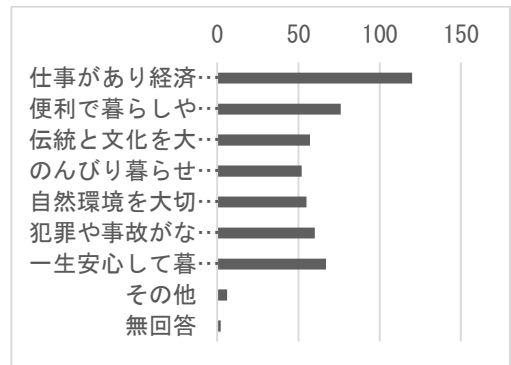
問 1 1 地域行事や祭りへ参加していますか。

回答	票	率
良く参加する	109	57.7%
たまに参加する	56	29.6%
ほとんど参加しない	17	9.0%
まったく参加しない	2	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	5	2.6%
合計	189	100.0%



問 1 2 将来、北大東村はどんな社会になってほしいですか。(3つまで)

回答	票	率
仕事があり経済的に豊かな社会	120	24.2%
便利で暮らしやすい社会	76	15.4%
伝統と文化を大切にする社会	57	11.5%
のんびり暮らせる社会	52	10.5%
自然環境を大切にする社会	55	11.1%
犯罪や事故がない安全な社会	60	12.1%
一生安心して暮らせる社会	67	13.5%
その他	6	1.2%
無回答	2	0.4%
合計	495	100.0%



「その他」の意見（原文のまま）

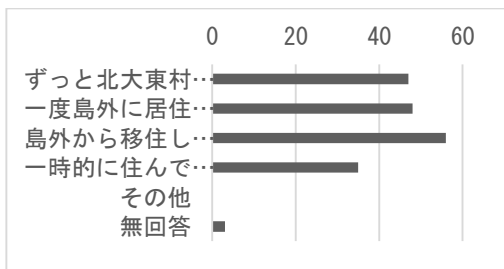
- 子供達や老人が安心して暮らせる社会
- 社会性を必要とする
- 保育・福祉の充実した社会
- 島外から来た人も島内の人ともわけへだてなく協力して暮らしやすい社会
- 充実した教育環境の整った社会

3. アンケート結果

II 定住・移住に関することについて教えてください

問 1 3 北大東村での居住に関することを教えてください

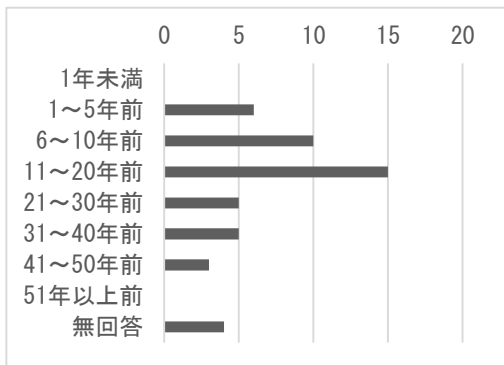
回答	票	率
ずっと北大東村に住んでいる	47	24.9%
一度島外に居住して戻ってきた	48	25.4%
島外から移住してきた	56	29.6%
一時的に住んでいる	35	18.5%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.6%
合計	189	100.0%



(居住の時期)

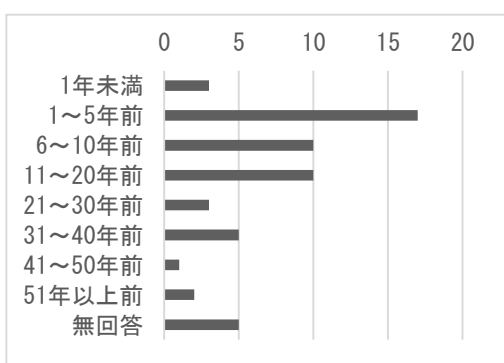
一度島外に居住して戻ってきた方

回答	票	率
1年未満	0	0.0%
1～5年前	6	12.5%
6～10年前	10	20.8%
11～20年前	15	31.3%
21～30年前	5	10.4%
31～40年前	5	10.4%
41～50年前	3	6.3%
51年以上前	0	0.0%
無回答	4	8.3%
合計	48	100.0%



島外から移住してきた方

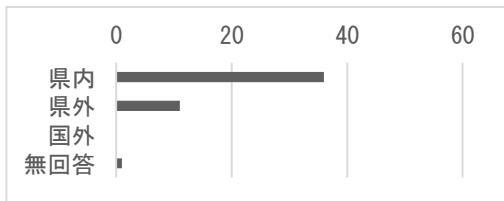
回答	票	率
1年未満	3	5.4%
1～5年前	17	30.4%
6～10年前	10	17.9%
11～20年前	10	17.9%
21～30年前	3	5.4%
31～40年前	5	8.9%
41～50年前	1	1.8%
51年以上前	2	3.6%
無回答	5	8.9%
合計	56	100.0%



問 1 4 北大東村に来る前は、どこにお住まいでしたか。

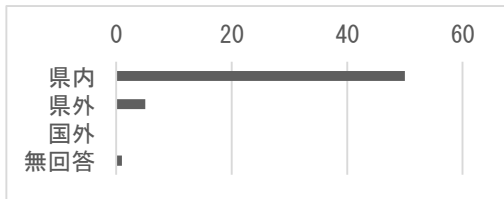
一度島外に居住して戻ってきた方

回答	票	率
県内	36	75.0%
県外	11	22.9%
国外	0	0.0%
無回答	1	2.1%
合計	48	100.0%



島外から移住してきた方

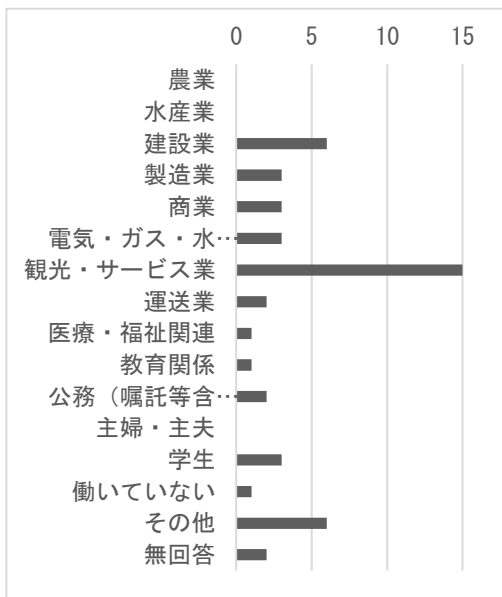
回答	票	率
県内	50	89.3%
県外	5	8.9%
国外	0	0.0%
無回答	1	1.8%
合計	56	100.0%



3. アンケート結果

問15 北大東村に来る前は、どのようなお仕事をされておりましたか。
一度島外に居住して戻ってきた方

回答	票	率
農業	0	0.0%
水産業	0	0.0%
建設業	6	12.5%
製造業	3	6.3%
商業	3	6.3%
電気・ガス・水道業	3	6.3%
観光・サービス業	15	31.3%
運送業	2	4.2%
医療・福祉関連	1	2.1%
教育関係	1	2.1%
公務(嘱託等含む)	2	4.2%
主婦・主夫	0	0.0%
学生	3	6.3%
働いていない	1	2.1%
その他	6	12.5%
無回答	2	4.2%
合計	48	100.0%

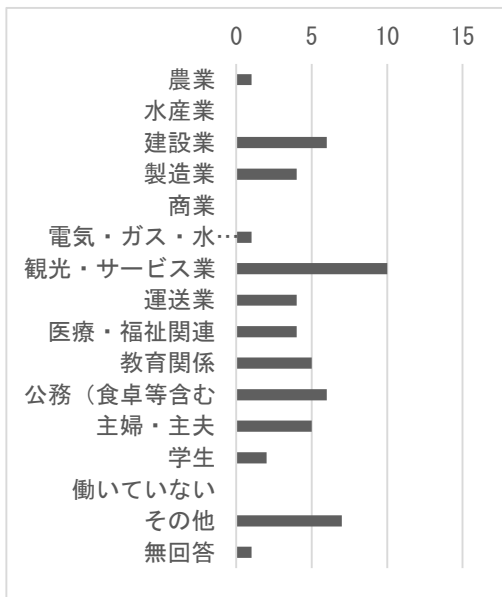


「その他」の意見(原文のまま)

- 事務
- 飲食業

島外から移住してきた方

回答	票	率
農業	1	1.8%
水産業	0	0.0%
建設業	6	10.7%
製造業	4	7.1%
商業	0	0.0%
電気・ガス・水道業	1	1.8%
観光・サービス業	10	17.9%
運送業	4	7.1%
医療・福祉関連	4	7.1%
教育関係	5	8.9%
公務(食卓等含む)	6	10.7%
主婦・主夫	5	8.9%
学生	2	3.6%
働いていない	0	0.0%
その他	7	12.5%
無回答	1	1.8%
合計	56	100.0%



「その他」の意見(原文のまま)

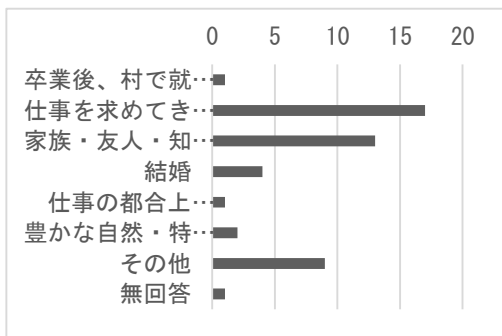
- 不動産事務
- 金融
- コンピューター関係
- 農協
- 会社勤
- 家政婦
- パート

3. アンケート結果

問 16 北大東村に来た（戻ってきた）理由をおしえてください。

一度島外に居住して戻ってきた方

回答	票	率
卒業後、村で就職すると決めていた	1	2.1%
仕事を求めてきた(仕事があったから)	17	35.4%
家族・友人・知人に勧められて	13	27.1%
結婚	4	8.3%
仕事の都合上(出向、赴任など)	1	2.1%
豊かな自然・特異な文化に魅了されて	2	4.2%
その他	9	18.8%
無回答	1	2.1%
合計	48	100.0%

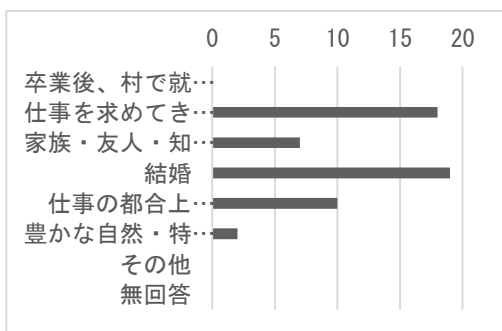


「その他」の意見（原文のまま）

- 農業
- 金を貯める為
- 元々住んでいたから
- 農業の後継
- 祖父が亡くなったから
- 仕事と子育て

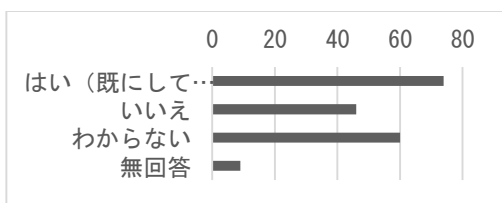
島外から移住してきた方

回答	票	率
卒業後、村で就職すると決めていた	0	0.0%
仕事を求めてきた(仕事があったから)	18	32.1%
家族・友人・知人に勧められて	7	12.5%
結婚	19	33.9%
仕事の都合上(出向、赴任など)	10	17.9%
豊かな自然・特異な文化に魅了されて	2	3.6%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%



問 17 北大東村に定住したいですか。

回答	票	率
はい(既にして)	74	39.2%
いいえ	46	24.3%
わからない	60	31.7%
無回答	9	4.8%
合計	189	100.0%



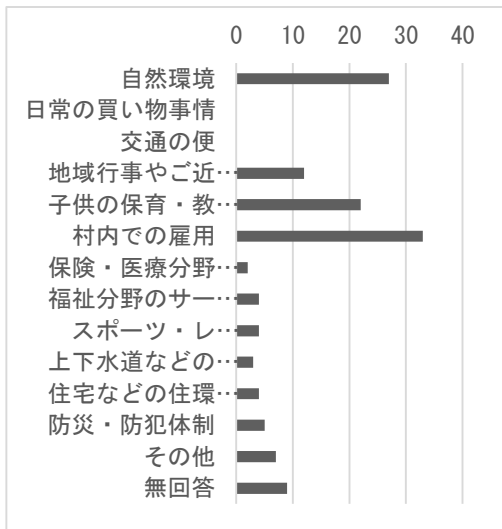
3. アンケート結果

問18問17で「はい」と答えた方は定住したい理由、

「いいえ」と答えた方は定住が難しい理由を教えてください。(3つまで)

定住したい理由(「はい」と回答した方)

回答	票	率
自然環境	27	20.5%
日常の買い物事情	0	0.0%
交通の便	0	0.0%
地域行事やご近所付き合い	12	9.1%
子供の保育・教育事情	22	16.7%
村内での雇用	33	25.0%
保険・医療分野のサービスや施設	2	1.5%
福祉分野のサービスや施設	4	3.0%
スポーツ・レジャー施設や文化施設	4	3.0%
上下水道などの生活環境施設整備	3	2.3%
住宅などの住環境の整備	4	3.0%
防災・防犯体制	5	3.8%
その他	7	5.3%
無回答	9	6.8%
合計	132	100.0%

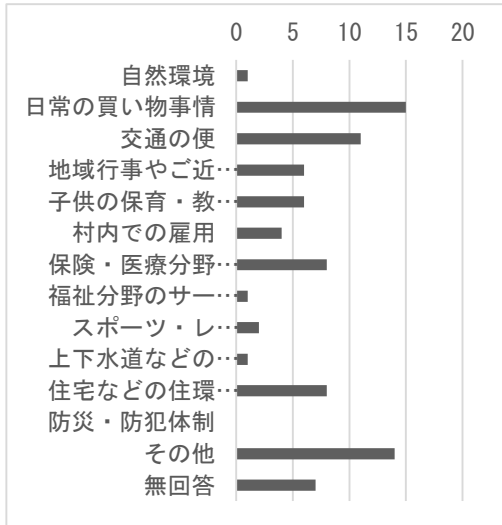


「その他」の意見(原文のまま)

- 島人だから仕方がない
- 親もいるし、家・畑もあるから
- 地元だから、島出身だから
- 農業を継続する
- 土地・畑があるから
- 住みなれたから

定住が難しい理由(「いいえ」と回答した方)

回答	票	率
自然環境	1	1.2%
日常の買い物事情	15	17.9%
交通の便	11	13.1%
地域行事やご近所付き合い	6	7.1%
子供の保育・教育事情	6	7.1%
村内での雇用	4	4.8%
保険・医療分野のサービスや施設	8	9.5%
福祉分野のサービスや施設	1	1.2%
スポーツ・レジャー施設や文化施設	2	2.4%
上下水道などの生活環境施設整備	1	1.2%
住宅などの住環境の整備	8	9.5%
防災・防犯体制	0	0.0%
その他	14	16.7%
無回答	7	8.3%
合計	84	100.0%



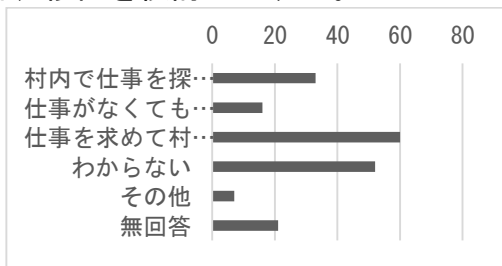
「その他」の意見(原文のまま)

- 仕事上の都合
- 転勤の関係
- 職場の人事異動の為
- 親戚などいない
- サービス業の対応悪い。
- 家族と暮らしたい
- 家族がいるから
- 人間関係
- 定年退職
- 本島に持家がある。親類もほとんど本島にいるため

3. アンケート結果

問 19 仮に今の仕事を続けることが出来なくなった場合、移住を検討しますか。

回答	票	率
村内で仕事を探し定住する	33	17.5%
仕事がなくとも村に定住する	16	8.5%
仕事を求めて村外への移住を検討する	60	31.7%
わからない	52	27.5%
その他	7	3.7%
無回答	21	11.1%
合計	189	100.0%

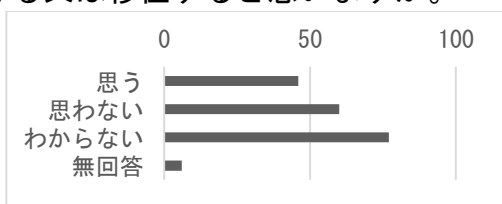


「その他」の意見（原文のまま）

- 移住せざるを得ない
- 自身の健康で考える
- 自然の空気を吸って健康でいたい。
- いいえ
- 相手の家族の健康次第では島外へ

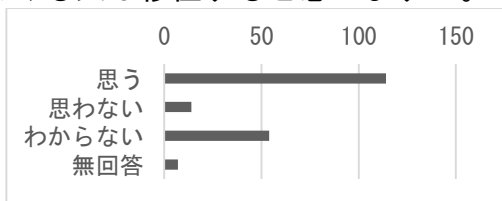
問 20 今の生活環境の現状で、若い世代が村に戻ってくる又は移住すると思いますか。

回答	票	率
思う	46	24.3%
思わない	60	31.7%
わからない	77	40.7%
無回答	6	3.2%
合計	189	100.0%



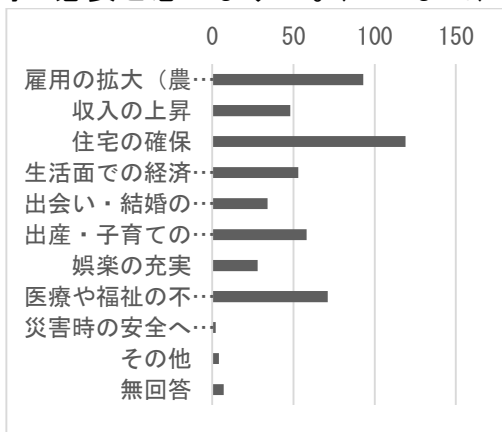
問 21 生活環境が改善されれば、若い世代が村に戻ってくる又は移住すると思いますか。

回答	票	率
思う	114	60.3%
思わない	14	7.4%
わからない	54	28.6%
無回答	7	3.7%
合計	189	100.0%



問 22 若い世代を村に定住・移住させるためには、特に何が重要だと思いますか。（3つまで）

回答	票	率
雇用の拡大（農業、水産業、観光業など）	93	18.0%
収入の上昇	48	9.3%
住宅の確保	119	23.0%
生活面での経済負担の軽減	53	10.3%
出会い・結婚の機会の場の充実	34	6.6%
出産・子育ての不安解消	58	11.2%
娯楽の充実	28	5.4%
医療や福祉の不安の軽減	71	13.7%
災害時の安全への不安の軽減	2	0.4%
その他	4	0.8%
無回答	7	1.4%
合計	517	100.0%



「その他」の意見（原文のまま）

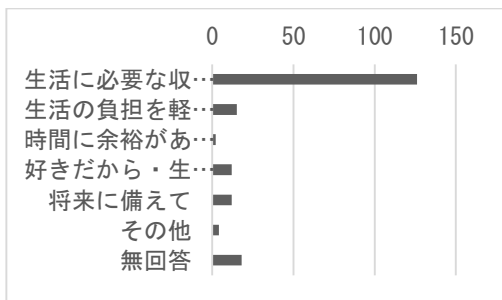
- 交通の便の改善・交通の便の向上
- 地域行事やご近所づきあいの負担軽減

3. アンケート結果

III 北大東村の雇用・産業について教えてください

問23 あなたの働く理由は何ですか。

回答	票	率
生活に必要な収入を確保するため	126	66.7%
生活の負担を軽くするため	15	7.9%
時間に余裕があるから	2	1.1%
好きだから・生きがいでから	12	6.3%
将来に備えて	12	6.3%
その他	4	2.1%
無回答	18	9.5%
合計	189	100.0%

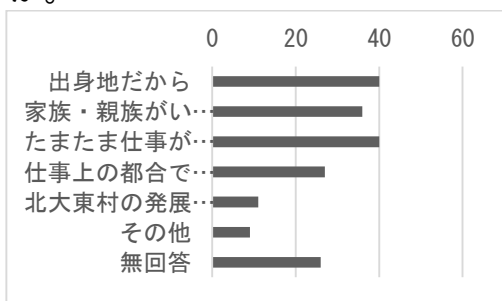


「その他」の意見（原文のまま）

- この村が自立できることを願って
- 働いていない
- 村の地域金融システムの適正化の為

問24 あなたは、なぜ北大東村で働くことにしたのですか。

回答	票	率
出身地だから	40	21.2%
家族・親族がいるから	36	19.0%
たまたま仕事があったから	40	21.2%
仕事上の都合で(転勤・出向など)	27	14.3%
北大東村の発展に貢献したいから	11	5.8%
その他	9	4.8%
無回答	26	13.8%
合計	189	100.0%

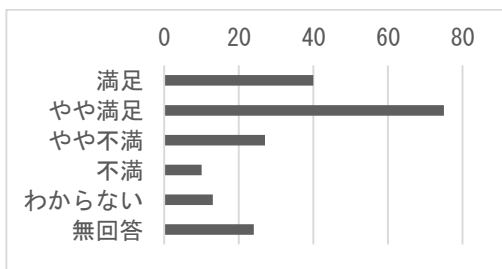


「その他」の意見（原文のまま）

- 結婚(他2人)
- 友人を頼って
- 元々住んでいたから
- 働いていない

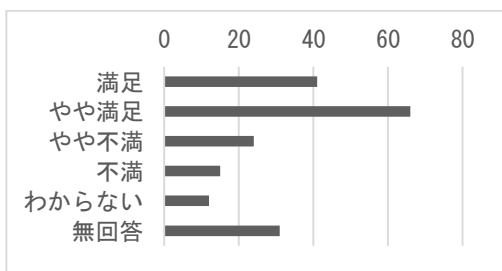
問25 今のお仕事の内容に満足していますか。

回答	票	率
満足	40	21.2%
やや満足	75	39.7%
やや不満	27	14.3%
不満	10	5.3%
わからない	13	6.9%
無回答	24	12.7%
合計	189	100.0%



問26 今の給料に満足していますか。

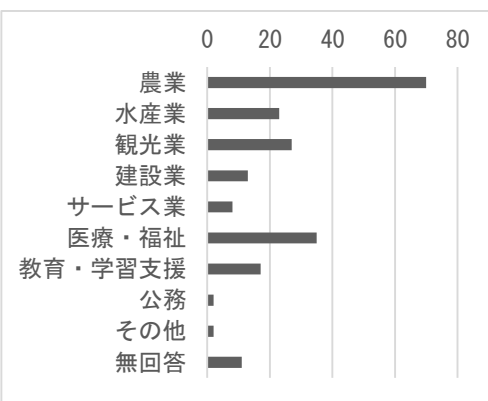
回答	票	率
満足	41	21.7%
やや満足	66	34.9%
やや不満	24	12.7%
不満	15	7.9%
わからない	12	6.3%
無回答	31	16.4%
合計	189	100.0%



3. アンケート結果

問27 今後、北大東村はどのような分野の産業に力を入れていくべきだと思いますか。
(複数回答者あり)

回答	票	率
農業	70	33.7%
水産業	23	11.1%
観光業	27	13.0%
建設業	13	6.3%
サービス業	8	3.8%
医療・福祉	35	16.8%
教育・学習支援	17	8.2%
公務	2	1.0%
その他	2	1.0%
無回答	11	5.3%
合計	208	100.0%



「その他」の意見 (原文のまま)

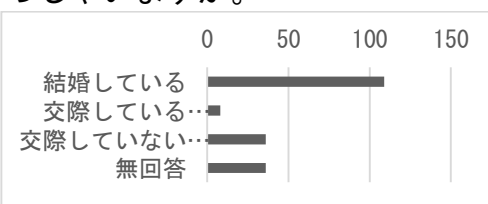
- 全て
- 子育て支援

IV 結婚・出産・子育てについて教えてください

結婚について

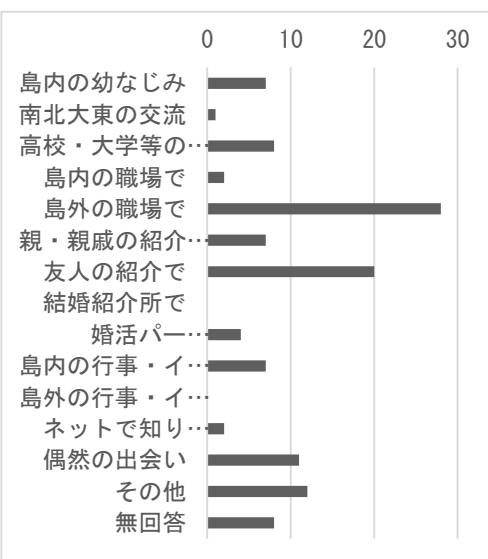
問28 現在、結婚若しくは交際している異性の方はいらっしゃいますか。

回答	票	率
結婚している	109	57.7%
交際している(未婚)	8	4.2%
交際していない(未婚)	36	19.0%
無回答	36	19.0%
合計	189	100.0%



問29 結婚相手・交際相手とどのようなきっかけで知り合いましたか。
(「結婚している」「交際している(未婚)」と回答した方)

回答	票	率
島内の幼なじみ	7	6.0%
南北大東の交流	1	0.9%
高校・大学等の島外の学校で	8	6.8%
島内の職場で	2	1.7%
島外の職場で	28	23.9%
親・親戚の紹介(お見合いを含む)	7	6.0%
友人の紹介で	20	17.1%
結婚紹介所で	0	0.0%
婚活パーティー・合コンなどで	4	3.4%
島内の行事・イベントで	7	6.0%
島外の行事・イベントで	0	0.0%
ネットで知り合った	2	1.7%
偶然の出会い	11	9.4%
その他	12	10.3%
無回答	8	6.8%
合計	117	100.0%



「その他」の意見 (原文のまま)

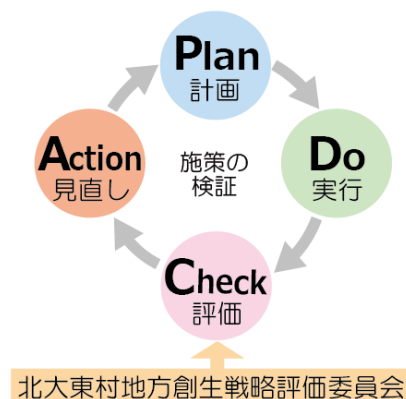
- わかりません(他1人)
- 結婚40年
- 趣味を通じて：島内
- 知り合い
- 島内の知り合い
- 地元(島外)の友人

4. 施策の検証

4. 1 PDCA サイクルの検証体制の構築

本戦略を計画し（Plan）、実行し（Do）、評価し（Check）、見直す（Action）ことを繰り返すことにより、よりよい成果を生み出していくため、実行状況を評価し、見直しの提案を行うための検討組織として、北大東村地方創生戦略評価委員会（以下、評価委員会という。）を設置する。

評価委員会は、学識経験者、村内の事業者・団体・自治組織の代表により組織する。



4. 2 PDCA サイクルの実施と戦略の見直し

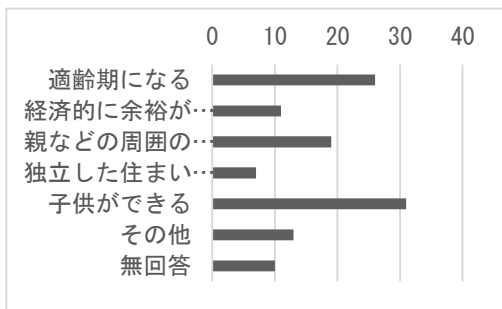
毎年度の終了後速やかに、戦略の実施状況を取りまとめ、評価し、見直し案について検討を行う評価委員会を開催する。

3. アンケート結果

問30 どのような状況で結婚を決心しますか、若しくは決心しましたか。

(「結婚している」「交際している(未婚)」と回答した方)

回答	票	率
適齢期になる	26	22.2%
経済的に余裕ができる	11	9.4%
親などの周囲の同意が得られる	19	16.2%
独立した住まいがあること	7	6.0%
子供ができる	31	26.5%
その他	13	11.1%
無回答	10	8.5%
合計	117	100.0%



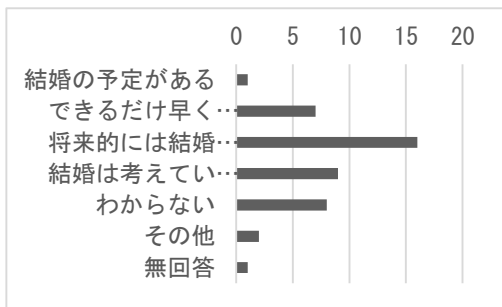
「その他」の意見(原文のまま)

- 相手を最高のパートナーと思ったから
- 相手の事が好き、一緒にいたい
- 40年前に決心
- 結婚したかったから
- 雇用がある
- 好きになったから
- 寂しかったから
- お互いの気持ちが固まったら

問31 結婚の予定・意向について教えてください。

(「交際している(未婚)」「交際していない(未婚)」と回答した方)

回答	票	率
結婚の予定がある	1	2.3%
できるだけ早く結婚したい	7	15.9%
将来的には結婚したい	16	36.4%
結婚は考えていない	9	20.5%
わからない	8	18.2%
その他	2	4.5%
無回答	1	2.3%
合計	44	100.0%



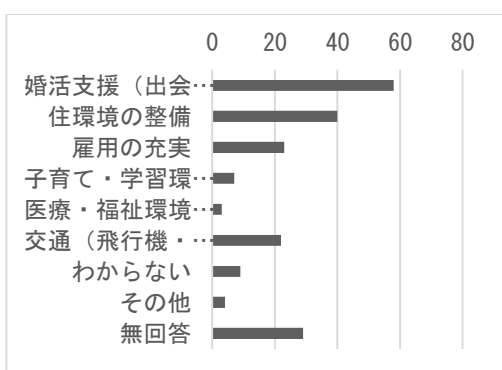
「その他」の意見(原文のまま)

- 意味がわかりません
- 質問内容が不適
- 年齢的に無理

問32 若者の結婚を促すために、どのような取り組みが必要と思いますか。

(複数回答者あり)

回答	票	率
婚活支援(出会いの場の創出など)	58	29.7%
住環境の整備	40	20.5%
雇用の充実	23	11.8%
子育て・学習環境の充実	7	3.6%
医療・福祉環境の充実	3	1.5%
交通(飛行機・船)の利便性の向上	22	11.3%
わからない	9	4.6%
その他	4	2.1%
無回答	29	14.9%
合計	195	100.0%



「その他」の意見(原文のまま)

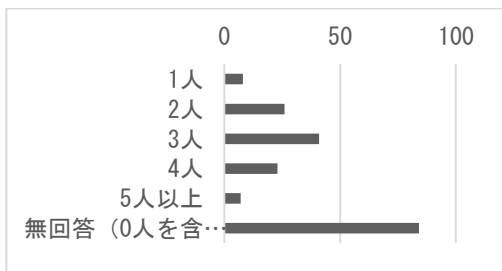
- 全てに
- 自分磨き
- 本人の努力

3. アンケート結果

出産について

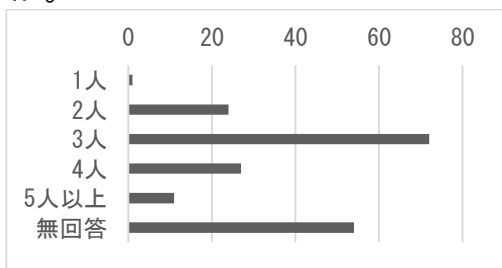
問33 現在の子どもの人数を教えてください。

回答	票	率
1人	8	4.2%
2人	26	13.8%
3人	41	21.7%
4人	23	12.2%
5人以上	7	3.7%
無回答(0人を含む)	84	44.4%
合計	189	100.0%



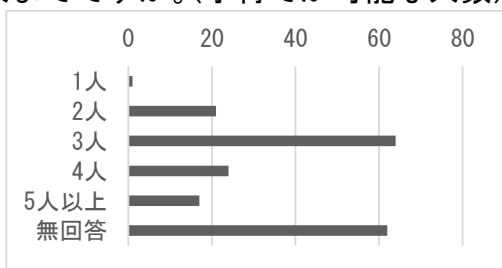
問34 子どもは理想的に何人欲しい(欲しかった)ですか。

回答	票	率
1人	1	0.5%
2人	24	12.7%
3人	72	38.1%
4人	27	14.3%
5人以上	11	5.8%
無回答	54	28.6%
合計	189	100.0%



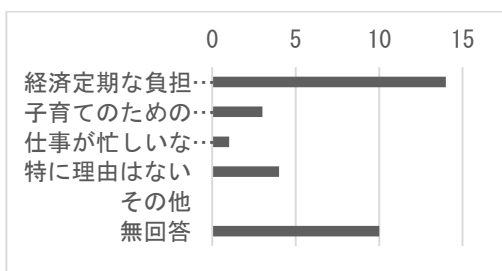
問35 北大東村で育てられると思う子どもの人数は何人までですか。(子育てが可能な人数)

回答	票	率
1人	1	0.5%
2人	21	11.1%
3人	64	33.9%
4人	24	12.7%
5人以上	17	9.0%
無回答	62	32.8%
合計	189	100.0%



問36 「(問34)理想の人数」より「(問35)子育てが可能な人数」が少ない方は、その理由を教えてください。

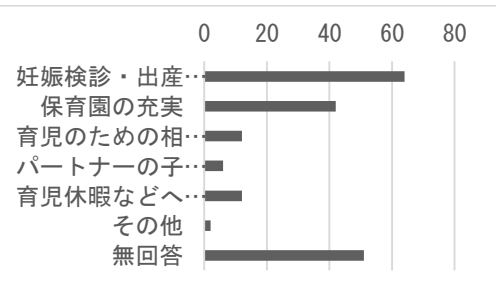
回答	票	率
経済定期的な負担が大きいから	14	43.8%
子育てのための環境が整っていないから	3	9.4%
仕事が忙しいなど時間に余裕がないから	1	3.1%
特に理由はない	4	12.5%
その他	0	0.0%
無回答	10	31.3%
合計	32	100.0%



3. アンケート結果

問37 村民の出産への不安を軽減するためには、どのような取組が必要と思いますか。
(特に重要と思うもの)

回答	票	率
妊娠検診・出産への支援充実	64	33.9%
保育園の充実	42	22.2%
育児のための相談・サポート充実	12	6.3%
パートナーの子育てへの理解の向上	6	3.2%
育児休暇などへの職場の理解の向上	12	6.3%
その他	2	1.1%
無回答	51	27.0%
合計	189	100.0%



「その他」の意見(原文のまま)

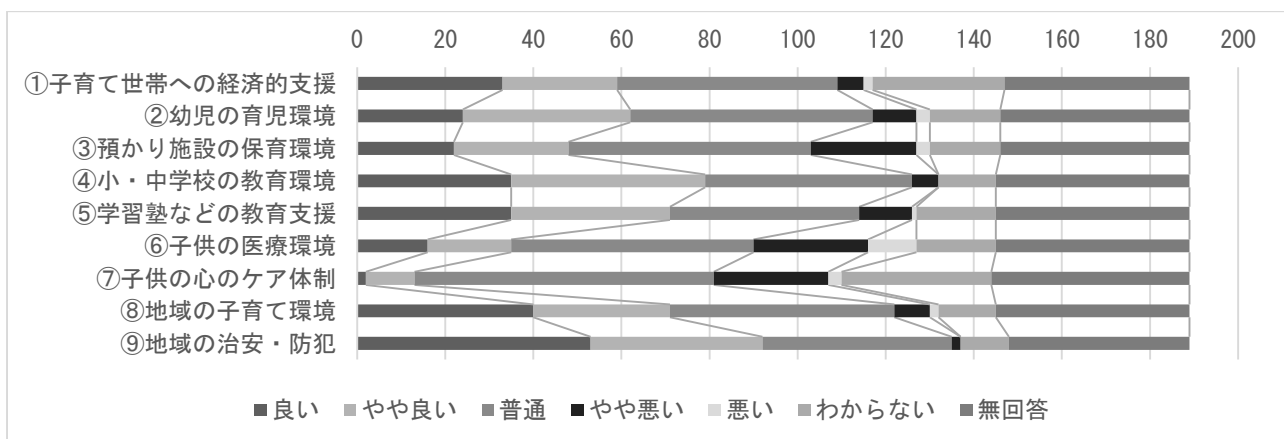
- 医療福祉
- 緊急時にも対応できる医療関係の向上

子育て環境について

問38 北大東村における子育て環境の印象を教えてください。

設問	回答(票)							計
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	
①子育て世帯への経済的支援	33	26	50	6	2	30	42	189
②幼児の育児環境	24	38	55	10	3	16	43	189
③預かり施設の保育環境	22	26	55	24	3	16	43	189
④小・中学校の教育環境	35	44	47	6	0	13	44	189
⑤学習塾などの教育支援	35	36	43	12	1	18	44	189
⑥子供の医療環境	16	19	55	26	11	18	44	189
⑦子供の心のケア体制	2	11	68	26	3	34	45	189
⑧地域の子育て環境	40	31	51	8	2	13	44	189
⑨地域の治安・防犯	53	39	43	2	0	11	41	189
合計	260	270	467	120	25	169	390	-

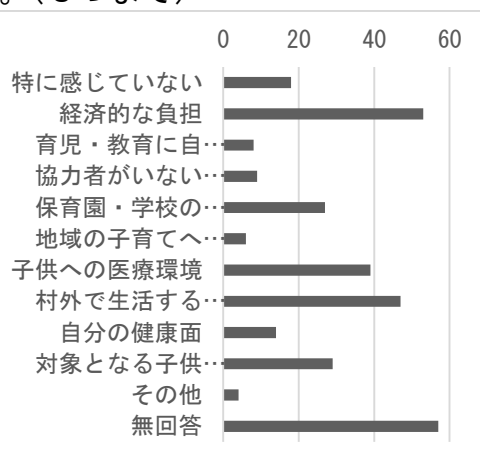
設問	回答(率)							計
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	
①子育て世帯への経済的支援	17.5%	13.8%	26.5%	3.2%	1.1%	15.9%	22.2%	100.0%
②幼児の育児環境	12.7%	20.1%	29.1%	5.3%	1.6%	8.5%	22.8%	100.0%
③預かり施設の保育環境	11.6%	13.8%	29.1%	12.7%	1.6%	8.5%	22.8%	100.0%
④小・中学校の教育環境	18.5%	23.3%	24.9%	3.2%	0.0%	6.9%	23.3%	100.0%
⑤学習塾などの教育支援	18.5%	19.0%	22.8%	6.3%	0.5%	9.5%	23.3%	100.0%
⑥子供の医療環境	8.5%	10.1%	29.1%	13.8%	5.8%	9.5%	23.3%	100.0%
⑦子供の心のケア体制	1.1%	5.8%	36.0%	13.8%	1.6%	18.0%	23.8%	100.0%
⑧地域の子育て環境	21.2%	16.4%	27.0%	4.2%	1.1%	6.9%	23.3%	100.0%
⑨地域の治安・防犯	28.0%	20.6%	22.8%	1.1%	0.0%	5.8%	21.7%	100.0%



3. アンケート結果

問39 子育てに関して何に負担・不安を感じていますか。(3つまで)

回答	票	率
特に感じていない	18	5.8%
経済的な負担	53	17.0%
育児・教育に自信がない	8	2.6%
協力者がいないなどの家庭環境	9	2.9%
保育園・学校の環境	27	8.7%
地域の子育てへの支援・協力	6	1.9%
子供への医療環境	39	12.5%
村外で生活する子供の生活費	47	15.1%
自分の健康面	14	4.5%
対象となる子供がいない	29	9.3%
その他	4	1.3%
無回答	57	18.3%
合計	311	100.0%



「その他」の意見（原文のまま）

- 子育てなし
- 子育て終了
- わからない
- 経験がないのでわからない

V 自由意見

問40 総合戦略や将来のしまづくりについて、村民の皆さまの率直なお考えやご要望等がありましたらご自由にご回答ください。

（原文のまま記載）

- まずこの村が自立できる産業を早く起こすこと！その産業に対して村全体が協力することが大切。
- 農業、水産業、観光等の仕事に魅力を感じてもらえる村づくりと後継者育成が大事。これから島でできる事の可能性を一人ひとりが考える必要がある。特に人材育成が重要で、小規模校だからこそできる学力向上も目指す必要があると考える。
- 北大東村の村民は、幸せだと思います。仕事、住まい、全て村が与えてくれる。ただ、仕事の向上心、経済的な部分で理解をし、社会性をもって島を発展させる。”仕事力”の人々を。人材育成ですネ。将来のための豊かすぎて、今の島の土台に柱をたててほしいですネ。
- 1) 働き手の不足している中で預かり保育をできたら1才からやってほしい。
2) 村営のアパートの家賃が上がる理由で仕事をパートにしている人がいる。人材を確保する為にはなんらかの手段を考えてほしい。
3) 北大東に移住したくても、住む所がない為断念する人もいる。アパートを借りて住めるようにしてほしい。

3. アンケート結果

4) 2) の件も村営のアパートから民営のアパートに移ることで解決できるのではないかと？月4～5万円なら可能と思う。

5) 一生この島に住めるような仕組み、老後をゆっくりとすごせるように。

6) 高齢になっても畑があると無理をして農作業をしている。ある年齢になったら、畑を売ったり、貸したりできるようなしくみがほしい。広い面積をもち本当に苦労している人もいる。

7) 村への移住する世帯への引っ越し費用の助成金があるといいのでは？

- 1) 島が活気にあふれることは住民が生き生きとして元気が感じられることと思うが、当該からの人々の出入りがあることが刺激になると思う。しかし、家族（島外で生活している）や友人等を島に呼びたくても、航空運賃が高いため、なかなか言いづらい。来ても一回きりとかなるのでリピーターになってほしい。そのため、航空運賃の見直し交渉をしていただきたい。
2) 観光客から島の自然のすばらしさ（全体的ではあるが、特に海側沿いの道路を自転車で回るときだそうです）をよく聞きます。なので、この環境を維持してほしい。
3) 島内で買い物する若者が減ってきていると言われてますが物価が高いから、安く島外やインターネットでの買い物をしていると思います。若い世帯は子育てや生活にお金がかかると思うので（収入も限られていると思う）仕方がないことだとは思いますが、このまま続くと島内のお店にも影響し、活力がなくなると思う。コスト低減事業もありますが、全体的には行き届かないと思うので、対策を考えていただきたい。
- 家を建てやすくなる（意欲が高まる）ような制度を作ってもらおうと結果的に村営住宅にも空きができ若者が島に帰ってきやすくなる。⇒・固定資産税の軽減・固定資産税の免除期間の延長・建築材料の輸送費免除等
- 1) 住宅事情で困窮した時期があり、一番確保したい時に住宅がなく。審査の時点で、何度もはずれ、大切な時間を失った事があるので、今後、申し込み時の個人の事情等も理解して頂き審査をお願いしたいと思います。
2) 公園や村が管理する建物等の点検をして頂きたいと思います。（修繕箇所の改善をお願いします。）
- 1) 仕事があるのに若者が帰ってこない理由としては住宅不足が大きな問題だと思う。また、安心できる医療環境が必要である。先生の信頼性も必要だともう。
2) 次に、島外出身者が移住するにあたって娯楽施設等の充実、若い母親たちが楽しく安心して暮らせる環境作りが必要だと思う。
- 2歳からしか子供を預けられないので、もう少し早く働ける環境になってほしい。

3. アンケート結果

- 婚活支援についてはTV番組のお見合い企画等に応募してもよいのでは？島のPRにもなるのでは？
- 1) 子供がいる場での飲酒・喫煙が気になる。身近にいる大人が手本となるべきで、配慮しなくてはいけないが、飲む機会が多すぎる。せめて、子供の目の前での飲み会は控えてほしい。
2) 交通の便が良くなってほしい。保護者の出張で子供が不安になるので少しでも子どもという時間が確保できるようになってほしい。
3) 個人情報をしっかり保護してほしい。すぐに情報が洩れるので、周りの目を気にして必要な支援につなげにくいことがある。
4) 休日のイベントが多く、子どもも大人もしっかり休めない環境だと思う。もう少し行事を精選して、休む時間や個人の時間、家族団らんの時間を確保したい。休養できていないから体調を崩す人が続出する。子供と接する時間も少なくなると思う。
5) 地域行事の救急体制をしっかり整備してほしい。
6) 島内で働いている方一人一人の仕事の負担が大きいうように思える。
7) PTA行事、授業参観、地域作業にみなさんがとても協力的なのが、とてもステキだと思う。
8) 島外の人を受け入れたり、おもてなしの心があたたかい。
9) このアンケートで年齢、職業、出身地を書くと、大体誰か特定されて答えにくいと思う。せめて、年齢は20代とかにする・・・etc P2は別で集計するとか・・・
- 1) 北大東村は観光に力を入れると聞きましたが、現在ではあまりアイデア・力を入れていないような気がします。北大東村には何にも邪魔されない美しい星空、美しい朝日、夕日等すばらしい自然と文化・芸能があります。今でも取り組もうと思えば色々出来ると思います。なまいきだとは思いますが、例えば朝日、夕日を含む星空学習ツアー（ハブもないので夜の動植物観察）観光魚釣ツアー（漁師ガイド又はガイドの育成：ガイド付）港の完成に向けていろいろ計画があるようですが、今のクレーンでの上げ降ろしもいい旅の思い出になると思います。
2) 等々、今!取り組める事は、まだまだあると思います。ひいては、若者の雇用創出の拡大になると思います。
3) 最後に勝手な、なまいきな事ばかり申し上げ失礼いたしました。
- 飛行機をもっと増やすことで、様々なところに好影響が出ると思う。経済的な面で、物価が高いのは仕方ないと思うので今後もプレミアム商品券などを発券することで、経済が活性化すると思う。

3. アンケート結果

- 1) 学校職員です。北大東村に来て、文化・伝統・自然に触れとても充実しています。子ども達も多くの行事に参加しながら、「北大東」を肌で感じ学んでいっていると実感します。ただ、行事が続く時に子どもたちが学業、生活リズムがくずれてしまうことが気になりもったいないと感じます。「島づくりは人づくり。人づくりは教育にあり」と思っている私としては、どうにか行事と学業の両立ができるよう、学校職員という立場で取り組んでいきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 2) 村振興の為には、現状及び将来に渡り農業を主軸とした各産業の発展を要することは自明である。産業発展の為には各事業所・事業主の安定した資金繰りが前提となるが、これを支持する為に地域金融機関が担う責任は極めて重要なファクターとなる。他方で、北大東村における金融機関。とりわけ自て原資にて資金融通が可能な金融機関は現状農協しか存在しないものであるが、当該農協が斬様な金融システムの触媒となり得ているかは甚だ疑問の残るところである。
- 3) 産業発展の基礎となる地域金融システムの適正な運用における役割を果たす為に、農協はこの事実を自覚し、自て改革を実現することが1)、2)の課題であるように感じる。

3. アンケート結果

中学生アンケート結果

アンケートの目的

村民の率直な考えや要望、中学生目線での村に対する印象や将来に関することを把握し、総合戦略に盛り込むことを目的とする。

対象・内容

	一般アンケート	中学生アンケート
対象	村で生活する18歳以上の方全員 (約520人/H22国勢調査)	北大東中学校の生徒全員 (24人)
内容	1 あなたとあなたの家族構成、北大東村の印象について 2 定住・移住に関することについて 3 北大東村の雇用・産業について 4 結婚・出産・子育てについて 5 自由意見	1 あなたについて 2 北大東村の印象などについて 3 将来について 4 しまづくりのアイデア

中学生アンケートについて

中学生24人を対象にアンケートを実施。

24名中23名から回収(回収率96%)

以下に中学生アンケートの結果を示す。(票が多い回答については、色付け)

アンケート結果

問1 あなたの学年と性別を教えてください。

学年	性別	人数	%
1	男	4	17.4
	女	2	8.7
2	男	2	8.7
	女	4	17.4
3	男	7	30.4
	女	4	17.4
合計		23	100

3. アンケート結果

問2 あなたの出身地を教えてください。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北大東村	2	1	3	2	4	6	5	4	9	9	9	18
村外	2	1	3	0	0	0	1	0	1	3	1	4
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

※都道府県名等の「等」は国名など

村外(市町村名):	那覇市(2名)、宜野湾市、久米島町
県外(都道府県名):	-

問3 北大東村は好きですか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
好き	2	0	2	2	3	5	3	2	5	7	5	12
どちらかといえば好き	2	2	4	0	0	0	1	2	3	3	4	7
どちらかといえば好きではない	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
好きではない	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

問4 北大東村の生活に満足していますか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
とても満足	1	0	1	2	1	3	1	0	1	4	1	5
まあ満足	1	1	2	0	1	1	2	2	4	3	4	7
やや不満	2	1	3	0	0	0	0	1	1	2	2	4
とても不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
どちらとも言えない	0	0	0	0	2	2	3	1	4	3	3	6
わからない	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

問5 北大東村の誇りは何ですか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
豊かな自然環境	2	2	4	1	4	5	5	2	7	8	8	16
燐鉱石貯蔵庫などの文化財	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
海産物(マグロ・サワラなど)	2	0	2	2	0	2	0	1	1	4	1	5
農産物(サトウキビ、かぼちゃなど)	2	1	3	1	0	1	3	3	6	6	4	10
開拓の島という歴史	1	1	2	0	0	0	1	1	2	2	2	4
大東宮祭などの祭り・イベント	3	2	5	2	4	6	5	3	8	10	9	19
住民の仲の良さ	0	0	0	0	4	4	5	0	5	5	4	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	6	16	6	12	18	19	12	31	35	30	65

※複数回答(3つまで)

3. アンケート結果

問6 あなたが北大東らしいと思う言葉を3つまで選んでください。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
開拓	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
燐鉱石	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
ドロマイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大東寿司	3	1	4	2	4	6	4	2	6	9	7	16
大東太鼓	2	1	3	0	3	3	4	4	8	6	8	14
サトウキビ	3	1	4	1	1	2	1	0	1	5	2	7
月桃	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	2	3
じゃがいも	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
かぼちゃ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
長幕	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2
海	1	0	1	1	1	2	1	0	1	3	1	4
台風	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ダイウオビロウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダイウオオコウモリ	0	2	2	1	0	1	2	1	3	3	3	6
相撲	1	1	2	0	1	1	4	0	4	5	2	7
神輿	1	0	1	0	1	1	2	0	2	3	1	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	6	18	6	12	18	21	12	33	39	30	69

※複数回答(3つまで)

問7 北大東村の生活で不便・不満に思う事は何ですか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
不便・不満に思う事はない	1	0	1	1	0	1	2	1	3	4	1	5
買い物をする場所が少ない	1	0	1	0	2	2	1	1	2	2	3	5
遊ぶところが少ない	2	0	2	0	2	2	4	2	6	6	4	10
本島に行く機会が少ない	0	2	2	1	0	1	0	0	0	1	2	3
学習の機会が少ない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

問8 中学卒業後、北大東村を離れますか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
高校進学のために島から離れる予定	3	2	5	1	4	5	7	4	11	11	10	21
就職のため島から離れる予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島から離れる予定はない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わからない	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

3. アンケート結果

問9 北大東村を離れることについてどう思いますか。

(問8で肢1、2を選択した人のみ回答)

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
うれしい(楽しみ)	2	0	2	0	1	1	3	0	3	5	1	6
ややうれしい	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2
やや悲しい(さみしい)	0	2	2	0	1	1	1	1	2	1	4	5
悲しい(さみしい)	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	3	3
どちらともいえない	1	0	1	0	0	0	2	2	4	3	2	5
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	5	1	4	5	7	4	11	11	10	21

問10 将来、どんな仕事につきたいですか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁師など水産業	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業(製糖など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商業	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
電気・ガス・水道業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
観光・サービス業	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
運送業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉関連	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
教育関係	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
公務員	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
主婦・主夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
まだきめていない	3	1	4	0	1	1	4	0	4	7	2	9
無回答	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	2
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

その他: 美容師

問11 将来、北大東村に帰ってきたいと思いませんか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
戻りたい	0	1	1	2	2	4	1	0	1	3	3	6
条件が合えば戻りたい	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3
戻りたくない	1	0	1	0	1	1	1	0	1	2	1	3
どちらともいえない	3	1	4	0	0	0	4	2	6	7	3	10
島を離れる予定はない	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

3. アンケート結果

問12 近い将来、北大東村で働きたいと思いますか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
働きたい	0	0	0	2	2	4	0	0	0	2	2	4
条件が合えば働きたい	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	2
働きたくない	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	3	4
どちらともいえない	4	1	5	0	0	0	5	3	8	9	4	13
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	6	2	4	6	7	4	11	13	10	23

問13 将来、北大東村はどんな島になってほしいですか。

回答項目	中学1年生			中学2年生			中学3年生			全学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
仕事があり経済的に豊かな社会	3	0	3	1	1	2	3	2	5	7	3	10
便利で暮らしやすい社会	2	2	4	0	3	3	4	1	5	6	6	12
伝統や文化を大切にする社会	1	0	1	1	3	4	4	2	6	6	5	11
のんびりと暮らせる社会	1	0	1	0	1	1	4	0	4	5	1	6
自然環境を大切にする社会	2	1	3	2	2	4	2	2	4	6	5	11
犯罪や事故がない安全な社会	0	1	1	1	0	1	2	3	5	3	4	7
一生安心して暮らせる社会	1	2	3	1	2	3	2	2	4	4	6	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	6	16	6	12	18	21	12	33	37	30	67

※複数回答(3つまで)

問14 (自由意見)あなたが考える「しまづくり」のアイデアがあれば教えてください。

- 大きい観光施設をつくって、観光客を増やす。
- 北大東フェス
- 楽しいイベントをつくる。
- チケットを安くして、観光客をいっぱいつれてくる。観光客向けの行事をつくる。
- みんなで協力し合える島にしたい。
- 自然・伝統・文化を残したままで、島を発展させてほしい。
- このままの北大東村でいいと思います。
- このままでいいと思います。(3名)
- もっと仕事の数を増やしてほしい。

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

しまづくり住民青年ワークショップ

目的

- ①総合戦略の施策案に案を付加すること。また、施策につながるアイデアを収集すること
- ②しまづくりのイメージを村民（青年）で共有すること
- ③役場若手職員の地方創生勉強会の一環として、しまづくりについて知識を深めること

開催：2015年 11月27日 金曜日

場所：りんこう交流館

時間：午後7時～9時

対象：村役場の若手職員、青年会、幼稚園・保育園・
学校職員など主に35歳以下



参加人数：27名

ワークショップの手法

『ワールドカフェ方式』のワークショップ

話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分けて、一定時間を経てメンバー交換をすることにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法。

【ワールドカフェ形式のWSの効果】

- ・ 立場を気にせず、忌憚のない意見が言える（自由に発言できる）
- ・ ひとりひとりの考えを参加者全員で共有できる（参加者の意見が集まる）
- ・ しまづくりの意識が高まる（共有することで、しまづくりの機運が高まる）

ワークショップのテーマ

①北大東の『しごとづくり』

（どんな仕事が必要？どんな仕事に力を入れるべき？島の仕事のあり方は？）

②北大東の『ひとづくり①/流れをつくる』

（島に人を呼ぶためには？島に必要な人材は？人材育成に必要なことは？）

③北大東の『ひとづくり②/生み育てる・生ききる』

（結婚・出産・子育てしやすい環境に必要なことは？教育環境に必要なことは？福祉・医療環境に必要なことは？）

④北大東の『しまづくり』

（住環境、インフラ、生活基盤、災害対策などは十分？より暮らしやす島に必要なことは？）

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

北大東の「しごとづくり」グループまとめ

（グループワークにおいて、特に大事と考えるもの）

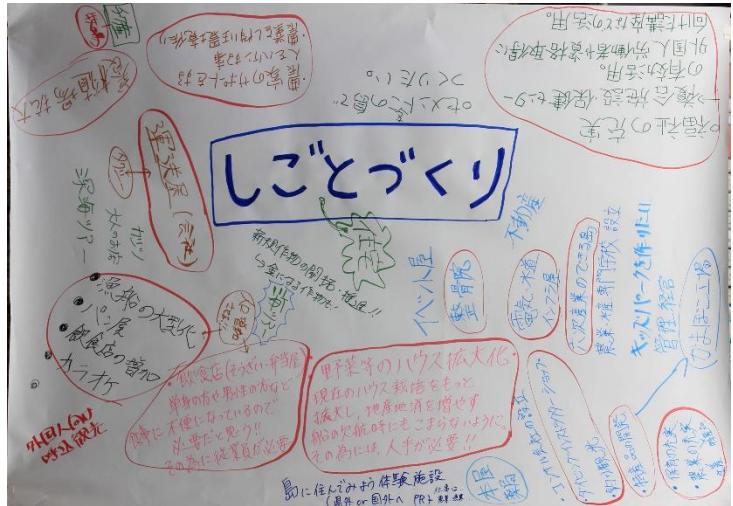
※まとめの意見については、原文のまま記載（一部補正）

海業について

- 漁船の大型化
- ダイビングショップ、釣り観光
- 海を活かした観光促進

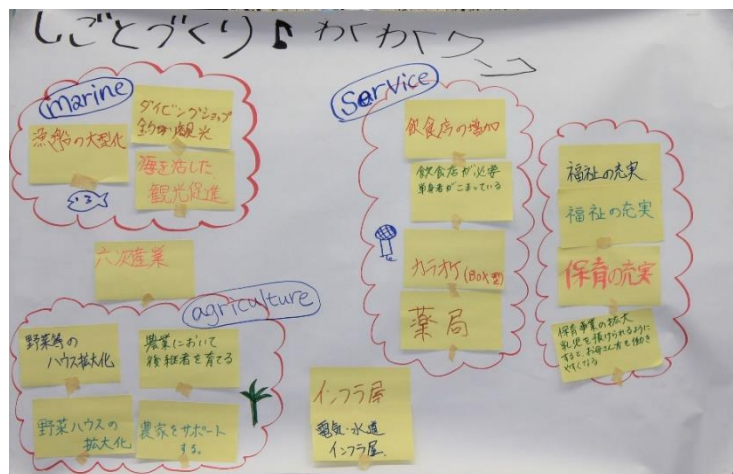
農業について

- 野菜等のハウス拡大化（2名意見）
- 農業において後継者を育てる
- 農家をサポートする



サービス業について

- 飲食店増加
- 飲食店が必要。単身者が困っている
- カラオケボックスがほしい
- 薬局がほしい



保育福祉について

- 福祉の充実（2名意見）
- 保育の充実
- 保育事業の拡大
→ 乳児を預けられるようにするとお母さんも働きやすくなる

その他の大事と考えるもの

- 六次産業化
- インフラ屋さん（2名意見）



4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

◆北大東の「しごとづくり」グループ 主な意見と施策への反映について

参加者意見	対応施策（施策への反映）
食料の確保について <ul style="list-style-type: none"> ● 野菜等のハウス拡大化 →現在のハウス栽培をもっと拡大し、地産地消を増やす。船の欠航時にも困らないように。そのためには人手が必要！！ 	施策 13 食料・水・エネルギーの自律性の向上 (1) 食料・水の自律性向上
生活サービスについて <ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店（そうざい、弁当屋） →単身者の方や男性の方など食事に不便になっているので必要だと思う！！ そのためには授業員が必要。 ● 本屋・薬局 ● キッズパークを作りたい（管理・経営） ● 不動産 ● 整骨院 ● イベント屋 ● パン屋 ● 飲食店の増加 ● カラオケ ● タクシーもできる運送屋（会社化） ● カジノ ● 大人のお店 	施策 7 UJI ターンがしたくなる環境の創出 (1) 食料・水の自律性向上
体験学習について <ul style="list-style-type: none"> ● 島に住んでみよう体験施設（農業、漁業） →県外 or 国内へ PR 	施策 8 職業・居住体験やスポーツ・音楽・学習のための交流の促進 (2) 交流の促進から定住へ
北大東村の自立について <ul style="list-style-type: none"> ● コンサル会社の設立 ● 農業・水産専門学校設立 ● 電気・水道などのインフラ屋が必要 ● セメントをこの島で作りたい 	施策 13 食料・水・エネルギーの自律性の向上 (3) 人材・資源の自律性向上
観光について <ul style="list-style-type: none"> ● ダイビングインストラクターショップ ● 釣り観光 ● 海ツアー ● 外国人向けの呼込観光 	施策 3 マリンレジャーと島の遺産を活かした観光事業の創出 (1) 海洋観光の振興

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策（施策への反映）
<ul style="list-style-type: none"> ● 深海ツアー 	
<p>特産品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特産品の開発 →かまぼこ工場 	<p>施策 2 主力漁業「マグロ・サワラ」の漁獲拡大と水産業の多角化 (3) 高付加価値商品の生産・販売の拡大</p>
<p>保育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保育の充実 	<p>施策 11 安心して子育てができる環境の整備 (2) 子育て支援・教育の充実</p>
<p>福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉の充実 →複合施設・保健センターの有効活用。 外国人労働者や資格取得に向けた講座などの活用。 	<p>施策 12 地域包括ケアの推進 (1) 地域包括ケアのための拠点の整備・運営</p>
<p>基幹産業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 六次産業のできる島 	<p>施策 1～2 各施策で対応</p>
<p>(農業・畜産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業の充実 →生産・特産品 ● 新規作物の開拓・推進！！ →お金になる作物を！ ● 畜産牧場 ● 農家のサポートをする人を派遣すること ● 農業をしやすい環境を作りたい 	<p>施策 1 基幹農業「サトウキビ」の生産性向上と付加価値作物への展開 (1) 基幹農業「サトウキビ」の生産性向上 (2) 高付加価値作物への展開</p>
<p>(水産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 漁船の大型化 ● 養殖場拡大 	<p>施策 2 主力漁業「マグロ・サワラ」の漁獲拡大と水産業の多角化 (1) 「マグロ・サワラ」の漁獲拡大 (2) 大東近海ブランドの確立</p>
<p>住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住宅の確保 	<p>施策 7 UJI ターンがしたくなる環境の創出 (1) 定住環境の整備</p>

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

北大東の「ひとづくり～流れをつくる～」グループまとめ (グループワークにおいて、特に大事と考えるもの)

※まとめの意見については、原文のまま記載（一部補正）

住宅について

- 家の確保（3名意見）
- 資金確保が必要

PRについて

- 北大東をもっと知ってもらおう
- 島の魅力をPR（3名意見）

人材育成について

- 島での資格取得できる環境
- 有資格者を増やす！

娯楽施設について

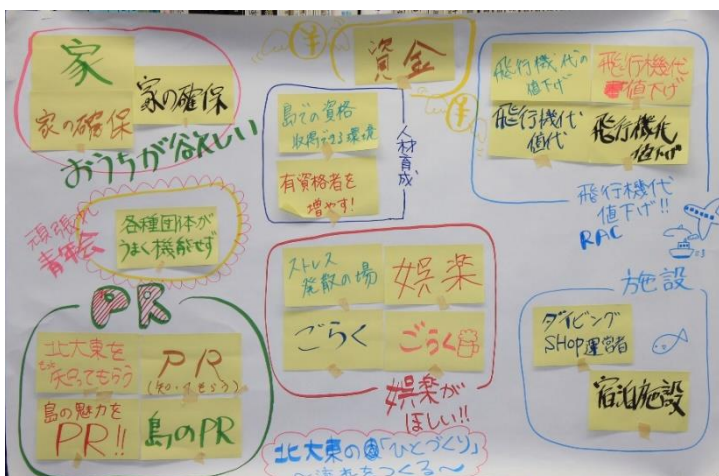
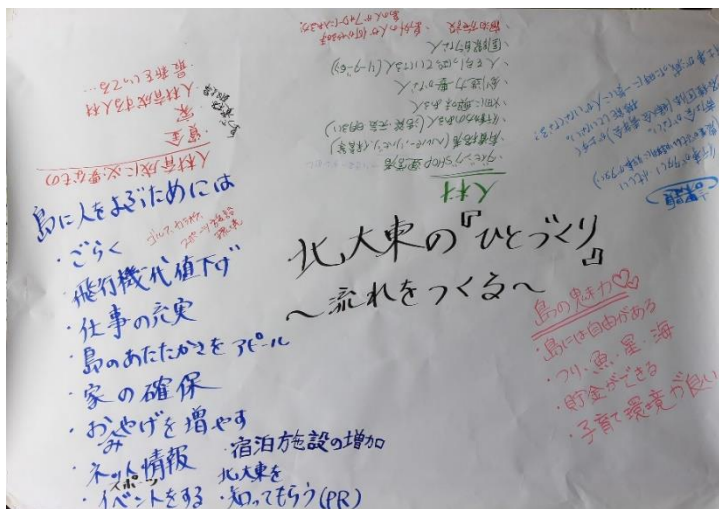
- 娯楽がほしい（3名意見）
- ストレス発散の場

飛行機について

- 飛行機代の値下げ（4名意見）

その他

- ダイビング SHOP 運営者
- 宿泊施設
- 各種団体が機能せず



4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

◆北大東の「ひとづくり～流れをつくる～」グループ 主な意見と施策への反映について

参加者意見	対応施策
島の魅力 <ul style="list-style-type: none"> ● 島には自由がある ● つり・魚・海 ● 貯金ができる ● 子育て環境がよい 	<p>参考意見として扱う</p>
課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 行事が多い・忙しい（農業が忙しい時期に行事が多い） ● 商工会がない ● 各種団体（婦人会、青年会）が上手く機能していない ● 仕事が減った時に一気に人がいなくなる？ ● 島外の人が何かやる時、島の人がフォローに入れるか。 	<p>参考意見として扱う</p>
人材の確保について <ul style="list-style-type: none"> ● 行動力のある人（活発、元気、明るい） ● 創造力豊かな人 ● 人を引っ張っていける人（リーダー的） ● 国際的な人 	<p>施策全体に関連 （参考意見として扱う）</p>
（観光関連） <ul style="list-style-type: none"> ● ダイビングSHOP運営者 （農業関連） ● 畑に興味がある人 	<p>施策 6 農業・水産業における後継者の育成と新規参入支援 （1）農業の生産体制の整備と新規参入支援 （2）水産業の新規参入支援</p>
（福祉関連） <ul style="list-style-type: none"> ● 有資格者（ヘルパー、リハビリ、保育など） 	<p>施策 12 地域包括ケアの推進 （2）島まるごとケアのための体制の確立</p>
人材育成に必要なものについて <ul style="list-style-type: none"> ● 資金 ● 家 ● 人材育成する人材（最新の技術を持った人） ● 島で資格取得 	<p>施策 7 UJIターンがしたくなる環境の創出 （1）定住環境の整備</p>
島に人を呼ぶためには <ul style="list-style-type: none"> ● 飛行機代値下げ 	<p>施策 15</p>

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策
	交通・通信の利便性の向上 (1) 航空路線の拡大・充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事の充実 	施策 1～5 各施策で対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 家の確保 	施策 7 UJIターンがしたくなる環境の創出 (1) 定住環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ● お土産を増やす 	施策 1～4 各施策で対応
<ul style="list-style-type: none"> ● ネット情報 ● 北大東を知ってもらうPR ● 島の温かさをアピール 	施策 17（一部反映済み） 北大東ネットワークの維持・拡大・活用 (3) 北大東ファンネットワークの維持・拡大・活用
<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツイベントをする ● 宿泊施設の増加 ● 娯楽（ゴルフ、カラオケ、スポーツ施設環境） 	施策 8（一部反映済み） 職業・居住体験やスポーツ・音楽・学習のための交流の促進 (1) 交流拠点の創出 施策 7 UJIターンがしたくなる環境の創出 (2) 若手グループの活動促進

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

北大東の「ひとづくり～生み育てる・生ききる～」グループまとめ

（グループワークにおいて、特に大事と考えるもの）

※まとめの意見については、原文のまま記載（一部補正）

「育てる」について

- 子育て支援の充実（2名意見）
- 妊婦&子育て母のコミュニティーの場
- 預かり保育の内容の充実（年齢の引き下げ 0～1歳児）（2名意見）

「生きる」について

- 食材の確保

「学ぶ」について

- 自然の中での遊び（子供&大人）
- 地域全体での子育て
→他人の子を叱る（地域の目）
- 学童
- 島の様々な年代との交流会
- 島の文化・歴史学習
- スポーツ交流

「出会う」について

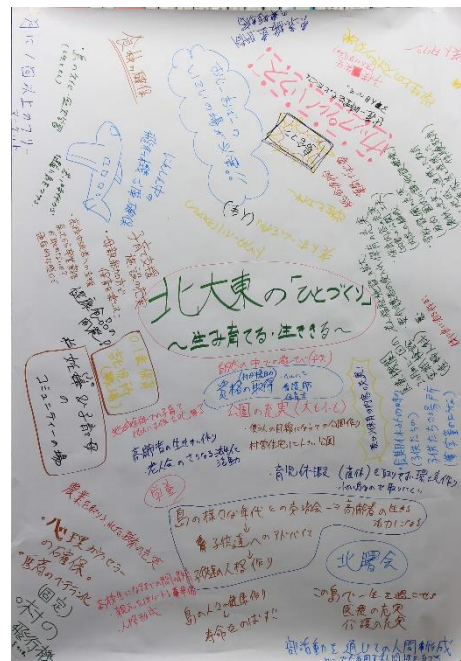
- 島合コン

医療について

- 医療機関（産婦人科の定期健診）（2名意見）
- この島で一生過ごせる医療の・介護の充実

サポート（支援）について

- 高校中退者への支援
- 資格取得の推進・助成



4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

◆北大東の「ひとづくり～生み育てる・生ききる～」グループ 主な意見と施策への反映について

参加者意見	対応施策
<p>子育て・保育環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保育内容の充実 →内容の公開、工夫 →内容の編成 ● 子育て支援施設の充実 ● 0～1 歳保育託児所（職場） ● 地域全体での子育て →他人の子を叱る ● 育児休暇（産休）を取りやすい環境づくり →小さな島なので取りにくい ● 母親参加型で保育を楽しむ ● 預かり保育の内容の充実 ● 長期休みの時の子供たちの場所（学童のような施設） 	<p>施策 11 安心して子育てができる環境の整備 (2) 子育て支援・教育の充実</p>
<p>医療環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関 →2 か月に 1 回の定期健診（産婦人科） ● ドクターヘリ（オスプレイ） ● 総合病院 ● 薬局が必要 ● 急患搬送時間の短縮 ● 医者へのベテラン化（固定化） 	<p>施策 12 地域包括ケアの推進 (3) 医療体制の充実</p>
<p>福祉環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 老人ホームを作る（人手も確保） ● おじーおばーの憩いの場が必要！ ● 老人福祉施設の拡大 ● 高齢者の生きがいづくり →老人会のさらなる活性化活動 ● 資格の取得（村が援助） →ヘルパー、看護師、保育士 ● この島で一生を過ごせる医療・介護の充実 	<p>施策 12 地域包括ケアの推進 (2) 島まるごとケアのための体制の確立</p>
<p>教育環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校設備の充実 →校内、園内の施設環境 	<p>施策 11 安心して子育てができる環境の整備 (2) 子育て支援・教育の充実</p>

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策
→教材の充実 →島へ戻ってから卒業資格を取れないか？ ● 学童 ● 高校生になるまでの間の教育 →親元を離れる準備、人格の形成 ● 部活動を通じての人間形成 →どこでも通用する人間性を育てる ● 高校中卒者への支援（通信教育のようなもの）	
健康づくりについて ● 要介護者の受け入れ保育の充実 ● 若い時代から健康に気を付ける ● 島の人々の健康づくり→寿命を延ばす！	施策 12 地域包括ケアの推進 （2）島まるごとケアのための体制の確立
● 健康食品の開発 ● 体に良い酒を作る	施策 1～4 各施策で対応
交流について （地域の子供たちとの交流学习） ● 地域と連携した教育 →農家等と連携した体験教育 ● 学生とエイサー ● 子供先生（大人に教える） ● 学生とのスポーツ交流 ● 島の文化・歴史学習（大人・子供） ● 自然の中での遊び（子供）	施策 11 安心して子育てができる環境の整備 （2）子育て支援・教育の充実
（高齢者との交流） ● 島のさまざまな年代との交流 →高齢者の生きる活力になる →子供たちへのアドバイス →子供たちの人格づくり	施策 12 地域包括ケアの推進 （2）島まるごとケアのための体制の確立
結婚支援について ● 島合コン ● カップルハウス	施策 10 カップルが生まれる環境づくり （1）「出会いの機会」の創出
出産支援について ● 出産一時金をもっとたくさん（3人目以降も必要）	施策 11 安心して子育てができる環境の整備 （1）出産支援

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策
<ul style="list-style-type: none"> ● 妊婦の飛行機座席確保 ● 妊婦&子育て母のコミュニティーの場 	
食材確保について <ul style="list-style-type: none"> ● 食材の確保 	施策 13 食料・水・エネルギーの自律性の向上 (1) 食料・水の自律性向上
インフラ環境について <ul style="list-style-type: none"> ● 村の飛行機を確保 	施策 15 交通・通信の利便性の向上 (1) 航空路線の拡大・充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 公園の充実（大きい公園、小さい公園） →使う人の目線になっての公園づくり →村営住宅に小さい公園 	施策への追加及び拡充を要検討
その他 <ul style="list-style-type: none"> ● 月に1回以上のフリーマーケット ● 心理カウンセラーの確保 ● 北曙会 ● 老人タクシー 	参考意見として扱う

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

北大東の「しまづくり」グループまとめ

（グループワークにおいて、特に大事と考えるもの）

※まとめの意見については、原文のまま記載（一部補正）

保育・医療について

- 保育医療の充実（子育て）（2名意見）
- 保育施設の拡大

住宅について

- 住宅の確保
- 住宅の建築
- 民間アパートをつくる
- 若い人が帰って来やすい住宅確保
- 建築費用助成・補助（個人）（2名意見）
- 個人住宅が本島並みで建てられたらよい

農業（仕事）について

- 農業後継者の育成（2名意見）

交通

- 飛行機の増便
- 交通コスト低減

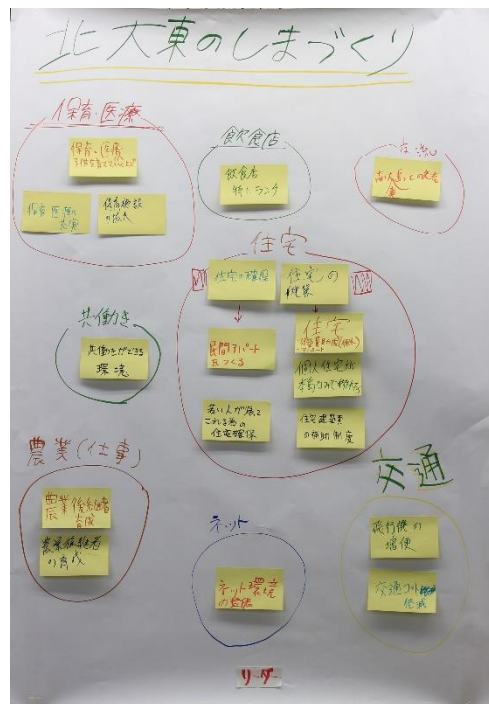
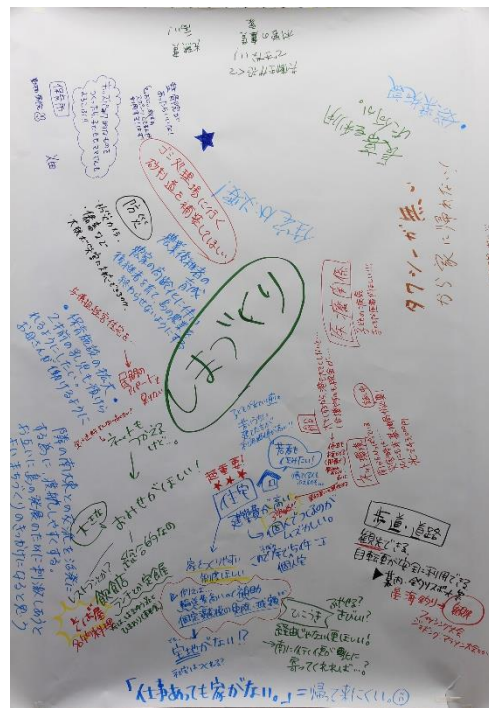
その他

共働きができる環境

ネット環境に整備

飲食店（特にランチ）

南大東村との交流



4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

◆北大東の「しまづくり」グループ 主な意見と施策への反映について

参加者意見	対応施策
漁船・漁港整備について <ul style="list-style-type: none"> ● 船を大きくするなら港を大きく ● 船 1 台増やすのも税金が気になる ● 停泊もお金がかかる？ 	<p>参考意見として扱う</p>
ネット環境について <ul style="list-style-type: none"> ● 南大東村から引っ張っているが、災害時はどうなる？ ● 北大東村にも基地局が必要 	施策 5 地域の ICT 環境の強靱化 (1) ICT 基幹線の強靱化 (2) 島内通信基盤の充実
住宅について <ul style="list-style-type: none"> ● 子供が高校進学する前に住宅を建てられれば、利用価値は高まる ● 住宅が充実することで若者が増える ● 沖縄本島に比べて材料費、光熱費等が高い。個人で建てることは難しいのでは。 ● 住宅を作りやすい制度が必要。この 7 年間で 5 件しか建っていない。 →例えば、輸送費が高いので補助 →固定資産税の免除、減額など ● そもそも宅地がない ● 仕事があっても家がない→帰って来づらい ● 与儀組経営住宅があってもよい →民間経営のアパートが足りない ● 住宅が必要 	施策 7 UJI ターンがしたくなる環境の創出 (1) 定住環境の整備
観光について <ul style="list-style-type: none"> ● 観光ができる道路が必要 →自転車が安全に利用できる。(幕内や釣りスポットなどを散策) 	施策 3 マリンレジャーと島の遺産を活かした観光事業の創出 (1) 海洋観光の振興
<ul style="list-style-type: none"> ● 星・海・釣りを活かした観光 ● フィッシング大会 ● ジョギング、マラソン大会 	施策 8 職業・居住体験やスポーツ・音楽・学習のための交流の促進 (1) 交流拠点の創出
飛行機について <ul style="list-style-type: none"> ● 飛行機の便数を増やせる？ 	施策 15 交通・通信の利便性の向上

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策
<ul style="list-style-type: none"> ● 経由便ではない便がほしい ● 午前中の南大東村に飛ぶ飛行機が北大東村にも寄ってほしい 	(1) 航空路線の拡大・充実
防災について <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模災害に村は対応できるのか 	施策 14 巨大な台風を想定した地域強靱化の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 住宅・建築物の耐風性能の強化 (2) 巨大台風に対する防災・復興対策の推進
労働環境について <ul style="list-style-type: none"> ● 共働きが怖くてできない 	参考意見として扱う
住民サービスについて <ul style="list-style-type: none"> ● 整骨院があったら良い →おじーおばー、スポーツをする人が利用できる ● キッズパークのような施設があれば、子どももママさんも喜ぶ！ ● 動物病院 ● 総合的なないものができる大きな商業施設がほしい ● 飲食店が必要 →レストラン、定食屋 ● そば屋→名物料理がほしい ● タクシーがないから家に帰れない ● 娯楽施設 	施策なし
保育・医療環境について <ul style="list-style-type: none"> ● 保育施設の拡大 →2 歳以下の乳幼児も預けられるようにしたい。お母さんが働けるように 	施策 11 安心して子育てができる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> (2) 子育て支援・教育の充実
医療環境について <ul style="list-style-type: none"> ● 医療関係 ● →まともな医者がほしい！ 	施策 12 地域包括ケアの推進 <ul style="list-style-type: none"> (3) 医療体制の充実
その他 <ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ処理場に行く砂利道を舗装してほしい ● 長幕を利用したい 	施策 2：マリンレジャーと島の遺産を活かした観光事業の創出 <ul style="list-style-type: none"> (1) 海洋観光の振興

4. しまづくり住民（青年）ワークショップ

参加者意見	対応施策
<ul style="list-style-type: none"> ● 農業後継者の育成 →農家の高齢化に伴い後継者を育て、島の農業を終わらせないようにする 	<p>施策 6 農業・水産業における後継者の育成と新規参入支援 (1) 農業の生産体制の整備と新規参入支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 隣の南大東村との交流を活発にする為に、渡航しやすくする。 →お互いに島の発展のために刺激し合うと良いまちづくりのきっかけになると思う 	<p>施策 16 南北大東島の相互連携の推進 (2) 連携プロジェクトの実施</p>

5. 策定に向けたスケジュール

策定に向けたスケジュール

日時	内容
平成27年10月	中学生アンケート実施
平成27年10月30日	第一回策定審議委員会
平成27年11月11日 ～11月27日	村民アンケート配布・回収
平成27年11月27日	しまづくり住民（青年）ワークショップ
平成27年12月11日	第二回策定審議委員会
平成28年3月2日	第三回策定審議委員会

**北大東村 しま・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略**

2016年3月

北大東村

〒901-3992 北大東村字中野281番地

TEL:(09802)3-4001

FAX:(09802)3-4406

編集 企画財政課

計画立案協力

服部 敦(中部大学教授/北大東村政策参与)

株式会社 国建 まちづくり計画部

